

まちをつくり
暮らしをささえる

建設業

Construction Industry Social
Contribution/SDGs/
Public Relations Activity
Case Study Collection



建設業事業主の方へ

従業員を
守れる会社が
これから、きっと強くなる!

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

KENTAIKYO

建設業退職金共済制度は、
建設業界の人と企業の未来を見据え、国がつくった退職金制度です。

掛金は損金扱い!
新規加入で一部免除

電子ポイント方式なら
手続きもカンタン!

一人親方も
任意組合で加入できる!

詳しい情報はこちら ▶

建退共



<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>



建設業退職金共済制度

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6731-2866



取扱元：建設マニフェスト販売センター

建設六団体※が発行している 「建設系マニフェスト」をご利用ください。

➡ 建設六団体が発行する「建設系マニフェスト」とは？

- ✓ 建設業団体が推奨する唯一の建設系の「産業廃棄物管理票」
- ✓ 現場で利用しやすく、法令に準拠した様式
- ✓ 法令で定められている5年間の保存に耐え得る、高品質なバックカーボンを採用
- ✓ 交付番号を管理する事によって、不法投棄などの犯罪の防止に寄与
- ✓ 建設業界の社会貢献として、売上金の一部を「不法投棄等支障除去に関する基金」に拠出

※建設六団体：建設六団体副産物対策協議会。

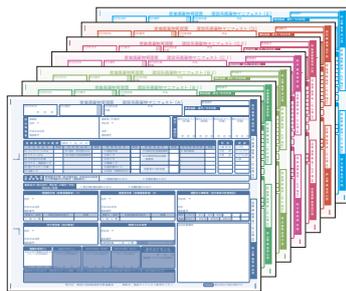
(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会、(一社)日本道路建設業協会、(一社)日本建設業経営協会、(一社)全国中小建設業協会、(一社)住宅生産団体連合会 で構成されています。

建設系廃棄物マニフェスト (A票～E票)

建設系廃棄物マニフェストは、販売時に交付番号ごとの購入者データを記録し、管理されています。

排出事業者である建設会社は、自ら購入して交付してください。

1部ずつ個別に使用できる「単票」とプリンターにより必要事項を事前に連続印刷できる「連帳」の2種類があります。



単票小箱 (100部入り)	2,500円 (税込)
単票大箱 (500部入り)	12,500円 (税込)
連帳大箱 (500部入り)	12,500円 (税込)

建設系廃棄物マニフェストのしくみ

廃棄物処理法に基づき、建設廃棄物マニフェストを解説した小冊子です。



1部	170円 (税込)
----	-----------

各都道府県の**建設業協会**又は**産業資源循環協会**で販売しています。

詳しくはお問合せ先までご連絡もしくはホームページで確認してください。

※産業資源循環協会様での販売価格は上記と異なる場合があります。

詳細は販売窓口まで直接お問い合わせください。

お問合せ先 **建設マニフェスト販売センター**
HP <https://mani.gr.jp/>

はじめに

昨今の気候変動の影響による異常気象は令和7年も例外ではなく、全国各地で記録的な猛暑が続き、梅雨前線や台風、線状降水帯の発生に伴う豪雨災害や土砂災害が発生しました。さらに、八潮の道路陥没事故に象徴されるインフラの老朽化も顕在化しており、防災・減災、国土強靱化と、そして社会資本整備の重要性は一層高まっています。

地域建設業は、災害発生時に昼夜を問わず最前線で緊急対応や復旧活動を行い、人々の安全・安心を守る「地域の守り手」として、極めて重要な社会的役割を果たしています。近年、自然災害の激甚化・頻発化が顕著となり、その責務はますます重要なものとなっています。

一方で、自然災害からの復旧や、鳥インフルエンザ・豚熱といった防疫活動を通じて、人々の生命と財産を守る地域建設業の姿は、必ずしも広く認知されているとは言えません。

建設業が「新3K+K(給与・休暇・希望+かっこいい)」の業界として、若い世代にとって魅力的で社会に貢献する仕事だと感じてもらうためには、地域に根ざした活動の姿を積極的に発信していくことが重要です。

本会では、「地域の守り手」として地震や豪雨などの自然災害への対応にとどまらず、地域の美化活動や社会福祉への貢献など、地域建設業が多様な形で展開している社会貢献活動について広くご理解いただけるよう、毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、積極的な情報発信に取り組んでいます。

また、期間中には中央行事を開催し、各建設業協会・支部、会員企業が取り組まれた優れた社会貢献活動や、SDGsの理念に沿った活動、さらに近年では社会貢献の一環として位置づけられる広報活動についても顕彰し、建設業が担う多様な魅力的な取り組みを広く社会に発信しています。

本事例集は、本会が令和7年に顕彰した各建設業協会・支部ならびに会員企業による社会貢献活動、SDGsへの取り組み、そして広報活動を取りまとめたものです。

本事例集を通じて、地域建設業が持続可能な社会づくりに貢献し、地域を守り続ける姿をご理解いただければ幸いです。

令和8年1月

一般社団法人 全国建設業協会

目次

1. 建設業の社会貢献活動とその推進月間 1

- (1) 建設業の社会貢献・SDGs 活動……………1
- (2) 建設業社会貢献活動推進月間……………1
- (3) 中央行事の開催と社会貢献・SDGs 活動／広報活動優秀事例の顕彰……………1
- (4) 本事例集について……………4

2. 活動事例 5

2-1 代表的な活動の事例—社会貢献活動推進月間中央行事における発表事例— ……5

- 発表事例1 埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故の建設業協会での対応について
(一般社団法人 埼玉県建設業協会 越谷支部) ……5
- 発表事例2 巨大クジラを資源へ継ぐ～想定外の事態に立ち向かった10日間の記録～
(一般社団法人 三重県建設業協会 尾鷲支部) ……8
- 発表事例3 秋田内陸線沿線の地域活性化「田んぼアート」支援事業
(一般社団法人 北秋田建設業協会 若葉会) ……11
- 発表事例4 映画 CM・TVCM 及び TV 番組出演による建設業のイメージアップ
(草野作工 株式会社) ……14
- 発表事例5 総フォロワー20,000人超「即時性」「地域密着」「見える化」の SNS 戦略
(株式会社 山藤建設) ……17

2-2 協会・支部・会員企業の活動事例……………20

- 災害復旧・防疫活動……………22
- 防災支援活動……………33
- 地域活性化への取組……………37
- 環境美化・保全活動……………38
- 社会福祉活動……………44
- SDGs への取組……………48
- 広報活動……………49

3. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した その他社会貢献活動 62

地域建設業は

SDGsの担い手
地域の守り手



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- | | | | | | |
|----------------------|--------------|-------------------|-----------------|-----------------------|-----------------|
| 1 貧困をなくそう | 2 飢餓をゼロに | 3 すべての人に健康と福祉を | 4 質の高い教育をみんなに | 5 ジェンダー平等を実現しよう | 6 安全な水とトイレを世界中に |
| 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに | 8 働きがいも経済成長も | 9 産業と技術革新の産物をつくらう | 10 人や国の不平等をなくそう | 11 住み続けられるまちづくりを | 12 つくる責任つかう責任 |
| 13 気候変動に具体的な対策を | 14 海の豊かさを守ろう | 15 陸の豊かさも守ろう | 16 平和と公正をすべての人に | 17 パートナリーシップで目標を達成しよう | |



1. 建設業の社会貢献活動とその推進月間

(1) 建設業の社会貢献・SDGs 活動

「企業の社会的責任」(CSR)は、企業活動のプロセスに経済性や法令遵守にとどまらず、環境への配慮や社会的倫理性などを組み込み、様々なステークホルダー(利害関係者)に対する説明責任を果たすことにより、社会から信頼を受け、事業を継続的に発展させる活動です。また、近年、国際社会全体が取り組むべき「持続可能な開発目標」であるSDGs達成に向け、日本でも企業や国・地方自治体、大学などでも積極的な取り組みが始まっています。

建設産業は、社会資本の整備を通じ、「国土の保全」、「地域の安全・防災」、「利便性の高い暮らし」等を実現し、社会に貢献してきました。本会傘下の各建設業協会並びに会員企業は、地域の基幹産業である建設業の社会的責任と使命を強く認識し、地域経済の活性化、雇用の確保に貢献するのみならず、国・地方自治体との災害協定に基づき、災害発生時には、住民の安全・安心を確保するため、昼夜を問わず応急復旧活動に取り組んでいます。また、それぞれの取り組みがSDGsの課題解決に沿った取り組みであり、地域建設業はSDGsの担い手と言っても過言ではありません。

(2) 建設業社会貢献活動推進月間

しかしながら、このような地域建設業の取り組みは、メディア等において報道される機会が少なく、建設業界もPRに努めてはいるものの、いまだ国民や社会に十分に認知されていないのが現状です。

このため、本会では、平成18年度より毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、期間中の活動の一環として、各都道府県建設業協会並びに会員企業と連携し、地域建設業界が実践している幅広い社会貢献活動を国民・社会に広くアピールする活動を展開しています。

(3) 中央行事の開催と社会貢献・SDGs 活動/広報活動優秀事例の顕彰

上記の推進月間期間中には中央行事を開催しており、20回目となる令和7年度の中央行事は7月24日、東京都・経団連会館において開催いたしました。

当日は各都道府県建設業協会の会長をはじめ、国土交通省幹部、関係団体の役職員やメディア等多くの方々をお招きし、各地域で実践された様々な社会貢献活動について、功労者表彰や事例の発表を通じて、建設業が行った社会貢献活動を周知・展開いたしました。

近年では、社会貢献と重なる部分が多いSDGsの取り組みについても表彰しているほか、従来は社会貢献の一部として取り上げていた広報についての取り組みも、広報功労者として表彰しております。本年度の「社会貢献・SDGs功労者表彰」については、都道府県建設業協会・支部等を対象とした第3条関係で26事例、会員企業を対象とした第4条関係で20事例。「広報功労者表彰」については、第3条関係で8事例、第4条関係で11事例の計65事例が選ばれ、今井会長より表彰状と副賞が贈呈されました。

また、受賞者の中から特に代表的な事例として、①一般社団法人埼玉県建設業協会越谷支部、②一般社団法人三重県建設業協会尾鷲支部、③一般社団法人北秋田建設業協会若葉会、④草野作工株式会社(北海道)、⑤株式会社山藤建設(鹿児島)の5事例について事例発表が行われ、参加者からは建設業としての優れた社会貢献活動に、大きな関心と惜しみない賛辞が贈られました。

また、事例発表終了後に懇親会を開催し、発表者や関係者と情報交換を行いました。

中央行事の概要は、以下のとおりです。

行事名	令和7年度 建設業社会貢献活動推進月間 中央行事
日時	令和7年7月24日（木）13:30～17:00
場所	経団連会館2階 経団連ホール
内容	(1) 開会 ・会長挨拶 一般社団法人 全国建設業協会会長 今井 雅則 ・来賓ご挨拶 国土交通省 不動産・建設経済局長 楠田 幹人 (2) 建設業社会貢献活動功労者表彰式 ①社会貢献・SDGs功労者表彰 ②広報功労者表彰 (3) 建設業社会貢献活動事例発表 ①埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故の建設業協会での対応について／ 一般社団法人 埼玉県建設業協会 越谷支部 支部長 中島 也一 ②巨大クジラを資源へ継なぐ～想定外の事態に立ち向かった10日間の記録～／ 一般社団法人 三重県建設業協会 尾鷲支部 支部長 平野 金人 ③秋田内陸線沿線の地域活性化「田んぼアート」支援事業／ 一般社団法人 北秋田建設業協会 若葉会 会長 北林 照一郎 ④映画CM・TVCM及びTV番組出演による建設業のイメージアップ／ 草野作工 株式会社（北海道）DX室長 神原 宏志 ⑤総フォロワー20,000人超「即時性」「地域密着」「見える化」のSNS戦略／ 株式会社 山藤建設（鹿児島）専務取締役 岩下 裕一
参加者	約150名（国土交通省、都道府県建設業協会役員、建設関係団体及び一般関係者）



今井会長挨拶



表彰式



事例発表



功労者表彰受賞者は、以下のとおりです。

○社会貢献・SDGs功労者表彰受賞者 — 協会・支部等（規程第3条関係） —

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
災害復旧・防疫活動 【災害復旧活動】	一般社団法人 福島県建設業協会 若松支部 一般社団法人 埼玉県建設業協会 越谷支部 一般社団法人 三重県建設業協会 尾鷲支部 一般社団法人 石川県建設業協会 一般社団法人 滋賀県建設業協会 長浜支部 一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会 延岡地区建設業協会	福島県 埼玉県 三重県 石川県 滋賀県 島根県 宮崎県
災害復旧・防疫活動 【防疫活動】	一般社団法人 岩手県建設業協会 盛岡支部 一般社団法人 岩手県建設業協会 久慈支部 一般社団法人 岩手県建設業協会 二戸支部 一般社団法人 茨城県建設業協会 水戸支部 一般社団法人 茨城県建設業協会 常総支部 一般社団法人 群馬県建設業協会 前橋支部 一般社団法人 千葉県建設業協会 一般社団法人 新潟県建設業協会 新発田支部 一般社団法人 岐阜土木工業会 高鍋地区建設業協会 串間市建設業協会	岩手県 岩手県 岩手県 茨城県 茨城県 群馬県 千葉県 新潟県 岐阜県 宮崎県 宮崎県
防災支援活動	一般社団法人 栃木県建設業協会 芳賀支部 一般社団法人 群馬県建設業協会 館林支部 一般社団法人 塩山建設業協会 一般社団法人 岐阜県西濃建設業協会	栃木県 群馬県 山梨県 岐阜県
地域活性化への取組	一般社団法人 北秋田建設業協会 若葉会	秋田県
環境美化・保全活動	一般社団法人 栃木県建設業協会 鹿沼支部 一般社団法人 金沢建設業協会	栃木県 石川県
社会福祉活動	一般社団法人 揖斐建設業協会	岐阜県

○社会貢献・SDGs功労者表彰受賞者 — 会員企業（規程第4条関係） —

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
災害復旧・防疫活動 【災害復旧活動】	株式会社 近藤組	愛知県
防災支援活動	株式会社 前田建設	鹿児島県
地域活性化への取組	西田工業 株式会社 大阪本店	大阪府
環境美化・保全活動	株式会社 太田組 岩澤建設 株式会社 上原建設 株式会社 植野興業 株式会社 富士島建設 株式会社 内藤建設 株式会社 株式会社 大野組 株式会社 大城工業所 三宅建設 株式会社	宮城県 栃木県 群馬県 山梨県 山梨県 岐阜県 滋賀県 兵庫県 兵庫県

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
社会福祉活動	丸彦渡辺建設 株式会社 県北緑化 株式会社 株式会社 佐藤組 小白川建設 株式会社 塩谷建設 株式会社 株式会社 藤井組 株式会社 銭高組 大阪支社	北海道 岩手県 岩手県 山形県 富山県 富山県 大阪府
SDGsへの取組	株式会社 中屋敷建設	青森県

○広報功労者表彰受賞者 — 協会・支部等（規程第3条関係） —

表彰分類	受賞者（協会・支部等）	都道府県
建設業ふれあい活動	一般社団法人 甲府地区建設業協会 一般社団法人 身延建設業協会 一般社団法人 長野県建設業協会 青年部会 一般社団法人 静岡建設業協会 一般社団法人 三重県建設業協会 志摩支部 一般社団法人 羽咋郡市建設業協会 一般社団法人 若狭地区建設業協会 建設青年委員会	山梨県 山梨県 長野県 静岡県 三重県 石川県 福井県
広報ツール・アイテムの活用による広報活動	一般社団法人 栃木県建設業協会 日光支部	栃木県

○広報功労者表彰受賞者 — 会員企業（規程第4条関係） —

表彰分類	受賞者（会員企業）	都道府県
建設業ふれあい活動	株式会社 オオバ工務店 株式会社 竹島建設 戸田建設株式会社 大阪支店 福井建設 株式会社 株式会社 井原組 淵脇建設 株式会社	福島県 三重県 大阪府 兵庫県 山口県 鹿児島県
SNS、映像、メディアによる広報活動	株式会社 斉藤組 株式会社 山藤建設	富山県 鹿児島県
広報ツール、アイテムの活用による広報活動	株式会社 加藤建設	愛知県
商業広告による広報活動	草野作工 株式会社 安達建設 株式会社	北海道 富山県

(4) 本事例集について

本事例集は、令和7年度の中央行事において受賞された各事例を、事例発表を行った5事例のほか、顕彰された活動内容別に整理して取りまとめ、紹介するものです。

地域建設業が社会的責任（CSR）やSDGsの達成に向け取り組んでいる姿や、災害発生時に日夜奮励している姿を通じて、本事例集が建設業の真摯な社会貢献・SDGs活動の一端をご理解いただくことに資すれば幸いです。

2. 活動事例

2-1 代表的な活動の事例 — 社会貢献活動推進月間中央行事における発表事例 —

各都道府県建設業協会や支部、会員企業は、災害発生時の応急復旧活動をはじめ、地域活性化の取り組みや、河川・道路の清掃活動等様々な社会貢献活動に取り組んでいます。それぞれの取り組みがSDGsの課題解決に沿った取り組みでもあります。

ここでは令和7年度 建設業社会貢献活動推進月間中央行事で顕彰した事例のうち、代表的な事例として発表いただいた、5つの活動事例を紹介します。

No.	都道府県	協会・企業名	活動内容
1	埼玉県	一般社団法人 埼玉県建設業協会 越谷支部	埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故の建設業協会での対応について
2	三重県	一般社団法人 三重県建設業協会 尾鷲支部	巨大クジラを資源へ継ぐ～想定外の事態に立ち向かった10日間の記録～
3	秋田県	一般社団法人 北秋田建設業協会 若葉会	秋田内陸線沿線の地域活性化「田んぼアート」支援事業
4	北海道	草野作工 株式会社	映画CM・TVCM及びTV番組出演による建設業のイメージアップ
5	鹿児島県	株式会社 山藤建設	総フォロワー20,000人超「即時性」「地域密着」「見える化」のSNS戦略

災害復旧・防疫活動

発表事例

1

埼玉県

埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故の建設業協会での対応について

(一般社団法人 埼玉県建設業協会 越谷支部)

陥没事故発生時系列

- 1月28日 9:49 119番通報道路が陥没し、トラックが落下した
- 9:59 救助活動開始
- 10:26 要救助者1名(74歳男性)を確認、ドクターカー要請
- 11:37 救助活動中、消防隊2人が負傷病院へ搬送(2人とも軽症)
- 14:33 県下応援により埼玉東部消防局が応援開始
- 16:18 クレーン車による救出活動開始
- 1月29日 2:50 クレーンによりトラックの一部を引き上げキャビン部分は陥没穴に残った状態
- 3:28 陥没穴に汚水が溜まり、活動困難。排水作業を手配
「埼玉県 発表 埼玉県危機対策会議(埼玉県ホームページより)」





チュウ4～チュウ3流域下水道管バイパス

埼玉県建設業協会の動き

- 1月28日 協会へ応援要請／協会支部の数社が現場到着、交通規制と侵入規制の開始
救出用ラフタークレーンの手配（3台）／重機（バックホウ）の手配
- 2月2日 陥没箇所上流の人孔（チュウ4）から陥没下流の人孔（チュウ3）までの污水バイパスの設置
ほか 接続道路に24時間ガードマン配置（現在も継続中）
規制看板・保安施設設置、八潮市水道・污水管の切り回し
防音壁設置、中央分離帯撤去、その他
大雨による冠水対策（協会污水バイパスを雨水バイパスへ転用）

令和7年1月28日、埼玉県八潮市にて道路陥没事故が起きました。交通量の多い幹線道路であり、午前9時過ぎという時間帯もあって、この陥没穴にトラックと一緒に転落した方が1名いらっしゃいました。当初は直径10mほどの陥没穴だったため、消防が救助を試みたのですが、次第に陥没穴が広がり、またこの先も広がる様子を見せたため、救助を中止し、救助方法の再考が行われました。

地下10mに埋設されている直径4.75mの下水道管が破損しているのを確認し、その污水の影響で地山が弱くなっている状態でした。また下水道特有の硫化水素も発生しており、そのため、救助方法も慎重に行わなければならなくなりました。

道路管理者及び下水道管理者が埼玉県のため、埼玉県より一般社団法人 日本建設業連合会へ要請が行われ発災当日中に大成建設株式会社、鹿島建設株式会社が現地入りし、救助のための掘削などの作業が行われ始めました。

もともと軟弱地盤な地域であり、また地下深い場所の下水管破損ということもあり、要救助者の保護と作業員の安全性という点からも慎重なる対応に迫られていました。



朝礼



污水バイパス設置状況



污水ピット設置状況

発災から3ヶ月が過ぎた5月2日、要救助者の救出作業がおこなわれました。大変残念なことにすでにお亡くなりになっておりましたが、ご遺体をご家族のもとへお返しすることができました。

救出後は復旧作業へと移行となり、現在も完全復旧にむけて、埼玉県主導の下、日本建設業連合会、埼玉県建設業協会、またその他の協会団体や企業が作業を行っている最中です。

我々埼玉県建設業協会越谷支部は発災後すぐに現地に到着し、バックホウや救助用ラフタークレーンの手配、交通規制や安全規制の保安資材の提供および設置を行いました。

また、下水道は途中で止めることができないため、汚水水位が高い状態でした。救助や作業、また地山保護のため汚水水位を下げるが必要となり、建設業協会では応急的なバイパスを作成しました。

このバイパスは下水管破損部上流にあるチュウ4人孔から破損部下流にあるチュウ3人孔へバイパスするというものです。

国土交通省のポンプ車にてチュウ4人孔から汚水をくみ上げる



その汚水を臨時で作成した汚水ピットへ流し込む

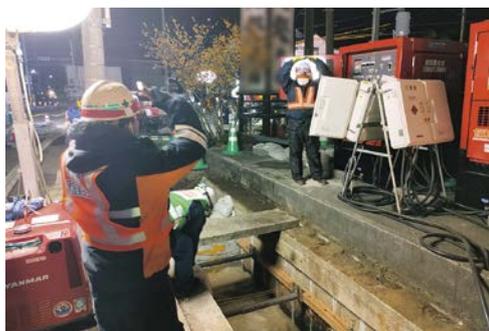


汚水ピットからはピット内に設置した6インチポンプ4台にてチュウ3人孔へ圧送する

というもののです。しかしながら、現場には汚水ピットなどはないため、用水路をジェットコンクリートを使用し閉塞してピットとして使用することとしました。また、チュウ4からチュウ3までは直線で600mほどですが、救出作業のための出入りなどで道路上には設置できないため、用水路内などに配管し700m以上の距離をバイパスとして使用しました。このバイパスはΦ150のサクシオンホースを4列で設置していくもので、途中で暗渠があったり、道路横断のための作業があったりなど簡単ではありませんでした。ですが、協会員の奮闘によりすべての管の設置が材料の搬入も込みで3日間半で完了することができました。

このバイパスは鹿島建設さんへ引き渡しとなりましたが、建設業協会としてはこのほかにも防音壁の設置、水道や用水の切り回し・閉塞作業など本体工事のサポート的なことを行っております。

現場は現在も進行中です。これからも地元の建設業協会として埼玉県や地元住民と一緒に完全復旧を目指して頑張っていきます。



汚水ピット設置状況



雨水対策のための管路清掃



防音壁設置状況

はじめに

世界中の海を巡り続けたマッコウクジラが、その長い旅路の果てに辿り着いたのは、私たちの暮らす三重県紀北町の海岸でした。全長13.6m、35tに及ぶその巨体は、報道を通じて瞬く間に話題となり、地域は大きな驚きと戸惑いに包まれました。クジラの圧倒的な存在感に言葉を失う一方で、腐敗の進行や油の流出といった現実的な課題が目の前にありました。

私たち三重県建設業協会尾鷲支部は、この想定外の出来事いかに立ち向かい、そして地域へどのように応えるのかを問われ、その問いにどう向き合ったのかをここに記します。本稿は、この出来事に関わるすべての関係機関を代表して筆を執ったものです。ここに記す内容は、多くの方々の協力によって成し得た取り組みの記録であることを、あらかじめ申し添えておきます。

漂着の場所と地理的特徴

クジラが漂着したのは三重県南部・紀北町の紀北町島勝内地区海岸隣接地の一般公共海岸でした。紀北町はリアス式海岸と豊かな森林に囲まれ、漁業ではカツオ漁、林業では尾鷲ヒノキで知られる自然と産業の町です。また、世界遺産・熊野古道を有する歴史と文化の地でもあります。今回のクジラは船越海岸の砂利浜から約500m離れた磯場に打ち上げられました。この周辺には海藻や貝類の漁場、漁港、海水浴場が広がっており、地域の生活や産業に直結する重要な海域で発生した出来事でした。



漂着したマッコウクジラ



漂着地：紀北町島勝内地区

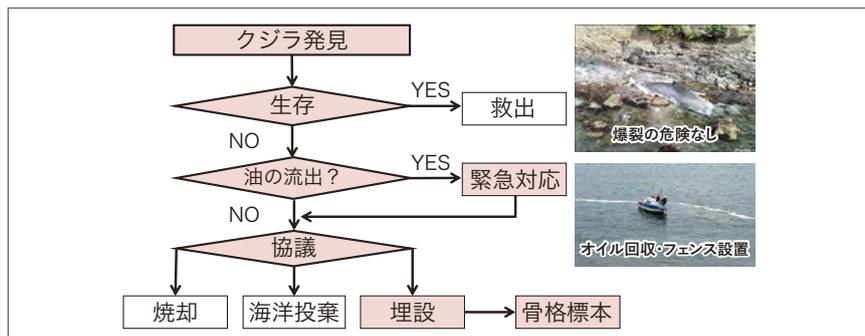
漂着したクジラの概要と状況

令和6年4月5日に漂着したのは、全長約13.6m、35tのマッコウクジラのオスで、発見時にはすでに死亡していました。腐敗の進行に伴って悪臭が発生し、体内からは油脂の流出も確認されました。このまま放置すれば漁業や住民生活への影響が避けられない状況であり、早急な対応が求められました。

初動対応の実施

初動では海岸管理者である三重県尾鷲建設事務所と契約している地域維持型JV業者が、現場の安全確保のための立ち入り禁止区域を設定し、油の拡散を防ぐ目的でオイルフェンスを設置しました。さらに三重大学および三重県総合博物館による学術調査が進められ、同時に体内ガスの蓄積による爆裂の危険がないことが確認されました。

なお、これらの対応は水産庁が定める「鯨類座礁対処マニュアル」に則って進められました。このマニュアルは、全国各地で繰り返し発生して



きた座礁事案に向き合い、先人たちが苦心しながら試行錯誤を重ね、その経験を積み上げてきた成果として形づくられたものです。今回の私たちの迅速な行動も、そうした先人の努力と知見の延長線上にあります。これらの初動対応により、被害の拡大防止と今後の処理方針を検討するための基盤が整えられました。

対応計画の検討

こうした不測の事態では、多くの機関が十分な準備のないまま対応せざるを得ず、意思決定や役割分担が混乱することが少なくありません。しかし今回の事案では、極めて円滑に対応を進められたことが大きな特徴でした。管理者の尾鷲建設事務所が主体となり、漂着確認後の3日後には関係機関を集めた会議が開催されました。関係機関による会議では、まず役割分担が整理されました。統括は尾鷲建設事務所が担い、工事対応は三重県建設業協会尾鷲支部が担当し、海洋対応は三重県尾鷲農林水産事務所や三重外湾漁業協同組合と海上保安庁が、住民対応は紀北町と三重県警察が、学術調査は三重大学と三重県総合博物館が担いました。こうした体制のもとで、現場調査結果や応急対策の情報共有と、今後の鯨体の処理方法の検討が行われ、強固に連携することでより具体的な協議が進行しました。

検討された案は「焼却処分」「海洋投棄」「埋設処分」の三案について、それぞれ環境影響・作業条件・安全性を中心に比較検討が行われました。こうした処分方法の検討もまた、「鯨類座礁対処マニュアル」の指針が大きな道しるべとなりました。先人たちが数々の現場で悩み、試行錯誤し、反省と改善を重ねた成果があったからこそ、私たちは迷うことなく議論を進め、短期間で合意形成へと至ることができました。

焼却処分は輸送と処理施設の規模の制約から非現実的と判断され、海洋投棄は費用負担や再漂流の懸念などから見送られました。そして最終的に「埋設処分」が選択されました。埋設地は漂着地から約500m離れた砂浜に決定され、輸送と施工の安全性が両立できる場所が確保されました。さらに費用面でも最も安価であり、将来的に埋められたクジラは骨格標本として学術資源として活用できる点でも高い意義が認められました。

この決定をもとに、尾鷲建設事務所から三重県建設業協会尾鷲支部間の災害協定に基づく要請を受け地元の建設企業が準備を進めるとともに、住民への説明会も複数回開催され、処理方法や安全管理、環境への対応について丁寧に説明し、住民からの質疑にも応えました。これにより、地域全体として処理方針への理解と協力が得られました。

この一連の協議は、単に漂着クジラを「廃棄物」として処分するだけではなく、将来的な学術的資源へと、つまり未来への「贈り物」とする視点を持ちながら進められました。さらに、関係機関がそれぞれの担当分野について責任をもって遂行しつつ、各分野での取り組みが他分野にとっても有益となるよう率先して行動できた点も今回の大きな成果でした。そして何より、普段から顔の見える関係を築いてきたことが功を奏し、協議の場で各分野が自組織に持ち帰らず「その場で即決」できたことが、短期間での合意形成と迅速な実行につながったのです。

処理の過程

現地の地形・漁場や道路条件から陸上輸送は不可能と判断され、私たちは岩場から海上へと移動させることを前提とした海上輸送に挑むこととなりました。まず三重県建設業協会尾鷲支部に所属する8社が連携し、陸上作業、海上作業、交通誘導、安全管理、環境対策、そして工事統括といった現場のあらゆる業務を分担しました。このように地元業者が即座に動き出すことで、安定した作業の基盤が整えられました。

その上で、二つの大きな協力者が加わりました。第一に三重外湾漁業協同組合と清洋水産株式会社の協力です。巨大なクジラを海上から埋設地へと導くには漁業者の豊富な知識と経験が不可欠であり、さらに鯨を移動させる特注網（モッコ）の迅速な作製支援がありました。第二に志摩支部の株式会社亀川組の支援です。必要な作業船が手配できずに難航していたところ、三重県建設業協会本部を通じて亀川組が台船を手配してくれました。私たちは毎年、三重県建設業協会が主催で、全支部が参加する災害対応訓練に積極的に参加しており、そこで培われた支部間の相互の信頼と協力体制が、この場面で迅速に生かされました。

こうして、地元の建設業者を中心に、漁業と建設業が互いの専門性を持ち寄ることで、巨大なクジラの海上輸送が現実のものとなりました。

まず、船越海岸の砂利浜では重機を用いてクジラを収容する埋設地を掘削しました。収容後は砂利で埋め戻し、表面を丁寧に締固めて地盤の安定を確保しました。施工中は悪臭や油分が拡散しないよう常時監視し、地域環境への影響を最小限に抑えました。

統括：三重建設業協会 尾鷲支部

統括・記録	海上作業	陸上作業	安全対策	環境対策
岡本組	亀川組	塩谷組	三栄建設	
		五味建設		
		ハマダ建設		
		幸組		
		前川組		
	平野組			



さらにこの時、3D計測やドローン測量といった最新の土木技術を導入し、埋設位置や深度、形状を正確に記録しました。これにより、将来的に骨格標本を掘り起こす際に活用できる基盤データが整えられました。このようにして、私たちの町が突然直面したマッコウクジラの漂着は単なる廃棄処理にとどまらず、貴重な学術資源としての価値を残す取り組みとなりました。さらに現場では、複数の作業関係者がこぼれ落ちたクジラの骨を一つひとつ拾い集め大切に運ぶ姿も見られました。その献身的な働きは、地域の誇りと自然への敬意、そして未来への希望を象徴する場面でした。

今後の展望

今回の対応は、想定外の漂着事案でありながら、関係機関と地域の連携によって短期間で完了することができました。本来なら莫大な費用と時間を要するはずの処理を、協力体制と工夫により大幅に抑えられたことは大きな成果です。そしてこの経験は、先人の知恵に新たな実践を重ね合わせたものであり、未来へと受け継がれていく大切な財産となるはずです。

また、この取り組みは地域の誇りとしても位置づけられました。三重県総合博物館では企画展を通して、今回の連携と成果が広く紹介され、この地域の将来を担う子どもたちが標本を見上げて目を輝かせる姿が見られました。さらに県外からの来訪にもつながり、この危機的な出来事が教育・観光・地域振興へと波及する大きな成果となったのです。

さて、三重県は南海トラフ地震という巨大災害に直面すると言われていています。その備えにおいて今回の取り組みは、単なる漂着クジラ処理にとどまらず、行政・建設業・漁業・学術機関が迅速に連携し、課題を乗り越えた「巨大災害に備える実地訓練」ともいうべき意義を持ちました。とりわけ短期間で作業を完了し、費用を大幅に抑えられたことは、地域力が発揮された象徴といえます。

そして何より、この経験は、私たちがこれまで積み重ねてきた取り組みが間違っていなかったことを力強く証明しました。日々の訓練や協定、顔の見える関係づくりは形式ではなく、実際に地域を守る力となったのです。今回の成果は、その努力が確かな形で結実した象徴であり、今後の巨大災害に対して私たちに大きな自信と誇りを与えてくれました。

おわりに

世界の海を旅したマッコウクジラが偶然、紀北町に辿り着いたことをきっかけに、私たちは地域の団結力を再確認しました。そしてその存在は、予想外にも未来を照らす象徴ともなりました。この経験は、これからの地域の歩みにも力強い指針を与えてくれるはずです。

最後に、執筆の代表を担わせていただいたことに深く感謝申し上げます。この記録に目を通していただいたのも、何かのご縁かもしれません。ぜひ三重県を訪れ、その自然と文化の魅力を皆様にご覧いただければと願っております。

発表事例

3

秋田県

秋田内陸線沿線の地域活性化「田んぼアート」支援事業

(一般社団法人 北秋田建設業協会 若葉会)

はじめに

当協会は、秋田県の北部地域の北秋田市にあります。
昭和56年に講習会、親睦会を通じて技術の向上を目指す青年部「若葉会」が設立されました。現在会員数13名で会員の親睦事業、高校生現場見学会・意見交換会、子供たちのワクワク・ドキドキ現場体験会開催のほか社会貢献活動を実施しております。



秋田内陸線について

秋田内陸縦貫鉄道(株)が運営する、秋田県北秋田市の鷹巣駅から仙北市の角館駅に至る、全長約94kmの鉄道路線です。秋田内陸線がつながる出会いに、多くの笑顔がありますよとの想いから「スマイルレール」の愛称が付けられています。また、車窓からは季節ごとに異なる森吉山の景色が楽しめ、沿線の地域では里山の暮らしやマタギの文化に触れることができたり、武家屋敷や縄文遺跡などを訪れたり、見どころがあります。

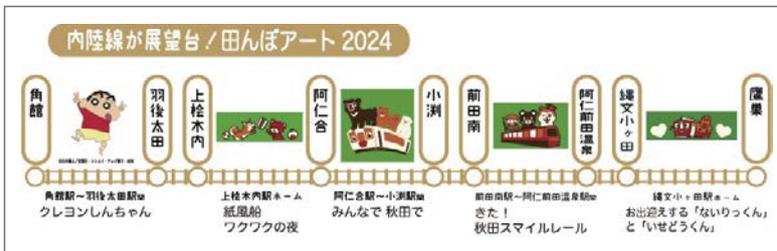


田んぼアート事業について

秋田内陸線では、乗客に車窓からの眺めを楽しんでもらおうと、県や市そして沿線の地域住民や農家の皆さんと協力して「田んぼアート」に取り組み、今年で14年目を迎えます。「田んぼアート」を通じて景観づくりと地域住民との交流・地域活性化を目指しています。
毎年様々なテーマやキャラクターなどが登場し、内陸線の車窓が展望台になるなど、乗客の方を楽しませており、当地域の観光振興にも大いに寄与している事業です。

田んぼアートの年間スケジュール

前年11月中	田んぼアート デザイン公募
前年12月	デザインの決定
1月～2月	* 設計等事前準備 *
4月～5月上旬	育苗・田おこし等
5月中旬	* 復元測量 *
5月下旬	田植え
6月～7月	播種・雑草取り
7月～9月上旬	田んぼアート観賞期間(見頃)
10月上旬	稲刈り



秋田県民会館
新館多目的ホール

田んぼアート田植え体験等モニターツアー

外遊早苗ちゃんを三銃に誘ってお出かけ！

※旅行期日 平成28年5月29日(日)〈日帰り〉
※募集人員 20名様(最少旅行人員15名様)
※旅行代金 一人様3,000円(お土産代別途)

行 事 振 興 委 員 会 (公 益 財 団)

5/29(日)

11:00 秋田駅集合(秋田駅南口集合) 12:00 秋田駅南口集合(秋田駅南口集合) 13:00 秋田駅南口集合(秋田駅南口集合) 14:00 秋田駅南口集合(秋田駅南口集合) 15:00 秋田駅南口集合(秋田駅南口集合) 16:00 秋田駅南口集合(秋田駅南口集合) 17:00 秋田駅南口集合(秋田駅南口集合) 18:00 秋田駅南口集合(秋田駅南口集合) 19:00 秋田駅南口集合(秋田駅南口集合) 20:00 秋田駅南口集合(秋田駅南口集合)



決定デザイン



補正変形した図面



H3
「阿仁」マタギと狩猟犬」の見頃



田んぼアートと若葉会

平成24年、秋田内陸線の車窓から田んぼ一面のアートを見られるようにしたいが、どのようにして田んぼに絵を描いたらよいか、車窓と田んぼには7～8mの高低差があり、何かよい方法がないか相談がありました。

当時、国土交通省で「情報化施工推進戦略」に基づき、色々な取組がされており、建設現場でのICT導入を測量・設計から施工・管理にいたる「i-Construction～建設現場の生産性革命～」が策定されたときであり、当協会において情報化施工への取組のため、会員企業においても最新の測量機器（TS：トータルステーション）が使用され始めており、当協会の青年部「若葉会」の事業として情報化施工を活用した田んぼアート測量に平成25年より取り組むこととなりました。

田んぼアート事業の若葉会の役割

設計等事前準備

- ① 田んぼアートを実施する圃場の位置を確認し、寸法及び面積を計測します。
- ② 決定デザインを基に、車窓から一番キレイに見えるよう射角・距離による遠近法を使って補正変形した田んぼアート用図面を作成します。
- ③ この図面でアート品種の種類と配置を決め、品種毎の面積を計算します。
- ④ 必要とする種子を注文します。（県）
- ⑤ 補正した田んぼアート用図面を基に測点を配置し座標データを作成します。
- ⑥ 測量の班編成が決定後、データを測量器毎に分割します。

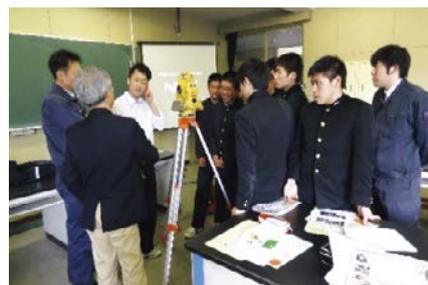
復元測量

- ① 若葉会が担当する田んぼアート会場は、2箇所です。
- ② 各会場に3班体制で座標データからTSで各パートの復元測量を実施します。
*平成7年度は、小淵会場（測量点1,730点・TS機械3台）、平里会場（測量点1,965点・TS機械3台）でした。



田んぼアートと高校生

若葉会では、担い手確保・育成支援事業の一環として、田んぼアート事業を通じて地元高校生が情報化施工の座学や田んぼへの復元測量に参加するなど、建設業のイメージアップにもつなげています。また、高校生の現場見学会や出前説明会（会員企業の会社紹介）等の事業を開催しています。



おわりに

「令和7年度 建設業社会貢献活動推進月間功労者表彰」また事例発表の機会もいただき、北秋田建設業協会・若葉会一同、大変光栄なことであり改めて感謝申し上げます。

気候変動の影響により近年頻発化・激甚化している豪雨や台風等の災害が全国各地で発生しており、8月には本県中部部においても記録的な豪雨に見舞われ河川の氾濫等による建物や道路、農地等への被害が多数発生しました。

慢性的な労働力不足の中、私たち地域建設業は災害発生時には最前線で災害対応を担う「地域の守り手」として極めて重要な社会的使命を果たしてきました。

このような中、建設業が引き続き「地域の守り手」として役割を果たしていくためには、将来の建設業を支える担い手の確保・育成が急務となっております。この度の受賞を励みに、なお一層建設業の魅力発信を行ってまいります。

これまでの田んぼアート



H26年度



H28年度



R4年度



R6年度



R7年度(秋田さきがけ新報)

建設業の課題

最近よく言われている社会問題として、少子化や高齢化が挙げられます。建設業は長年にわたり、いわゆる“3K”（きつい、危険、汚い）や「給料が安い」、「休暇が取れない」、「カッコ悪い」を加えた“6K”職場とされてきました。それもあって、現在、他の産業に比べて慢性的な人手不足が大きな課題となっています。実際、当社の新規卒業採用者（第二新卒を含む）は平成9年を最後に平成24年までの15年間途絶えていました。確かに当社は、建設業界が長らく不況であったため、即戦力となる中途採用に注力していましたが、新規卒業者を積極的に募集しても来てもらえませんでした。このような地方建設業者は他にも多く存在すると推測されます。

ある時、経営幹部が社員に「あなたの息子さん、就職ウチにどうだい？」と尋ねたところ、その社員は「ダメです。土日も仕事になったり、朝早くて、残業は当たり前。子供に私のような思いはさせたくありません。」と答えました。このことをきっかけに、トップが6K脱却のため、スタッフの幸せを一番に考える「スタッフファースト」という基本的スタンスを打ち出しました。「給料が良い」「休暇が多い」「絆で結束」「危険回避対策の徹底」「きれい」「カッコいい」の“ニュー6K”を宣言し、「社員が自分の子供を就職させたい会社」を目指すことになりました。



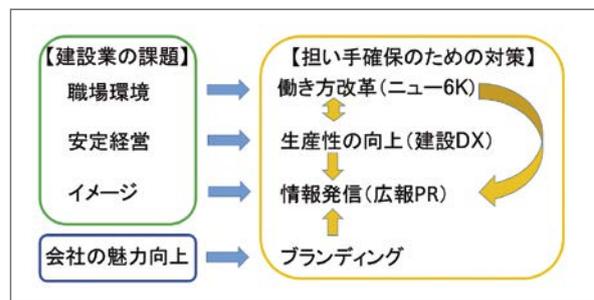
働き方改革の基本方針

具体的なアクション

変革へのスタートは、自ら掲げた“ニュー6K”に沿ってハード、ソフトの両面を同時進行で進めました。進めるにあたってはブランディングの第一歩として、自社の強みを分析するため、会社の魅力について社員にアンケートをしました。アンケートの結果、給料、DX、受注工事が近距離で自宅から通勤できること、安定した経営、社会貢献、老舗など、様々な回答が得られ、それを踏まえて自社のアピールポイントを整理しました。

“ニュー6K”の推進

給料が良い 元来、賞与を含めた給与設定とする年俸制を採用しており、他の地方ゼネコンと比較しても引けを取らない年取でしたが、ピアボーナス（社員相互評価によるボーナス）制度や創立記念日賞与、決算内容に応じて別途支給される決算手当などの特別手当もあります。



具体的なアクション

休暇が多い 技術職員と事務職員の年間所定休日日数を同日数に設定し、令和6年度は124日間、有給休暇取得率60%（令和5年度）を達成しました。有給休暇は社員全員が会社の所定休日が記載された年間休日カレンダーに有給取得予定日を記入し、職場で共有することにより、取得しやすい環境を構築しています。

絆で結束 社内旅行やバーベキュー大会を実施しています。

危険回避対策の徹底 熱中症対策として脈拍管理ができるスマートウォッチの採用など、最新の安全管理機器を導入しています。

きれい オフィスリノベーション（社屋、倉庫3棟の改修、オフィス家具の総入れ替え）を行い、働く環境の改善に注力しています。

カッコいい DX推進や新ユニフォーム（若手協議会で決定）、オフィスリノベーションを進めています。

実際に取り組んでわかったことは、これら建設業の課題に対応するための働き方改革、生産性向上としての建設DXの推進、ブランディングの3つは相互に絡み合っているということです。建設DXは働き方改革を助けると同時に、そのもの自体が“カッコいい”働き方を演出します。そして、働き方改革、建設DXの推進、社会貢献活動、災害対応等の取り組みをブランディング戦略の中で実施、インナー、アウターそれぞれのファンを増やすためには情報発信が必要でした。

具体的な取り組み

具体的な取り組みは以下の通りです。

- ▶ ICT施工（土工）導入（平成28年）
- ▶ サイボウズ導入（平成29年5月）
- ▶ ホームページの刷新（平成29年10月）
- ▶ 完全週休2日制試行（国土交通省発注4工事）（平成29年）
- ▶ 完全週休2日制本格導入（平成30年）
- ▶ 本社社屋改修（平成30年）
- ▶ DXルーム設置（令和3年5月）
- ▶ 「けいナビ」～「コロナ禍 IT技術で乗り切る北海道企業」放送（令和3年11月）
- ▶ TVCM・映画CM開始（令和3年12月）
- ▶ ICTグループ創設（令和4年4月）
- ▶ DXセンター運用開始（令和5年4月）
- ▶ 「けいナビ年末特番」～「DXで変わる北海道の働き方」放送（令和6年12月）

映画CM、TVCM放映による情報発信

CMは4本製作しました。最初のCMは映画『劇場版 呪術廻戦0』（令和3年12月24日公開）とその公開に併せたテレビ一挙放送スペシャル（令和3年12月22日放送）で、一番最初に流れるCMとして入れてもらいました。インフラ整備による建設業の役割とUAVを使って近代的でカッコいい仕事をPRする内容（「私たちは守ってきた」篇）でした。

CM「私たちは守ってきた」（最初に作成したCM）をきっかけに、社名を出していく広報に力を入れることになりました。さらに3パターンのCMを製作し、建設DXによる働き方改革をスタイリッシュに表現する内容（「一歩先へ行く」篇）、社会基盤整備により、人、物、心をつなげてきた建設業が建設DXで新しいスタイルに変革していることをアピールする内容（「想いをつなぐ」篇）、建設業を通じて北海道の発展に貢献してきた歴史と建設DXによる最先端の管理を融合した内容（「その仕事は北海道に」篇）を制作しました。いずれも分析した自社の強みを生かし、建設業らしくないカッコいいCMを意識しました。

これらのCMを放映することにより、営業先や工事現場の地域住民から「CM見たよ。」と声をかけられたり、インターンシップに訪れた学生から「テレビのCMを見てインターンシップに応募しました。」

という言葉が聞かれました。アウターブランディングの一つとして映画CM・TVCMを放映してきました。地上波メディアだからこそ、映画を見れば、テレビを見れば流れてくる。就活生の進路に最も大きな影響を与える保護者世代にCMを流すことができる会社、信用のできる会社として認知してもらえるといった効果があったと感じています。



CM「私たちは守ってきた」
（最初に作成したCM）



CM「一歩先へ行く」



CM「想いをつなぐ」



CM「その仕事は北海道に」

TV番組の出演

TV番組に最初に取り上げられたのは令和3年11月放送の『けいナビ』（テレビ北海道）でした。『けいナビ』は新型コロナの感染拡大や人手不足など変化し続ける環境の中で、難局に立ち向かう企業、団体の現在を中心に伝える経済番組で、ちょうど本社DXルームを設置し、会社全体でデジタル技術の導入に大きく舵を切った年に取り上げてもらいました。国土交通省で試行を経て導入が進められていた遠隔臨場をヒントに社内の会議をWEB会議にしたり、車両の位置情報を利用して管理するアプリケーション、ICT活用施工など建設DXの取り組みを約5分間にわたって紹介する内容でした。

さらに、令和6年12月には『けいナビ年末特番』～「DXで変わる北海道の働き方」として、令和5年4月から運用を開始しているDXセンターやBIM/CIMなどについて紹介されました。

当社では、令和3年4月に本社会議室をDXルームに改修し、建設DXを推進しています。そのコンセプトは「すべての工事を1つの工事として管理する」というものです。WEB上で表示できる全ての工事の全てのデジタル情報を本社で常に表示し、本社でも安全管理、工程管理、品質管理などを一緒に考え、サポートすることを狙ったものです。複数のモニターに全ての現場を表示できるのは、当社の年間受注件数が8件から12件で、地方の中小建設会社だからこそ可能であり、小規模であることを自社の強みに転換したとも言い換えることができます。

TV番組で先進的技術を使って“カッコいい”働き方として紹介することで、一般の方々に地方の中小建設会社も魅力的な職業に変わってきていることをアピールできたと思います。



「けいナビ」
～「コロナ禍 IT技術で乗り切る北海道企業」



「けいナビ年末特番」
～「DXで変わる北海道の働き方」

採用活動における現在地

地上波メディアによる情報発信を含め、アウトブランディング、インナーブランディングの成果として、土木系社員の平均年齢は平成29年に49歳だったのが、令和5年には43歳に改善され、20代の社員の比率は7%から32%に向上しました。また、3年以内の離職率は0%という状況です。しかし、情報入手する環境が日々変化し続けているため、情報発信は目に触れる機会を多くすることが重要です。地上波メディアによる情報発信に加え、別の視聴者層となるSNSによる情報発信も検討すべき事項として捉えています。

建設会社としての存在意義

建設業としての存在意義は何でしょうかと問われたとき、それは間違いなく地域の守り手としての役割が挙げられます。

DXセンターのDXルームには江別市の防災安心マップを掲げており、災害時には現場に設置しているWEBカメラや重機、配置人員をフル活用し、災害対策室として会社の全機能を集約した最善の対応を可能としています。

近年激甚化する災害において、地域住民の生活を守り、インフラを整備し、安心して便利に暮らせる社会を支えることができる、地域に根差した経営基盤を持つ建設会社の存在が重要です。それゆえに建設業は持続しなければならない産業の一つであると考えます。

これは、就職活動をする学生にとっても、現在会社に籍を置く若手社員にとっても、社会のために活躍したいという欲求を満たし、プライドを保つための会社の魅力であり、地方に拠点を置く中小企業ならではの強みとなります。草野作工は北海道江別市にあり、昭和11年創業で、橋梁工事を得意とする会社として存続してきました。現在は道路、河川、下水道、農業基盤等、幅広く建設工事を手掛ける他、発酵ナノセルロースの開発等の異分野へ進出も含め、多角的に事業を展開しています。令和8年の創業90周年を迎えるにあたり、新たなCMの制作にも着手したところです。ようやく認知され始めたブランドに恥じぬよう、社訓「初心 忘るべからず」を大切に、社会から必要とされ続ける会社を目指していきます。

おわりに

最後になりますが、ご協力いただいた広告代理店、TV局ほか関係者の皆さま、会社の取り組みを紹介する機会をくれた協会の方々にはこの場を借りて御礼申し上げます。また、地方の中小建設会社としての会社の強みを見出し、業界全体で協力してより魅力的な建設産業を築いていくことができれば幸いです。

発表事例

5

鹿児島県

総フォロワー20,000人超「即時性」「地域密着」「見える化」のSNS戦略

(株式会社 山藤建設)

SNS運用には目的が必要

～山藤建設がSNSを始めた理由～

近年、建設業界においても多くの企業がSNSによる発信を行っています。しかしながら、「何のためにSNSをやるのか」という目的が明確で無ければ、何を発信すれば良いのか分からず、結果として投稿頻度も落ち、長続きしません。

そこで、まずは「なぜ弊社がSNSを始めたのか」という話からさせてください。

'90年代。幼少の私は、家業である山藤建設を「たくさんの働き盛りの若者が活躍している会社」だと認識していました。ところが、それから約30年の時を経て、私が山藤建設に入社したのが令和3年。その時、弊社の様相は様変わりしていました。入社してみると、当時既にアラフォーだった私が、なんと社内最年少だったのです。現場監督こそ40代が中心だったものの、主な働き手は50～60代。新卒採用にいたっては、なんと20年前、平成12年が最後という有様でした。くしくも前職で採用・育成部門のマネージャーに就いていた私。この会社での最大のミッションは、「如何にして山藤建設に新卒を入れるか」というものになりました。

とはいえ、担い手不足が叫ばれて久しいこの業界。何かしら手を打たなければなりません（それも出来れば極力経費はかけずに）。考えたことは2つでした。

- ① 建設業がどのように地域社会に貢献しているのかを広めることによって、建設業自体の魅力を向上させ、建設業界の求職者を増やす。
- ② 地域の人たちに「山藤建設」という会社を知ってもらい、「選ばれる会社」になる。

この2つを実現するため、今や若者にとってTV以上に主要かつ身近なメディアとなっている「SNS」に目を付けました。かくして私は、入社翌年度の新卒採用に合わせ、5つのSNSを一気に始めることとなります。

ここから、特に注力している3つのSNSについて、その特性に合わせた弊社の戦略をお話します。

X×即時性

～リアルタイムに伝えたい情報を発信～

X(旧Twitter)は、新しい投稿ほどタイムラインの上位に表示されるという特性があります。「拡散」「バズ」といった現象が発生しやすく、ユーザーも「今知りたい最新の情報」を求めてXを開きます。

そこで、Xでは「今すぐ伝えたい、即時性の高いメッセージ」を優先的に発信しています。

例えば、事前に挨拶回りが出来ないような、緊急の災害復旧工事を行うとき。工事の場所、内容、交通規制といった情報を、現場の写真と共に、リアルタイムに発信しています。

発信すべきタイミングは日常の業務の中にもあります。例えば、積雪時に市道のパトロールを行ったら、それをただ市の担当者に報告して終えるのではなく、積雪した道路の写真を添えてXに投稿する。こうすることで、地域住民の方々へ速やかに、路面凍結への注意喚起が行えます。

直近の例で言うと、今年6月、梅雨入り直後に鹿児島ではかなりの大雨が降りました。この時も、出勤時の降雨の様子や、弊社ビルの隣を流れる河川の増水の状況を、動画で撮影しXに投稿しました。建設業は「地域の安全の担い手」です。このような投稿を行うことによって、災害が起きて「から」ではなく、起きる「手前」で、「災害になるかもしれないから注意してくださいね」と促すことが出来るのです。

尚、このような大雨などの自然災害に関する投稿を行っていると、テレビ局や新聞社から、報道番組での動画の使用願いや、電話インタビューの依頼を頂くことも多々あります。6月の大雨の際も、多くの全国放送の報道番組で、弊社のXに投稿した動画が私の電話インタビューと共に放送されました。このように、SNSにとどまらず、報道を通じて全国に向けた安全啓発に繋がることもある、というのも、Xの大きな特徴だと考えます。



山藤建設が運用する SNS



「スーパー」チャンネル「モーニングショー」(テレビ朝日系列)「Nスタ」「news23」「THE TIME」 「ひるおび」(TBS系列)、「DayDay」(日本テレビ系列)へ動画提供及び電話取材対応

豪雨の状況を伝える投稿

TikTok × 地域密着

～生活に寄り添う「小さな工事」を発信～

TikTokは特に若い世代に流行しているSNSであり、我々からするとあまりなじみのない存在です。しかし今、TikTokをはじめとして、YouTubeショート、Instagramのリール動画・ストーリーズ等、「縦画面のショート動画（最大1分程度の短い動画）」が様々なシーンで注目を集めています。

TikTokというと「女子高生などの若者が流行りの音楽に合わせてダンスをしている動画」といったイメージがあるかと思います。実際、そのようなダンス動画がTikTokの流行の中心です。かといって、「企業が従業員にダンスをさせて動画を撮ればいいのか」というものではありません。

では、企業のTikTokにおいては、どのようなものが流行しているのか。特にフォロワーが多い企業の多くは、主として特定の若手社員をメインに据え、社業と関係のない企画性の強いエンタメ動画で人気を博しています。このような動画に挑戦することもひとつの手ではあるのですが、弊社がSNSを始めた目的には、「建設業の魅力向上」があります。ですから、仮に建設業と無関係なエンタメ動画でバズることが出来たとしても、弊社にとってはあまり意味がありません。

ではどうするか。もちろん、TikTokにはダンス以外にも人気のジャンルはたくさんあり、その中には、建設業と親和性が高いものもあります。私が特に注目しているのが、「地域の話」「あるあるネタ」「雑学」「職人技」の4つです。

実際に弊社のTikTokで一番バズった動画がどんなものかということ、「一日で終わってしまうような、小さな道路陥没の補修工事」です。とても地味な工事だったのですが、これがなんと32万回以上再生され、非常に多くの「いいね」や「コメント」を頂戴し、この動画だけでフォロワーが100人近く増えました。

どうしてそんな小さな現場の動画がバズったのか。分析してみると、先述した4つのポイントを、この動画は網羅しています。

- 地域の話：地元の郵便局前という身近な場所
- 雑学：井戸を埋める際のお清め
- あるある：小さな道路陥没という身近な不便
- 職人技：熟練の技術による転圧敷き均し等

こういったポイントに刺されれば、このような小さな工事でもバズることが出来る。巨大ダムやシールドトンネルのような、いわゆる「バえる」現場ではなくとも、バズは起るのです。

これ以外にも、「歩道の修繕」や「倒木処理」など、本当に小さな現場が意外とバズります。視聴者の生活に「身近」であることが、TikTokにおいては重要なポイントだと感じています。

Instagram × 見える化

～画像1枚で伝える～

Instagramは写真の投稿に特化したSNSです。大きな特徴として、1つの投稿に複数の画像を載せることも可能ではあるのですが、画面に表示されるのは1枚目のみ。2枚目以降は、そこから画面をスワイプしていかないと表示されません。

このような「複数の画像による投稿」でよくみられるのが、1枚目が「見出し」にあたる画像で、2枚目以降が詳細説明の画像というパターンです。しかしこのパターン、1枚目の見出しがよほど興味を惹くものでないと、ユーザーはわざわざスワイプして2枚目以降を見ようとは思いません。

弊社でも、例えば「今夏も猛暑対策手当を全従業員に支給します」という投稿をした際は、「猛暑対策手当って何？」と興味を持ってもらえることを期待し、このパターンを用いました。

しかしながら、建設業の普段の投稿で「キャッチーな見出し」を付けるのは至難の業です。

例えば「〇〇工法について」といった見出し。私個人としてはこの手の投稿を見るのは大きですが、このような専門的な見出しだと、興味を持つのは私のような同業者や建設業を志す学生などに限られ、なかなか幅広い人たちには響きません。勿論、現時点で既に知名度があり、入社を志望する学生が毎年複数いるような企業であれば、このやり方でより関心を深めていけるでしょう。しかし、弊社のような中小企業ではそうはいかない。

そこで私が考えたのは「そもそも2枚目をスワイプしてもらうことを期待しない」こと。1度の投稿で画像は原則1枚だけ。しかも、その1枚を一般の方にも伝わる画像にするという方針です。

具体的にどうするか。やることは非常にシンプルです。どの現場でも撮影する「着工前写真」と「完成写真」。この2枚を上下や左右で結合して1つの画像にする。要はBefore-Afterです。「こんなひび割れた道路



32万回以上再生された陥没補修の動画



1枚の画像に複数の写真を結合し説明を加える例

がこんなに綺麗になりましたよ」「何もなかったところに階段を作りましたよ」と一目で分かる画像にするのです。時には施工中の写真も挟んで3段構えにしたり、あるいは定点撮影した月次進捗写真を並べて4段、5段、6段構えにすることもあります。

加えて、実際に投稿する際にはここに更に現場名などの文字も入れて、より分かり易くします。

工事の進捗以外でも、複数の画像を載せたいときは結合して極力1枚の画像にまとめる。簡単な説明の文言も入れる。そうすることで「一目見れば分かる画像」をInstagramでは心掛けています。

メディアミックス～幅広い世代へ届ける～

ここまでX、TikTok、Instagramと、特に力を入れている3つのSNSの運用についてお話をしましたが、山藤建設ではそれ以外に、YouTubeとFacebookも運用しています。

何故5つのSNSを運用しているかという、それぞれのSNSごとに、主な利用者層が異なるからです。

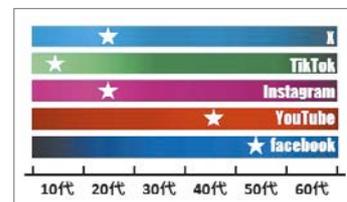
例えば、TikTokなら10代、XとInstagramでは20代が利用者層の中心になります。弊社のSNSの主目的は新卒採用なので、若者の利用率が高いこの3つのSNSに力を入れている、というわけです。

ですが、時には「より幅広い世代の方に伝えたい」ということも生じます。

最近の例で言うと、今弊社がある鹿児島県始良市においては、国道10号線の慢性的な渋滞を緩和するために、始良市山田口交差点から加治木ジャンクションを経由し隣の霧島市隼人町小浜を結ぶバイパスを作ろうという運動を行っています。これに際し、今年6月に「中部横断道路建設促進決起大会」を開催することになりました。

この運動の中心メンバーの一人に弊社社長がいるということもあって、山藤建設としてもこの決起大会にできるだけ多くの市民の方に集まって頂きたい。ついては、少しでも力になれば、ということで、計画の概要説明と決起大会の開催を案内する1分間の縦画面ショート動画を作成し、それを弊社が運用する5つのSNSすべてに同時投稿しました。

YouTubeは40代、Facebookは50代が主な利用者層ですから、これら2つのSNSにも投稿することで、より幅広い世代にリーチすることが出来る。これが複数のSNSを運用する強みの1つだと考えます。



各 SNS 毎の主な利用者層

おわりに～SNSで発信することの意義～

建設業の仕事は、その多くが「社会貢献そのもの」だと、私は考えます。勿論お金を頂戴して行う仕事はほとんどではありますが、地域の安全や利便性を高める、住民の方々に喜んで頂ける仕事。それが建設業だと思っています。そのような素晴らしい仕事をしているということ、よりたくさんの人たちに知ってほしい。それを叶えるのがSNSです。

弊社がSNSを始めて3年。今現在、Xが約13,000人、TikTokが約4,000人、Instagramが約7,000人。総じて24,000人を超える方々が、弊社のSNSをフォローし、投稿を見てくださっています。

何よりも、SNSを始めた目的である、新卒採用。SNSの運用を始めた年度に1名、そして今年も1名。20年いなかった新卒社員が、2人入社してくれています。

そしてまた、このようにSNSを運用して何より嬉しいのが、弊社の投稿を見てくださった方々が寄せてくださるコメントです。

「こんな仕事をしてくれていたんだな、嬉しいな」と喜んで頂ける。そのことによって、私たちが励みになるし、誇りにもなる。そういう幸せな循環を、SNSは生んでくれています。

建設業の魅力発信は弊社だけでは足りません。日本中の建設業者や団体がそれぞれ発信をしていけば、私たちの仕事の魅力はどんどんと伝わり、広がっていきます。

是非、今はまだSNSをやっていない、やってはいるけれどさほど力を入れていない、という企業の皆さまにも、SNSを通じて、より多くの人たちに建設業の素晴らしさを一緒に届けて頂けたら嬉しいです。ご高覧頂き、ありがとうございました。

（株）山藤建設のTikTokに寄せられたコメント

- 救世主！本当にかっこいい！
- こういう人たちのおかげで大きな被害も出ないで済んだよね
- 凄いなー技術に伝統！日本だから当たり前みたいに感じてるけど、皆さんの努力のおかげなんですよ！
- 大変な仕事だ ありがとうございます
- コレはトラック乗りには助かります ありがとうございます
- ご苦労様でした 毎日通る道なので助かります
- こういうマジ助かりますありがとうございます
- 世の中がこの人たちののおかげでめちゃくちゃ助かってる
- こういう会社って信頼できる
- 圧巻ッ！カッコいい！
- ここも綺麗にしてくれたの!?
- 凄すぎる！お疲れ様です！
- 母校を手入れしてくれてありがとうございます
- すばらしいお仕事いつもありがとうございます
- 自転車よく使うようになってからこういうの本当にありがたいって思うようになった
- ありがとうございます！状況がづぶさに分かって嬉しいです
- さすがです。仕事早っ！
- 地元！見通しが悪い曲線区間でしたので施工ありがとうございます！
- ありがとうございます！いつも感謝しております
- お疲れ様です。近くに住んでいる者になります。大変だと思いますが、よろしく願います
- 大変なお仕事ですね。ご苦労様です。お陰様で安全に通行出来ています。ありがとうございます。
- 世界は誰かの仕事で出来ている…

2-2 協会・支部・会員企業の活動事例

令和7年度 建設業社会貢献活動中央行事で顕彰した事例のうち、前項で紹介した事例の他、ここでは次の43の社会貢献・SDGs活動事例と17の広報活動事例を紹介します。

社会貢献・SDGs 活動事例

No.	都道府県	協会・企業名	活動内容
1	福島県	一般社団法人 福島県建設業協会 若松支部	令和7年2月の福島県会津豪雪における除排雪活動
2	石川県	一般社団法人 石川県建設業協会	令和6年9月奥能登豪雨における災害復旧支援活動
3	滋賀県	一般社団法人 滋賀県建設業協会 長浜支部	米原市伊吹地先土砂災害 災害復旧支援活動
4	島根県	一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会	大社日御碕線の道路崩落への応急対応
5	宮崎県	延岡地区建設業協会	延岡市浦城町の土砂災害対応
6	愛知県	株式会社 近藤組	三重県内の豪雪に伴う除雪応急復旧活動
7	岩手県	一般社団法人 岩手県建設業協会 盛岡支部	高病原性鳥インフルエンザ防疫活動
8	岩手県	一般社団法人 岩手県建設業協会 久慈支部	豚熱による防疫活動
9	岩手県	一般社団法人 岩手県建設業協会 二戸支部	高病原性鳥インフルエンザ防疫活動
10	茨城県	一般社団法人 茨城県建設業協会 水戸支部	豚熱防疫活動
11	茨城県	一般社団法人 茨城県建設業協会 常総支部	八千代町鳥インフルエンザ防疫活動
12	群馬県	一般社団法人 群馬県建設業協会 前橋支部	群馬県前橋市の豚熱（CSF）防疫作業
13	千葉県	一般社団法人 千葉県建設業協会	大規模鳥インフルエンザ発生に伴う防疫活動
14	新潟県	一般社団法人 新潟県建設業協会 新発田支部	豚熱・鳥インフルエンザの防疫支援活動
15	岐阜県	一般社団法人 岐阜県土木工業会	高病原性鳥インフルエンザ防疫活動について
16	宮崎県	高鍋地区建設業協会	鳥インフルエンザに係る防疫活動
17	宮崎県	串間市建設業協会	鳥インフルエンザに係る防疫活動
18	栃木県	一般社団法人 栃木県建設業協会 芳賀支部	水防伝達訓練及び旧芳賀建設会館を使った火災・震災対応訓練
19	群馬県	一般社団法人 群馬県建設業協会 館林支部	防災訓練の実施
20	山梨県	一般社団法人 塩山建設業協会	地域との相互協力による合同防災訓練
21	岐阜県	一般社団法人 岐阜県西濃建設業協会	防災訓練及び水防訓練への参加、防災啓発活動
22	鹿児島県	株式会社 前田建設	地域ぐるみの避難訓練
23	大阪府	西田工業 株式会社 大阪本店	中津万博（大阪・関西万博 TEAM EXPO 2025 プログラム 共創チャレンジ）
24	栃木県	一般社団法人 栃木県建設業協会 鹿沼支部	「鹿沼さつきマラソンクリーンアップ作戦」の実施
25	石川県	一般社団法人 金沢建設業協会	クリーン・ビーチいしかわ
26	宮城県	株式会社 太田組	SDGsに基づく環境美化活動や地域の活性化
27	栃木県	岩澤建設 株式会社	道路の美化清掃活動
28	群馬県	上原建設 株式会社	清掃ボランティア活動
29	山梨県	植野興業 株式会社	甲州市塩山東公民館 草刈り・清掃

No.	都道府県	協会・企業名	活動内容
30	山梨県	富士島建設 株式会社	地域環境美化活動（黒沢川落下防止柵塗替え）
31	岐阜県	内藤建設 株式会社	六条南公園、岐阜駅前の毎月のボランティア活動
32	滋賀県	株式会社 大野組	継続的な地域貢献活動
33	兵庫県	株式会社 大城工業所	毎月の地域一斉清掃活動
34	兵庫県	三宅建設 株式会社	クリーン活動
35	岐阜県	一般社団法人 揖斐建設業協会	継続的な献血活動
36	北海道	丸彦渡辺建設 株式会社	豊平小学校 側溝清掃
37	岩手県	県北緑化 株式会社	長年に亘る地域の交通安全・防犯活動への尽力
38	岩手県	株式会社 佐藤組	地元支援学校・支援学級等の生徒との協働活動
39	山形県	小白川建設 株式会社	豪雪時における児童の安全確保のための除排雪作業
40	富山県	塩谷建設 株式会社	福祉施設誘致による地域コミュニティの創造
41	富山県	株式会社 藤井組	長年にわたる子ども110番の家
42	大阪府	株式会社 銭高組 大阪支社	献血推進活動
43	青森県	株式会社 中屋敷建設	地域資源を再活用した国内資源肥料の利用拡大

広報活動事例

No.	都道府県	協会・企業名	活動内容
44	山梨県	一般社団法人 甲府地区建設業協会	建設産業出前授業
45	山梨県	一般社団法人 身延建設業協会	小学校での建設機械等の乗車体験会
46	長野県	一般社団法人 長野県建設業協会 青年部会	中学校体験学習・防災学習会の開催
47	静岡県	一般社団法人 静岡建設業協会	親子現場見学会の開催
48	三重県	一般社団法人 三重県建設業協会 志摩支部	2024 in shima 建設フェスタ&商工会まつり
49	石川県	一般社団法人 羽咋都市建設業協会	地域イベントで建設業の役割をPR
50	福井県	一般社団法人 若狭地区建設業協会 建設青年委員会	イメチェンイルミ2024inわかさ
51	福島県	株式会社 オオバ工務店	継続的な建設業の魅力発信活動とヘルメット寄贈
52	三重県	株式会社 竹島建設	次世代の若者へ建設業に対する理解と建設業の必要性、魅力、興味を発信するために
53	大阪府	戸田建設 株式会社 大阪支店	トンネルが結ぶ！ふれあいの輪
54	兵庫県	福井建設 株式会社	働く車見学会の開催
55	山口県	株式会社 井原組	中高生への建設業の魅力を伝える出前事業
56	鹿児島県	淵脇建設 株式会社	国分小学校『しごと村』
57	富山県	株式会社 斉藤組	SNSによる建設業や自社の魅力UP発信活動
58	栃木県	一般社団法人 栃木県建設業協会 日光支部	除雪カードの作成・配布
59	愛知県	株式会社 加藤建設	オリジナル絵本による建設業のイメージアップ
60	富山県	安達建設 株式会社	アニメCMによる建設業界及び自社の広報

事例
1

災害復旧活動

福島県

令和7年2月の福島県会津豪雪における除排雪活動

(一般社団法人 福島県建設業協会 若松支部)

令和7年2月の強烈な立春寒波は日本に約一週間停滞し、日本海側に近い福島県会津地方にも記録的な大雪をもたらした。会津地方の中心地である会津若松市では、2月5日未明から雪が降り続き、7日午前11時の積雪深は121cmとなり、平成22年12月に観測した115cmを上回り、昭和28年の統計開始以来過去最大の積雪深を観測した。

2月5日15時49分には大雪警報が発令され、磐越自動車道や国道49号では予防的通行止めを開始し、大粒の雪が絶え間なく降る中深夜から懸命な除雪を実施したが、ほとんどの道路で除雪が追い付かず、堆積した雪や氷結化した路面でスリップやスタックする車も相次ぎ、道路脇に寄せられた雪で行き違いできない個所や片側2車線の道路が1車線になる区間も多数発生し、著しい交通渋滞や救急搬送の遅れなど、市民生活に大きな支障を与えたほか、屋根からの落雪により尊い命が失われた。

このような中、福島県建設業協会若松支部の会員企業16社は、2月7日に福島県会津若松建設事務所長から災害協定に基づく支援要請があったことを受け、地域住民の一刻も早い「安全・安心」を確保するため、支部長の指揮下のもと、会津若松建設事務所や会津若松市役所の道路管理部局に対し積極的な提案を行いながら、建設業協会本部や会員以外の企業にも協力を求めるなど、唯一無二の地域の守り手としての揺るぎない使命感のもとで、主要幹線道路や第二次救急医療病院へのアクセス道路、生活上の支障のある狭隘道路等を優先に、昼夜の区別なく集中的な除排雪を進めた。

また、既存の2箇所を除雪場のほか、臨時に新設された3箇所の除雪場の運営（交通誘導、雪寄せ）を受託し、会津地方では不足していたバックホウ（0.7m³）4台を中通り地方（郡山市）から手配し、途切れることのない除雪運搬車を誘導しながら、臨時除雪場の円滑な管理運営に貢献した。

さらに、福島県土木部長から全県的な広域支援の要請があったことを受け、福島県建設業協会本部では2月10日から2月15日までの6日間、中通り地方の各支部の会員企業25社から延べ93台の4tダンプをオペレーター付きで派遣した。当支部ではこれらの派遣部隊を指揮下におさめ、幹線道路の除排雪作業を行い、迅速な除排雪作業に貢献した。



夜間除排雪(主要地方道会津若松裏磐梯線)



排出場運営(県立会津病院跡地)



福島民報新聞(R7. 2. 8)

事例
2

災害復旧活動

石川県

令和6年9月奥能登豪雨における災害復旧支援活動（一般社団法人 石川県建設業協会）

令和6年9月21日から23日にかけて発生した令和6年9月能登半島豪雨において、石川県建設業協会は22日に「奥能登豪雨災害対策本部」を設置し、翌日から県内9地区協会と連携、復旧支援活動を開始した。

各地区協会のうち、被害が大きかった奥能登地域の鳳輪、珠洲の2地区協会は、管内での復旧活動に加え、被害がほとんどなかった金沢、七尾鹿島、羽咋郡市、河北郡市、白山野々市、小松能美、加賀の7地区協会の会員企業を中心に道路啓開、河川護岸補修、立木処理等の復旧支援活動に取り組み地域の安全安心を守る、建設業団体として災害復旧に貢献した。



道路啓開(崩土除去)



民地内の堆積土砂除去(県道宇出津町野線沿線)

事例
3

災害復旧活動

滋賀県

米原市伊吹地先土砂災害 災害復旧支援活動

(一般社団法人 滋賀県建設業協会 長浜支部)

令和6年7月1日の大雨により、伊吹山を水源とする勝山谷川の upstream から押し寄せた土砂で勝山谷第1堰堤が埋まり、溢れた土砂が土石流となって米原市伊吹地先の集落や県道山東本巣線・山東伊吹線及び市道に流出し1m以上の堆積土が認められ、米原市が緊急安全確保（警戒レベル5）を発令したことから、滋賀県長浜土木事務所は長浜支部に対し応援協力の要請をした。同支部から被災地域近隣会員らが選定され流出土砂や堆積土砂の撤去作業に出勤し、迅速に対応した。同15日、25日にも大雨によって同じく勝山谷川から土砂流出が発生したため、同様に出勤した。

また、滋賀県の要請によって国土交通省から土砂災害専門家（TEC-FORCE高度技術指導班）が現地入りし、復旧に向けた調査や対策への助言があったことから、長浜土木事務所は応急土砂止工（強靱ワイヤーネット等）の設置を緊急対策として要請、長浜支部で対応した。

この土砂災害による応急復旧活動への貢献が認められ、長浜支部には滋賀県長浜土木事務所長と滋賀県湖北環境事務所長の連名による感謝状が贈呈された。



米原市伊吹地先集落への流出土砂の撤去作業



勝山谷川の堆積土砂の撤去作業(進入路設置工含む)

事例
4

災害復旧活動

島根県

大社日御碕線の道路崩落への応急対応

(一般社団法人 島根県出雲地区建設業協会)

令和6年7月、主要地方道 大社日御碕線が豪雨により路面が崩落し通行不可能になり、出雲市内の日御碕地区が孤立状態となったため、島根県出雲地区建設業協会は災害協定に基づき、バリケード等の設置や交通整理など24時間体制で対応に当たった。

また、県から大型土嚢600袋の要請があり、休日返上して会員企業が分担して製作を行った。

その後、段階的な仮設迂回道路の整備を行ったことで、12月に大型車両を含む全ての一般車両が通行可能となった。



24時間体制で仮設迂回道路を整備



仮設迂回道路の舗装を施工

事例
5

災害復旧活動

宮崎県

延岡市浦城町の土砂災害対応

(延岡地区建設業協会)

令和6年10月23日未明に発生した延岡市浦城町の土砂災害に対して、発生箇所管内を所管とする延岡地区建設業協会が地域総合メンテナンス業務として24時間体制で従事し、23日から26日の4日間で4社(延べ35名)が土砂災害の被害者の捜索並びに救出活動を実施した。また、本捜索・救出活動に従事した企業に対し、延岡土木事務所より感謝状を授与された。



発生現場



捜索・救出活動

事例
6

災害復旧活動

愛知県
三重県内の豪雪に伴う除雪応急復旧活動

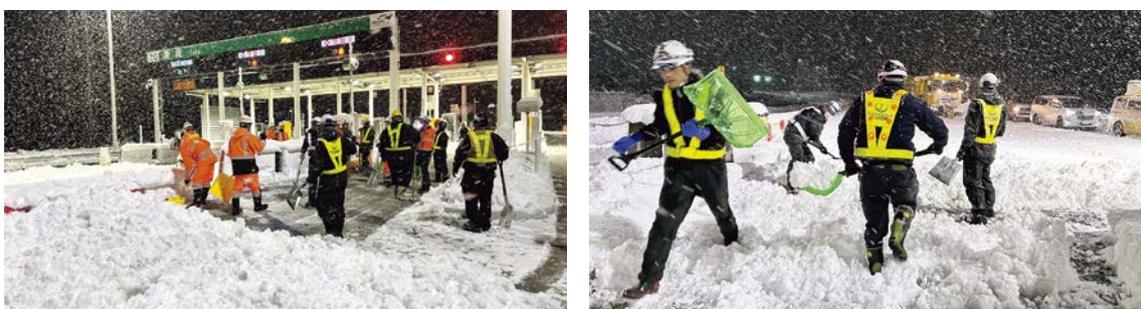
(株式会社 近藤組)

令和7年2月7日から降り始めた大雪に伴い、三重県内においても高速道路や一般道の予防的通行止めが行われた。

この為、中日本高速道路(株)名古屋支社より弊社に応急復旧業務の協定に基づく応援要請があり、2月7日夜から出勤に備えて体制を整え、会社内で待機をした。

翌日2月8日夕方に出動要請があり、三重県内の桑名保全サービスセンターに集合し、そこから東員インター料金所に移動し、人力の除雪作業により料金所を通行する為の復旧作業を行い、22時頃に降雪が収まってきた地区から順次予防的通行止めが解除され、応急復旧業務も終わることができた。

上記の応急復旧業務が評価され、弊社は令和7年4月25日にNEXCO 中日本 名古屋保全サービスセンター事務所長様より、冬期交通の確保に向けた取り組みへの協力ということで感謝状が送られた。



除雪作業

事例
7

防疫活動

岩手県
高病原性鳥インフルエンザ防疫活動

(一般社団法人 岩手県建設業協会 盛岡支部)

協会盛岡支部は、令和7年1月に管内で発生した3例の鳥インフルエンザについて、協定に基づき、採卵鶏、餌・糞、防護服などの運搬及び埋却作業の防疫対応を実施した。

【対応期間】 ①令和7年1月2日～1月7日 ②令和7年1月11日～1月17日 ③令和7年1月22日～1月31日

【殺処分数】 ①12万羽、埋却数(フレコンバック) 794袋
②40万羽、埋却数(フレコンバック) 2,578袋
③66万羽、埋却数(フレコンバック) 4,918袋

【対応会員数】 ①6社延べ132人 ②16社延べ368人 ③23社延べ732人



埋却

運搬

事例

防疫活動

8

岩手県

豚熱による防疫活動

(一般社団法人 岩手県建設業協会 久慈支部)

令和6年5月28日午前10時、岩手県北広域振興局土木部より管内の養豚農場において豚熱の疑いのある豚が発熱後死亡したことから現在検査中。検査結果は午後4時頃判明予定、検査結果を受けて会議、方針が決まるため現地では先行して準備を行う。現地確認のため岩手県との「家畜伝染病における緊急対策業務に関する協定」に基づき協力要請があった。

埋却地は同施設内の雑種地で雑木林であったため、測量、伐木、伐根、試掘、仮設道路準備等、埋却溝掘削の準備とともに、夜間から始まった処分豚の運搬作業にあたった。長期間にわたる防疫作業のため、久慈支部会員全社に協力を求め、バックホウ、キャリアダンプ等、使用重機は20台、延べ1,228人が従事し、発生から25日目となる6月21日に埋却作業が終了。最終的な処分頭数は19,780頭であった。

作業にあたり埋却溝の湧水や溜水（雨水、血液・体液など）、近隣からの苦情、腐敗臭の発生、急な気温上昇による熱中症対策など予期せぬ事象があり柔軟な対応を求められた。

久慈支部では迅速な初動態勢がとれるよう、常に災害対応組織力の強化を心掛けており、今回の防疫作業においても発揮することができたと考えている。



殺処分豚の運搬



埋却溝 掘削

事例

防疫活動

9

岩手県

高病原性鳥インフルエンザ防疫活動

(一般社団法人 岩手県建設業協会 二戸支部)

協会二戸支部は、令和7年1月に管内で発生した鳥インフルエンザについて、協定に基づき、殺処分した雛鳥、餌・糞、防護服などの運搬及び埋却作業の防疫対応を実施した。

【対応期間】 令和7年1月5日～1月8日

【殺処分数】 5万羽

【対応会員数】 18社延べ127人



埋設状況



石灰散布

事例 10 防疫活動
茨城県
豚熱防疫活動

(一般社団法人 茨城県建設業協会 水戸支部)

令和7年3月31日、茨城町の養豚場で豚熱の感染が確認された。

茨城県との「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定」に基づき、重機等資機材の手配、水戸支部土木委員会11社、延べ18名の作業員を、防疫活動のため現地に派遣した。

防疫活動は、3月31日～4月1日まで行われ、処分するための埋却地掘削、埋却物運搬・埋却・埋戻し、片付け等の作業を実施した。



埋戻し後、土の上に消石灰を散布



殺処分した豚を投入

事例 11 防疫活動
茨城県
八千代町鳥インフルエンザ防疫活動

(一般社団法人 茨城県建設業協会 常総支部)

令和6年12月29日に、結城郡八千代町の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生した（108万羽）。

茨城県建設業協会常総支部は、県との「特定家畜伝染病発生時の防疫業務に関する協定書」に基づき、茨城県農林水産部畜産課・常総支部役員・地区会員が八千代町役場にて打ち合わせを行い、埋却作業を委託された。同日午後にはバックホウ・敷鉄板の搬入と埋却のための準備に入った。

翌30日に、農林水産部畜産課・茨城県建設業協会会長・各支部長・協会本部・常総支部役員が常総支部にて打ち合わせを行い、また、同日の午前より現地にて支部会員が埋却作業に入った。

農場と埋却地の距離が6kmと離れており、積込や移動に時間を非常に要したが、農場内の鶏・飼料・卵の処分の埋却作業を常総支部内にてすべて終えることができた。

12月29日の発生から令和7年1月18日までの約20日間、茨城県農林畜産課をはじめとする関係各所と連携を図りながら、年末年始の多忙な時期ではあったが常総支部会員が一丸となり、延べ227名が埋却作業に従事した。今後も地域社会の守り手、砦として責務を全うできるよう、役割を果たしていきたいと思う。



令和7年1月22日、前橋市内の畜産農家から群馬県に豚熱の疑いの通報があり、県と国による検査を経て1月23日に豚熱が確定。群馬県と本会は「特定家畜伝染病発生時の貿易業務に関する基本協定」、「特定家畜伝染病発生時における埋却処分に関する協定」を締結しており、協力依頼の連絡を受け作業を開始した。

前橋支部では、社会的責任において群馬県との協定に基づき、会員企業はローテーションを組み埋却溝掘削や殺処分した豚の運搬・埋却などに従事した。

1月23日23時から殺処分、埋却地の掘削、目隠しフェンスの設置を開始。従事企業13社から作業員延べ184名を動員。2月1日に作業を完了した。

本会は、災害対応組織力の強化を掲げており、今回の豚熱発生に対する防疫作業においても、会員企業は連日連夜、懸命に防疫作業に取り組んだ。

延べ184人が防疫作業に従事した (群馬建協提供)



10例目の豚熱防疫業務完了

群馬建協 延べ66社、184人が作業

群馬県建設業協会(青柳剛 会長)の前橋支部(泉野高志 深さ4ft) 2本の掘削と、目隠しフェンス(約220ft)の設置を始めた。2本目の埋却作業を1日に終えた。豚熱溝は長さを41ftに伸ばした。は同市の養豚場で1月23日に対策本部を通じて県との連携発生。5529頭の豚を県とを密にし、1日までに埋め戻す協定に基づき殺処分した。し作業や承水路溝掘り、石灰発生から10日間の総従事者数 散布などが完了した。は延べ66社、184人。現場 作業に従事した企業は次の通り。

▽泉野建設▽塩原建設▽宮下工業▽月白工業▽橋元興業
▽須田工業▽松島工業▽鶴川興業▽立見建設▽大野工業▽三原工業▽志村工業▽池下工業

群馬建協と前橋支部はCSF対策本部を同23日に設置業。

建設工業新聞 R7.2.5



埋却物投入状況



農場からの搬出

豚熱対応に延べ66社
群馬建協

群馬県建設業協会(青柳剛 会長)は、1月に前橋市で発生した豚熱の防疫作業に会員企業を派遣、全作業が完了した2月1日までに延べ66社184人が尽力した写真。

1月22日の発生通報、23日の豚熱確定後、24日には群馬県から建協に協力依頼があり、同日から重機を投入して現場作業を開始していた。作業は全9日にわたり、対象5529頭を、重機を使用して掘削した2カ所の溝に埋立処分した。

作業に当たった企業は▽泉野建設▽塩原建設▽宮下工業▽月白工業▽橋元興業▽須田工業▽松島工業▽鶴川興業▽立見建設▽大野工業▽三原工業▽志村工業▽池下工業となる。

建設通信新聞 R7.2.6

事例 13

防疫活動

千葉県

大規模鳥インフルエンザ発生に伴う防疫活動

(一般社団法人 千葉県建設業協会)

令和7年1月11日に本協会銚子支部は、銚子市内で高病原性鳥インフルエンザに罹患した疑いのある採卵鶏が確認されたという情報を受け、「家畜伝染病発生時における防疫対策業務に関する基本協定」に基づき、ただちに人員配置や資機材等の手配など防疫措置の準備体制を整えた。そして、翌12日に疑似家畜であることが判明したことを受け、感染拡大防止のため、現地調査、掘削及び埋設作業等に尽力した。

しかし、この一例だけにとどまらず、銚子市では1月15日、19日（2例）、24日、28日、旭市では1月16日、18日、19日、28日、29日、31日、2月1日、匝瑳市では1月28日、31日と県内で高病原性鳥インフルエンザが15例も立て続けに発生した。なかには1日の間に複数の農場で発生するケースもあるなど、急激な速度で3市管内の農場に拡大した。

この感染拡大に伴い、銚子支部、八日市場支部、香取支部の3支部が地域の守り手として、強い連帯感をもって防疫作業にあたった。今回の処分対象が約300万羽を超え、令和2年に本県で発生した処分羽数450万羽という事例に迫る未曾有の危機だったが、3支部及び関係者の素早い対応により、被害を抑え、地域の安全に大きく貢献した。

結果、3月まで防疫作業は続き、地域の守り手という強固な意識のもと、支部会員は2か月間という期間的にも類を見ない防疫対応に尽力した。

また、県農林水産部畜産課からも年明けからの立て続けの防疫対応に、本協会会員が素早く対応したことについて、謝意が示された。



鳥インフルエンザ対応(銚子支部)



銚子支部の防疫作業(千葉県建設業協会提供)



八日市場支部も対応に当たった(千葉県建設業協会八日市場支部提供)

千葉県建設業協会(石井良典会長)の銚子、八日市場、香取の3支部は、1月12日以降、県内で立て続けに15例発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫対応に当たった。3支部の会員企業や関係者らは、県との防疫協定に基づき、同日から現地調査や殺処分に伴う掘削埋却作業などを開始。地域の守り手として昼夜を問わず尽力した。防疫対応は安全を念頭に、殺処分対象は300万羽を超え、20年度の450万羽に迫る事態だったという。県は2月27日、28日16例目の防疫措置がすべて完了したと発表した。

千建協 県が迅速対応に感謝 鳥インフルエンザの防疫措置

千葉県建設業協会の銚子支部は、1月11日、銚子市内で高病原性鳥インフルエンザに罹患した疑いのある採卵鶏が確認されたという情報を受け、ただちに人員配置や資機材等の手配など防疫措置の準備体制を整えた。そして、翌12日に疑似家畜であることが判明したことを受け、感染拡大防止のため、現地調査、掘削及び埋設作業等に尽力した。

しかし、この一例だけにとどまらず、銚子市では1月15日、19日（2例）、24日、28日、旭市では1月16日、18日、19日、28日、29日、31日、2月1日、匝瑳市では1月28日、31日と県内で高病原性鳥インフルエンザが15例も立て続けに発生した。なかには1日の間に複数の農場で発生するケースもあるなど、急激な速度で3市管内の農場に拡大した。

この感染拡大に伴い、銚子支部、八日市場支部、香取支部の3支部が地域の守り手として、強い連帯感をもって防疫作業にあたった。今回の処分対象が約300万羽を超え、令和2年に本県で発生した処分羽数450万羽という事例に迫る未曾有の危機だったが、3支部及び関係者の素早い対応により、被害を抑え、地域の安全に大きく貢献した。

結果、3月まで防疫作業は続き、地域の守り手という強固な意識のもと、支部会員は2か月間という期間的にも類を見ない防疫対応に尽力した。

また、県農林水産部畜産課からも年明けからの立て続けの防疫対応に、本協会会員が素早く対応したことについて、謝意が示された。

本協会では、この防疫活動を通じて、地域の安全を守るという強い意識を醸成し、今後の防災活動にも活かしていきたいと考えている。

災害備蓄品 支部に配布

千葉県建設業協会は、各支部に災害備蓄品を配布し、災害発生時の対応に備えるとともに、地域の防災意識を高めることに努めている。

日刊建設新聞 R7.3.4

に、スピード感と連帯感を持って実施した。3支部の迅速な防疫作業に対し、県農林水産部畜産課は謝意を示した。

日刊建設工業新聞 R7.3.7



鳥インフルエンザ対応(八日市場支部)

新潟県
豚熱・鳥インフルエンザの防疫支援活動

(一般社団法人 新潟県建設業協会 新発田支部)

令和6年8月14日、新発田市の養豚場において、県内初感染となる「豚熱 (CSF)」の発生が確認され、新潟県では豚熱対策本部を設置して、対象施設のブタ (約500頭) の殺処分や施設の消毒等の防疫措置を決定した。

新潟県との災害協定に基づく応援要請を受け、直ちに会員会社が施設敷地内に設けられた埋却予定地で殺処分豚の運搬・埋却作業の体制を整えた。

作業には会員33社 (正会員23社、準会員10社) が従事し、建設機械等をはじめ多くの資機材を投入して、夜間の埋却作業に努めた結果、8月17日には全埋却物の投入及び埋戻しが完了した。

また、令和6年11月5日、胎内市の養鶏場において、「高病原性鳥インフルエンザ」の発生が確認され、新潟県では鳥インフルエンザ対策本部を設置して、対象施設の鶏 (約34万羽) の殺処分や消毒ポイントの設置等の防疫措置を決定した。

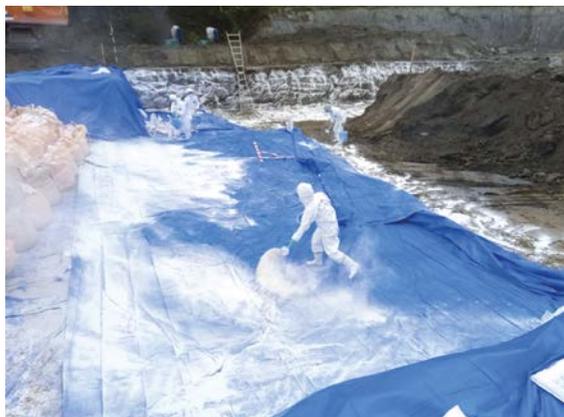
新潟県との災害協定に基づく応援要請を受け、直ちに会員会社が施設敷地内に設けられた埋却予定地の伐木・整地に取り掛かり、殺処分鶏の運搬・埋却作業の体制を整えた。

作業には会員33社 (正会員23社、準会員10社) が従事し、建設機械等をはじめ多くの資機材を投入して、24時間体制で埋却作業に努めた結果、11月15日には全埋却物の投入及び埋戻しが完了した。

同支部では、今後も地域建設業の組織力を生かして、こうした活動に積極的に取り組むことで、地域の安全・安心に貢献したいと考えている。



豚熱の防疫支援活動



鳥インフルエンザの防疫支援活動

事例
15

防疫活動

岐阜県
高病原性鳥インフルエンザ防疫活動について

(一般社団法人 岐阜土木工業会)

令和6年11月19日、岐阜県において令和6年度で初めての高病原性鳥インフルエンザが本巣市において確認された。このため、県からの要請により、岐阜県建設業協会の正会員で、本巣市を所管する岐阜土木工業会は殺処分される鳥、約1万5000羽を埋却することで準備を進めたところ、地下水汚染の点から鳥を焼却することになった。

しかし、鶏舎が住宅地に近く、また住宅地から離れた場所の選定も困難であったが、最終的には河川敷にて焼却することにした。

焼却作業は、平成22年11月に鳥根県で実施して以来、国内2例目である。国の担当者を含めて経験がない作業員が従事し、かつ、強風の中の焼却であったため、細心の注意を払い、夜間の監視を含め昼夜問わず作業を実施し、9日間で完了した。

今回の焼却作業は会員企業で働く人の懸命な作業はもちろんのこと、「地元企業が地域をしっかり守る」という強い地域貢献の意識があったからこそ、このような結果に繋がったと考えている。



焼却炉へトナパック投込み



焼却の状況

鳥インフル 岐阜、移動式焼却炉で処理

本巣の殺処分養鶏場に埋めず

19日に本巣市内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが確認された問題で、県は21日、殺処分した採卵鶏全約1万5千羽について、当初予定していた養鶏場内での埋却から、移動式焼却炉による処理に変更すると発表した。埋却予定場所から地下水が出て、周辺環境への影響を考慮したため、移動式焼却炉による処理は、県内初で全国2例目。

当初は作業時間を早くできる点で、養鶏場敷地内での埋却を検討していたが、地下水が出たことで、周辺への環境汚染の恐れがあったために変更した。移動式焼却炉は、国から借り受け、本巣市の根尾川河川敷の周辺に民家がないエリアで作業する。23日から焼却炉を組み立て、25日に焼却を開始し、10日程度で終わる見込み。発生した灰は産業廃棄物として、業者が最終処分する。

21日は、職員らが焼却の準備として、殺処分したニワトリを入れた袋をプラスチックの密閉容器に詰め、容器は外れない仕組みになっており、ウイルスが拡散するリスクがないとされている。消毒を含めた防疫措置は、22日朝までに完了する見込み。

(稲葉亮)

岐阜新聞 R6.11.22

事例
16

防疫活動

宮崎県

鳥インフルエンザに係る防疫活動

(高鍋地区建設業協会)

令和6年度の県内1例目令和6年12月2日川南町にて発生した鳥インフルエンザについて、発生箇所管内を所管とする高鍋地区建設業協会が、迅速に防疫を務めた。2日から4日の3日間で約3.5万羽を5社（延べ13名）で埋却作業を実施した。



作業状況(埋却)



作業状況(消石灰散布)

事例
17

防疫活動

宮崎県

鳥インフルエンザに係る防疫活動

(串間市建設業協会)

令和6年度の県内2例目令和7年1月10日串間市にて発生した鳥インフルエンザについて、発生箇所管内を所管とする串間市建設業協会が、迅速に防疫を務めた。10日から12日の3日間で約3万羽を10社（延べ23名）で埋却作業を実施した。



作業状況(運搬)



作業状況(消石灰散布)

芳賀支部 水防伝達訓練

芳賀支部、真岡土木事務所によるWebオンライン会議システムを使用した「水防伝達訓練」を実施した。この訓練は平成27年より実施しているものである。訓練内容として、大型で非常に強い台風の接近により栃木県内各地で未明より大雨が降り、大雨洪水警報が発令され「栃木県災害時の応急対策業務の実施に関する協定」に基づき、真岡土木事務所より管内のパトロールの依頼を受けた芳賀支部が、指示事項に対して「道路・河川等管理情報システム」(GPSによる位置情報)を可動させ、情報伝達を行うものである。



支部員から「道路・河川等管理情報システム」に送信された位置情報付きの写真



支部員から現地に送信された位置情報付きの写真データと「異常なし」の報告が「道路・河川等管理情報システム」に自動的に一元集約され、芳賀支部と真岡土木事務所で行った状況確認

「旧芳賀建設会館」を使った火災・震災対応訓練

栃木県建設業協会芳賀支部は、「地域の安全・安心を守る」との理念に基づき、新芳賀建設会館完成に伴い取り壊される「旧芳賀建設会館」を、芳賀地区広域行政組合消防本部が実施する「実際の建物での火災・震災対応訓練」に提供した。

この訓練は、芳賀郡1市4町の各消防署・分署から約50名の隊員が参加する大規模なもので、令和6年8月11、12、17、18日の4日間、煙を充満させた建物の中での消火活動、屋外から屋内への捜索・救助活動、狭い空間からの救出活動など、普段の訓練施設とは違う、より実際の災害・火災現場に近い臨場感あふれる実践的な訓練が行われた。参加した隊員からは、「実際の建物を使用した訓練は、なかなか出来るものではなく非常に貴重な経験となった」との感謝の言葉をいただいた。

今回の訓練では、地域消防隊員の技術力向上はもとより、地域の防災力向上にも貢献することができた。「旧建設会館」の訓練への提供は、「地域の守り手」としての建設業協会の役割を十分に果たすことができた。



消防・救助訓練 実施状況

事例
19

群馬県
防災訓練の実施

(一般社団法人 群馬県建設業協会 館林支部)

この訓練は隔年で開催されており、館林支部では、青年経営者部会員を中心に毎回参加しており、訓練では、他団体との連携を図りながら道路復旧などライフラインの確保の実践を行い、市民への防災に対する意識の高揚と知識の向上に努めるとともに建設業への理解も深めている。



ショベルローダ復旧作業



グレーダー復旧作業

事例
20

山梨県
地域との相互協力による合同防災訓練

(一般社団法人 塩山建設業協会)

塩山建設業協会では、地震、風水害、雪害、その他の災害が発生し又は、発生するおそれがある場合において救出支援を行うため、「東山梨地区広域防災の相互協力に関する協定」を日下部警察署・東山梨消防本部・甲州市・山梨市と結んでいる。

平成28年7月の締結以降連携の強化と防災力向上を目的に毎年、合同訓練を行っている。



橋梁復旧作業



車両からの救出作業

事例
21

岐阜県

防災訓練及び水防訓練への参加、防災啓発活動（一般社団法人 岐阜県西濃建設業協会）

1. 大垣市防災訓練への参加

大垣市防災訓練に平成4年8月30日に参加してから継続参加している。訓練内容は令和元年まではユニック車で廃材を吊り上げ、荷台に乗せる倒壊物除去訓練を行った。コロナ禍になり、令和2年から4年は訓練が中止となったが、令和5年からは体験型の防災イベントとして再開され、当協会も参加を再開した。

令和6年は11月24日（日）に大垣市立青墓小学校でおおがき防災フェス2024が開催され、工事作業車の展示・試乗体験、災害出動パネルの展示（県協会作成のパネルを使用）、横断幕（能登半島地震の被災状況をプリントしたもの）の展示と参加した児童に全国建設業協会作成の建設学習帳を配布した。

2. 大垣市水防訓練への参加

大垣市水防訓練に平成7年6月4日に参加してから継続参加している。訓練内容は大型重機を使用して大型土のう工の演習を行っている。コロナ禍で令和2年から4年まで中止となり、令和5年から再開され、当協会も参加を再開した。令和6年は5月26日（日）に大垣市野口町地内の杭瀬川スポーツ公園西で開催され、大型重機2台を使用し、大型土のうを12個製作、設置する訓練を披露した。

3. 防災啓発活動

平成3年に大垣市内のイベント会場で当協会の建築委員会が中心となり、家屋の耐震相談等の防災啓発活動を開始した。以来、活動内容を変えながら継続してイベント会場での防災啓発活動を継続している。令和6年は11月3日（日）の大垣ストリートフェスティバルの会場で岐阜県の地震体験車による地震体験（大垣消防組合の協力）、防災クイズ、防災グッズの配布を行った。

(成果)

防災意識の向上に寄与するとともに、継続活動することで建設業及び建設業協会の名前をアピールすることにつながっている。



水防訓練



防災クイズの参加者

事例
22

鹿児島県
地域ぐるみの避難訓練

(株式会社 前田建設)

この活動は、平田保育所様と災害時の避難支援など協力関係を令和4年7月20日に結んだことから始まり、合同避難訓練として令和4年12月13日に第1回目を行った。

地震後の津波を想定した津波避難訓練は、園児64名・保育士14名・前田建設10名の計88名の参加者。近隣の高台（標高30m）まで、交通誘導や物資の運搬、子供たちの避難援助、複数の乳幼児を乗せた大型ベビーカーの牽引援助などを行った。

令和5年度は、さらに地域住民の青空自治会にも声をかけ賛同していただき、令和5年12月13日に3者合同避難訓練を行った。園児63名・保育士15名・平田青空自治会10名・前田建設14名の計102名が参加。歩けない乳幼児からご高齢者まで合わせて100名を超える大規模な合同訓練となった。平田保育所とは2回目ということで連携が迅速に行え、前年の経験が活かされており、設定していた避難完了時間もクリアすることができ、「継続して取り組んでいる効果」を実感した。初めて参加した地域の方からも、防災意識の向上と避難ルートの確認・体験が出来た事は「貴重な体験になった。防災の支援は心強い」と反響を頂いた。

令和6年度は、令和7年3月12日に第3回目を開催。再び平田保育所と平田青空自治会との3者合同避難訓練を行った。前年までは津波避難訓練を行っていたが、今回は地震に伴った火災からの避難を想定。園児60名・保育士17名・平田青空自治会8名・前田建設13名の計98名。火災発生時の初期消火を前田建設と地域住民で実施。その間には、地元高校のグラウンドまで約200mの避難路を園児や地域住民の避難を支援。初期消火係や交通整備係、避難支援係と役割分担を行う。避難路は若干の勾配もあり、ご高齢の自治会会員は不安を抱えており手をつなぎ安全確保、また保育所からは乳幼児を乗せた大型ベビーカーを押すなど支援した。

津波や火災などの自然災害時に迅速に対応できるように、「地域ぐるみの避難訓練」を今後も継続していき、地域住民と共に「地域の防災強化」に繋がるよう取り組んでいく。



合同避難訓練



消火訓練

事例
23

大阪府
中津万博(大阪・関西万博 TEAM EXPO 2025 プログラム 共創チャレンジ)
(西田工業 株式会社 大阪本店)

コロナ禍で地域のイベントがすべてなくなり、地域の楽しみや多世代の交流が無くなってしまった子供達のために何かできる事はないか。そんな思いを持った地域の住人・企業が実行委員会を立ち上げ中津万博を開催した。

「未来の中津をかんがえよう」をメインテーマとして、自治体や企業によるブース出展、キッチンカーによる飲食コーナー、地域の祭りで使用していたゲームを利用したゲームコーナーなど子供達だけではなく大人でも楽しめるイベントとして多数の来場をいただいた。

開催を重ねるにつれ、小学生の課外授業及び発表会の開催（テーマ：まちの幸福論）、大学・専門学生による音楽ライブステージ・ゲームコーナー・会場装飾などイベントを盛り上げる企画・運営のカリキュラムも兼ねた実証実験、防災のエキスパートと巡る防災マップツアー、来場者みんなで祝う人前結婚式などコンテンツも多種多様になった。

また、規模が大きくなるのに合わせて、地域住民・企業ボランティアに加え、150名を超える学生ボランティアも当日の運営として参加するなど関わる人も多世代に広がりを見せている。

会場についても、メイン会場である中津中央公園以外にも近隣の飲食店や企業が中津万博の開催期間に合わせて様々なイベントを共催するなど、まち全体を盛り上げるイベントとして成長している。

弊社としては、中津万博実行員会の立上げ時から企画・運営に参画すると共に、ライブアートを中津アートフェスティバル実行委員会と協力し開催。また、自社ビルでのアート作品の展示や、一部をパブリックスペースとして開放し、物販（クラフトビール・地域特産品）、トークやメタバースのイベント開催・WEB配信など、自社ビル（西田ビル）を活用し、「地域に開く建設業」として様々な方々と一緒になって地域活性化に取り組んでいる。



中津万博ポスター



メイン会場の様子



西田工業テント



小学生課外授業



トークイベント

事例
24

栃木県
「鹿沼さつきマラソンクリーンアップ作戦」の実施

(一般社団法人 栃木県建設業協会 鹿沼支部)

「鹿沼さつきマラソンクリーンアップ作戦」の実施

実施日：令和6年5月10日

鹿沼市主催の鹿沼さつきマラソン大会には毎年多くのランナーが鹿沼市を訪れるため、参加者が安全に走れるよう、毎年開催前にコース周辺の清掃活動や安全点検を行っている。

「愛ロードとちぎ」

実施日：令和6年6月14日、8月9日、10月11日、12月13日、令和7年2月14日 計5回

安全で快適な道路環境の維持向上を図るため平成17年から清掃活動を推進している。



クリーンアップ作戦

事例
25

石川県
クリーン・ビーチいしかわ

(一般社団法人 金沢建設業協会)

- 1 夏季の海水浴シーズンを前に石川の海岸線583kmをきれいにする海岸愛護運動「クリーン・ビーチいしかわ」は、身近な環境ボランティアとして平成7年から実施されている。
当協会では平成27年度より、毎年100名を超える会員企業の職員及びその家族が清掃奉仕に参加している。
今年度は、金沢市健民海浜公園で行われた清掃奉仕に143名が参加した。
- 2 緑化を目的として昭和61年度より、金沢市に樹木を寄附しており、令和6年度で39回目となった。今年度は樹高10mのメタセコイアを1本寄贈し、11月6日に金沢城北市民運動公園で植樹式を開催した。



事例
26宮城県
SDGsに基づく環境美化活動や地域の活性化

(株式会社 太田組)

【環境美化活動】

当該企業では、例年6月と11月に会社前の植樹帯へ花を植える活動を行っている。かつては銀杏の落ち葉が積もる場所だったが、約25年前から少しずつ土の入れ替えを行い、花を植え続けてきた。現在では景観の一部として定着し、社員はもとより地域住民にとっても欠かせない存在となっている。今後もこの活動を継続する予定だ。

【地域活性化】

当該企業では、10年前よりクリスマスイルミネーションの設置を行っており、毎年12月上旬から1月中旬頃まで点灯している。中には、遠方から家族を連れて見に来られる方もいらっしゃるようだ。近年では、周辺企業等も空き地を活用してイルミネーションの設置を始める等、地域へ波及効果を及ぼしている。



花の植樹活動



イルミネーション活動

事例
27栃木県
道路の美化清掃活動

(岩澤建設 株式会社)

国土交通省、足利市と協定を結び弊社本社前の国道50号の歩道植樹帯を花壇として年間を通じて美化活動をしている。



除草作業

事例
28

群馬県
清掃ボランティア活動

(上原建設 株式会社)

弊社は下仁田町で創業し町に育てていただき、地域に根ざした企業である。微力ではあるが、地域の守り手としての自負もある。弊社が町に何かお役に立てる事、恩返しのような事、それは年1度の清掃ボランティアを実施する事と考えた。体制としては社員全員参加、自社トラック等を使用して臨み、平成25年に初めて実施し、コロナ禍の令和2年を除き11回実施している。

令和6年はジオパークの青岩公園内を刈り払い機、ブロワー、鎌、ノコギリ等を使用し雑木の伐採、公園の看板の設置斜面の草刈り、ゴミ拾いを実施した。

建設業者としてのノウハウを活かし地区の方、他のボランティア活動では出来ない、足場の悪い危険な河川地域内の木や、草などを伐採した。

ジオパーク協議会の方や近隣住民の方に喜んでいただき、また町の広報紙にも毎年その活動を紹介されている。訪れる観光客の方々に気持ちよく過ごしていただき、素晴らしい環境を守り続ける町に、微力ながら役立つ事が出来ればと考え、今後も続けて参りたいと思う。



青岩公園ポケットパーク

上原建設様（五十嵐修代表取締役社長）により環境整備の一環として、川遊びやジオパークの見学でたくさんの方が訪れる「青岩公園」等の美化活動が行われました。
足場の悪い危険な河川区域内の木や草などを伐採していただき、公園の河原全体が見渡せるようにしていただきました。
お陰様で、訪問者や学校団体の受け入れなどが安全にできるようになりました。大変ありがとうございました。



広報しもにた R6.11月号掲載記事

(株)上原建設の地域貢献活動
「青岩公園」等環境整備活動

事例
29

山梨県
甲州市塩山東公民館 草刈り・清掃

(植野興業 株式会社)

甲州市塩山東公民館の公園内には鉄棒やブランコ・滑り台等があり普段から近隣の子ども及び保育園児がよく利用している。夏季は子どもたちが遊べなくなるほど雑草が生い茂り、館庭や通路、駐車場脇にあるツツジの枝が伸び、植え込みもはみ出すことから、公民館利用者の車の駐車や公園の利用にも支障をきたすため、当社では10年ほど前から草刈りやツツジの植え込みの剪定、及び周辺の川辺や歩道等の清掃を毎年夏季を中心に行っている。



清掃作業



作業を終えて

事例
30山梨県
地域環境美化活動(黒沢川落下防止柵塗替え)

(富士島建設 株式会社)

当社が地域環境美化活動〈落下防止柵（フェンス）塗替え〉を実施している黒沢川は、韮崎市内を流れる富士川水系塩川支流の一級河川である。昭和52年に河川兼用工作物管理協定を山梨県(河川管理者)及び韮崎市(道路管理者)が締結を行い、韮崎市は落下防止柵を設置・管理を行っているが、落下防止柵も経年劣化などにより塗布してあるペンキが剥げ落ち、錆も目立ち景観が損なわれている現況にあり、黒沢川沿いに位置する当社は、地域環境美化活動として、社員による黒沢川沿い落下防止柵（フェンス）のペンキ塗り替え作業を、令和4年6月（延長600m）、令和5年5月（延長400m）、令和6年11月（延長350m）の三ヶ年にわたり地域住民のご理解とご協力を頂く中で取り組んできた。

作業終了後には地域住民から「不快感が無くなり気持ちよく通学・通勤ができるようになった」、「爽やかに朝の散歩ができる」等々、感謝の意が伝えられている。今後においても地域の方々が、より過ごしやすく日常の営みを送って頂けるよう、積極的に活動していく計画である。



R6 活動状況



R4 地域住民と共同による活動状況

事例
31岐阜県
六条南公園、岐阜駅前の毎月のボランティア活動

(内藤建設 株式会社)

内藤建設では、平成19年より、社員による岐阜駅北口駅前広場と六条南公園（本社前）の清掃活動をしている。

また、岐阜駅北口駅前広場清掃は、毎月第3土曜日（令和6年10月より第3金曜日）6:45から実施している。六条南公園清掃は毎月第1土曜日（令和6年10月より第1金曜日）7:30から実施している。

当社が所在する岐阜市への社会貢献のために、長年にわたり地域の清掃美化活動に力を入れている。

本取組以外にも、長良川を美しくしよう運動（年3回）にも、積極的に参加している。清掃美化活動を通じて、地元の方々や岐阜を訪れた方に、美しい岐阜を身近に感じてもらえるよう活動を通じて、今後も地域に貢献したいと考えている。



清掃活動

事例
32

滋賀県
継続的な地域貢献活動

(株式会社 大野組)

大野組は、今年度、甲良町内の「在士高虎公園」においてボランティア活動を実施した。活動を行ったのは、大野社長と従業員の計8名で、地域住民の手ではどうしようもなかった親水公園のうっそうと茂る水草を、重機等で除去した。除去した水草はトラック数十台分になった。同公園は、長年地域住民の手によって清掃管理を行っていたが、少子高齢化により維持管理が困難となり水草が公園の象徴である藤堂高虎騎馬像を覆いつくし全容が見えない状態となっていた。そこで、大野組が「建設業で培った技術を地域へ還元したい」との思いから、重機を駆使した水草除去と美化活動を、無償で行う事に決め、大野社長はじめ従業員総出で残暑厳しい中での作業を実施した。地元ではすっきりと気持ちよく公園を利用できるようになり喜ばれている。大野組は、地域の運動公園野球場正整作業や小学校のグラウンドを含む敷地全体の除草作業、また令和3年度の豪雪の時には、重機が入れない狭い小学校の通学路の人力での除雪作業、他に長寺ゆず公園の除草や剪定ではゆずの棘が酷くて専門業者が拒否する程の作業など、過去10年以上に亘り、毎年このような地域貢献活動が無償で実施している。



事例
33

兵庫県
毎月の地域一斉清掃活動

(株式会社 大城工業所)

大城工業所では、社会貢献・地域貢献として平成29年9月より、月に1回近隣の清掃活動に励んでいる。清掃活動は、事務所周辺をA・B区域、C・D区域、E・F区域、G・H区域に4分割し、月1回地域を回りながら環境美化に取り組んでいる。特に地域からの要望がある場合は、その場所を優先し実施している。地域の方からは、「地域のために清掃していただけてありがたい。今後も清掃活動で、小中島地区がゴミのない、住みやすい街づくりとなることを期待している。」との声をいただいている。この継続した取り組みにより、尼崎市から、コミュニティ活動の中核となり実践活動を推進し豊かな地域社会づくりに貢献したとして令和6年度「コミュニティ活動功労者」の表彰を受賞した。今後も清掃活動を続け、ゴミのない街づくり、住みやすい街づくりを展開していきたい。



清掃活動(R6年3月)



清掃活動(R6年7月)

事例
34兵庫県
クリーン活動

(三宅建設 株式会社)

当社では、平成25年8月から『クリーン活動』として、毎月第1・第3木曜日 朝7時30分から清掃活動を実施している。

活動にあたっては、毎月始めに、社内各階掲示板に今月の予定日を掲示し、当日は社長をはじめ社員全員でお揃いの黄色のキャップをかぶって取り組んでいる。活動の範囲は、事務所周辺を中心に、東は日岡公園 西は日岡駅までの道路・駐車場・側溝であり、11年7ヶ月間継続中である。

作業中、近隣の方に「おはようございます。ご苦勞様です。」と声をかけられることもあり、地域に根付いた必要とされる企業づくりを目指して日々取り組んでいる。

平成29年には加古川市大野町内会から環境美化への貢献に尽力したとして感謝状の授与を受けたほか、加古川市が進めるアダプトプログラム（道路や公園などの公共施設を「子供」として守り育てていく美化ボランティア制度）に登録し、令和5年に多年にわたる功勞として感謝状の授与を受けた。



春は桜が綺麗只今清掃活動中



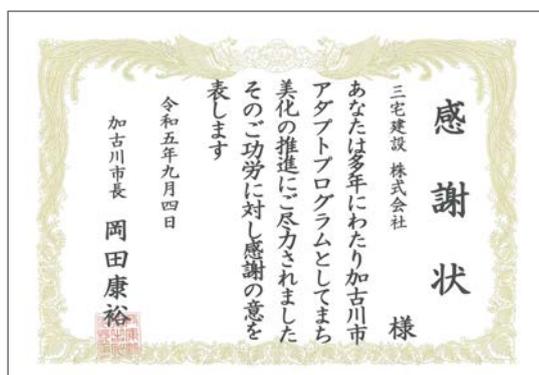
日岡駅周辺清掃活動中



日岡公園清掃活動中



本日の清掃活動終了お疲れ様



功勞への感謝状(加古川市長より)

事例

35

岐阜県
継続的な献血活動

(一般社団法人 揖斐建設業協会)

揖斐建設業協会では、新型コロナの影響により「輸血用血液が不足している」状況を知り、令和2年11月に岐阜県赤十字社の協力を得て、当協会員による献血活動を始めた。

この活動は、令和4年度より県下の各地区協会にも波及し、献血活動を実施している協会が増えている。

今後も、地域の社会貢献活動の一環として、可能な限り継続的に実施していきたい。

令和6年11月20日に、岐阜県献血推進協議会より感謝状が手渡された。

【これまでの実績】

令和2年：27名 令和3年：35名 令和4年：27名 令和5年：17名 令和6年：20名



実際に使用された献血車



献血功労者感謝状

事例

36

北海道
豊平小学校 側溝清掃

(丸彦渡辺建設 株式会社)

平成25年頃、豪雨の影響によりグラウンドの排水状況が悪化、水たまりが発生するという問題が発生し、豊平小学校と面談を重ね、側溝に溜まる泥の清掃活動を開始した。活動の頻度は約2年に1回、継続的に行っている。

今年度は社員約40名が参加し、清掃を行った。また、児童の安全を考慮し、割れていた側溝蓋20枚を交換した。

<活動履歴> 約2年に1回のペースで計6回実施。

- | | | |
|-----------------|-----------------|---------------|
| 1回目：平成25年11月14日 | 3回目：平成30年10月31日 | 5回目：令和4年10月7日 |
| 2回目：平成27年11月6日 | 4回目：令和2年10月20日 | 6回目：令和6年10月3日 |



側溝蓋交換の写真

札幌市豊平小で
校庭の側溝清掃
丸彦渡辺建設
丸彦渡辺建設(本社・
札幌市豊平区)は3日、
市立豊平小でグラウンド
の側溝を清掃した。写真
真。

地域貢献活動の一環として、2年に一度実施している。今回は鶴飼勇人社長や社員40人が参加。延長100mほどある排水用側溝に堆積した土砂をスコップでかき出し、高圧ジェット水で洗浄した。また、児童の安全を考え、割れていた側溝蓋20枚を交換した。



北海道建設新聞 R6.10.8

事例
37岩手県
長年に亘る地域の交通安全・防犯活動への尽力

(県北緑化 株式会社)

県北緑化は平成24年以降、通学路の交通安全警備や指導、交差点の除雪、全国地域安全運動への参加、祭り会場での交通安全グッズの配付等、地域の交通安全・防犯活動へ尽力している。

平成30年9月、令和4年9月に東北管区警察局長表彰、令和5年11月には県知事より表彰を受けるなど、多くの実績が認められ岩泉・田野畑「交通安全・防犯サポーター企業」として県内では初めて登録され活躍している。



R4年度 交通安全運動推進者表彰



R5年度 岩手県交通安全表彰(知事表彰)

事例
38岩手県
地元支援学校・支援学級等の生徒との協働活動

(株式会社 佐藤組)

佐藤組では、令和3年度から地域の支援学校との協働事業として様々な活動を継続的に実施している。令和6年度は当社南庭を体験農園とし、畝立、サツマイモの植付生育管理及び収穫を生徒と実施した。また、令和3年度は掲示板を協働作成。令和4年度は公園のベンチ補修を協働作業で実施。令和5年度は中学部の学生とすのこと本棚を協働で作成し、さらにそれを地元保育所に寄贈した。

これらの活動が、北上市まちづくりマッチングフェアに参加した23団体中、大賞に次ぐ「こども・子育て応援賞」の受賞となった。



サツマイモの植付



すこのこのビス止め

事例
39

山形県

豪雪時における児童の安全確保のための除排雪作業

(小白川建設 株式会社)

小白川建設は、毎年、積雪や除雪で寄せられた雪が路肩にうず高く積まれ、見通しが悪くなったり道路幅員が極端に狭まり、車と歩行者が接触する危険性があるため、除雪活動を実施している。豪雪となった今冬は、近隣の小学校の通学路において、通行する車両の安全確保と児童の登下校時の事故防止、また地域住民の安全な移動手段の確保を目的に、タイヤドーザとダンプを使用し、ボランティアでの除排雪作業を行った。

同様の除雪作業は、過去の豪雪時にも幾度となく実施してきており、最近では、令和4年1月や令和3年1月、平成30年2月にも実施し、その都度地域住民や児童と保護者から感謝の声が寄せられている。

今後も地域住民の安全を守る地元企業であるために、このような活動を継続していく。



建設新聞 山形版 R4.1.20



建設新聞 山形版 R7.2.18

事例
40

富山県

福祉施設誘致による地域コミュニティの創造

(塩谷建設 株式会社)

塩谷建設では、令和2年4月より敷地内に福祉施設を誘致し、地域コミュニティの創造を進めている。学童保育、訪問看護ステーション、多機能重症児デイサービス、相談支援事業所を生活拠点として提供し、児童から高齢者まで幅広い利用がある。

健全児と障がい児、子どもと社員・高齢者との交流を促し、ハンドボール体験や季節イベントも実施している。

将来的には少子高齢化の課題解決を目指し、社員や地域住民の子育て支援や介護と仕事の両立が可能な環境整備を進めている。



学童施設の様子



訪問看護ステーションの様子

事例
41富山県
長年にわたる子ども110番の家

(株式会社 藤井組)

藤井組は、南砺市立井波小学校の近隣に位置することから、不審者や変質者から子どもを守り、安心して子どもたちが学校に通える地域づくりを支援するため、「子ども110番の家」のボランティア活動に参加して地域に貢献することを目的としている。

活動内容

- ・子どもが「誘拐や暴力、痴漢」など何らかの被害に遭った、遭いそうになったと助けを求めてきたとき、その子どもを保護する。
- ・事件・事故の発生を認知したとき110番通報、学校、家庭への連絡をする。
- ・日常生活のなかで、近所に子どもたちが被害に遭いそうな危険な箇所等を発見した場合、警察へ連絡する。
- ・子どもがいつでも駆け込める体制を整備。子どもが駆け込んだ場合の対応マニュアル（警察庁『子ども110番の家』地域で守る子どもの安全対応マニュアル）を社員に配布し、早急に関係機関へ通報できるようにしている。
- ・本社前の通学路には「子ども110番」ののぼりを立てて、防犯に対する地域の関心を高めるとともに、社用車に「子ども110番」のステッカーを貼り、犯罪者の近寄り難い雰囲気アピールしている。
- ・子どもたちの「トイレを貸して」「雨が降り出してやむまで待たせて、雷が怖い」といった事件・事故以外でも思いやりを持って対応している。



社内会議『子ども110番の家』対応マニュアルの配布・説明



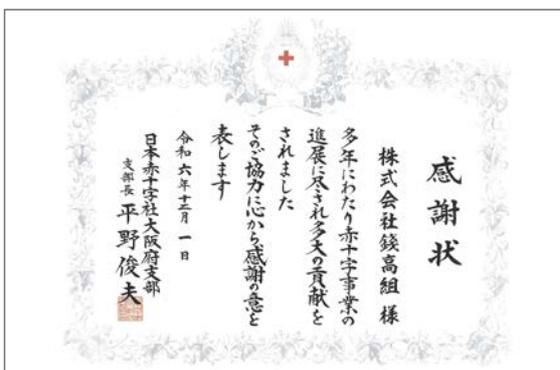
本社前 のぼり旗

事例
42大阪府
献血推進活動

(株式会社 銭高組 大阪支社)

銭高組大阪支社では、平成22年に献血サポーターに登録以降、積極的に献血活動を推進し、年2回、これまで計29回の献血活動を実施している。

令和6年12月に日本赤十字社大阪府支部長より感謝状を拝受した。



感謝状 R6.12.1



実施の様子

事例
43

青森県

地域資源を再活用した国内資源肥料の利用拡大

(株式会社 中屋敷建設)

中屋敷建設は、三沢市浄化センターから排出される「排水処理活性沈殿物（下水）」を発酵させ、肥料化する事業に取り組んでいる。

下水汚泥肥料を製品化する際に、甘味料として知られる「ステビア」の粉末を製造工程で混ぜ合わせた。ステビアには土壌微生物の活性化や、作物の糖度の上昇、ダイオキシンやニコチンの解毒作用などの効果が確認されているため、肥料の副資材として使用することにした。そうしてできあがった肥料が「ステビアキング」だが、令和6年12月には、国が新たに設定した公定規格「菌体りん酸肥料」に青森県内第1号として登録され、菌体りん酸肥料「ステビアキングA（エース）」として生まれ変わった。

「りん」は肥料の三大要素の一つであり、作物の育成に欠かせない栄養素である。作物にとって豊富な栄養素を供給できるため、作物の成長を促進し品質向上が期待できる。また、下水汚泥肥料には大量の微生物が含まれていることから、有機物の分解・発酵を促進し、土壌改良効果を高めてくれる。継続して続けていくことで土壌が豊かになり、作物の収穫量増加、化学肥料の削減や地球温暖化緩和、水質保全など農業面でも環境面でもメリットがある。

農林水産省では、輸入原料に依存した肥料から国内資源を活用した肥料へ転換させる政策を推進しており、当社の製品が「菌体りん酸肥料」に登録されることによって、品質管理計画に基づき定期的な成分分析等が行われ、肥料の成分保証や、他の肥料との混合が認められるようになることで、多様なニーズに応じた肥料の生産と流通が可能になった。

過去には、焼却処分や埋立処分されていた下水汚泥を再活用することによって、リサイクルの重要性を改めて認識し、私共の取組みが、地球規模での環境負荷の低減と地球温暖化の抑制に寄与できると確信している。

また本事業を通じ、市場の肥料価格高騰や品薄状態の克服と安定に努め、持続可能な農業生産と循環型社会の形成、地産地消に貢献できるよう、引き続き取り組みを進めていく。

登録番号：青森県第389号

菌体りん酸肥料

ステビアキングA

(エース)

弊社は、平成19年より三沢市浄化センターから排出される「排水処理活性沈殿物（下水）」を発酵させ、堆肥化する事業に取り組んでおります。この製品は、甘味料として知られる「ステビア」の粉末を製造工程で混ぜ合わせたもので、令和6年12月には、国が新たに設定した公定規格「菌体りん酸肥料」に青森県内第1号として登録され、菌体りん酸肥料「ステビアキングA（エース）」として、新たに生まれ変わりました。農林水産省では、輸入原料に依存した肥料から国内資源を活用した肥料へ転換させる政策を推進しており、本事業を通じ、市場の価格高騰や品薄状態の克服と安定に努め、持続可能な農業生産に貢献できるよう、取り組みを進めてまいります。

ステビアとは？

- ステビア（学名：Stevia rebaudiana Bertoni）は南米パラグアイやブラジルに自生するキク科の植物で、154以上の種があるとされています。
- 古くから人間・動物・植物に効果があることが知られており、先住民は下痢止め・熱冷ましとしての薬草や甘味料として使用してきました。
- 葉に含まれる甘味成分ステリオサイドは砂糖の約300倍の甘さがあり、カロリーは砂糖の約90分の1程度であることから、現在多くの食品に甘味料として使用されています。「シュガーレス」「ノンシュガー」と表示されている製品の殆どがこのステビアを使用したものです。
- ステビアは様々な研究機関でその効果が研究されており、甘味料だけでなく多くの分野でも注目されています。
- 葉以外の枝・茎にも優れた成分が含まれていることが分かっています。

下水（汚水）

一般家庭

三沢市浄化センター

排水処理活性沈殿物

資源の循環

田んぼ畑など

有機質肥料
ステビアキングA

お米、野菜、果物など

naconst.com
（株）中屋敷建設

famico.go.jp
協賛：三沢市浄化センター
青森県肥料センター
（FAMIC）

maif.go.jp
農林水産省
消費・安全政策課
消費・安全政策課
管理課

成分	N	P	K
(キログラム)	(キログラム)	(キログラム)	(キログラム)
保証成分	2.0	2.0	—

成分分析結果 ※2025年2月分析			
成分	N	P	K
(キログラム)	(キログラム)	(キログラム)	(キログラム)
実測値	2.2	2.3	0.3

株式会社 中屋敷建設
TEL: 0176-57-2773

事例
44

建設業ふれあい活動

山梨県
建設産業出前授業

(一般社団法人 甲府地区建設業協会)

中学生や高校生を対象に出前授業を実施している。
 中学校では、地域の守り手として建設業の社会的役割を説明、建設業で働く魅力を伝えた。高校進学
 の進路を決める前の中学生に、ICTを活用したドローンや最新の測量・施工技術、建設重機等に触れても
 らうことにより、建設過程高校への進学意欲を高めてもらう機会をつくった。
 高校では、建設業が担う役割の重要性ややりがい、ICT等を活用した現場の生産性・安全性の向上など
 現在の姿を伝えた。
 講師を招き「建設業の魅力と若者活躍推進」を伝えるために技術者講義を行った。
 グラウンドでは、建設機械の実演・演習も行い、締め固め用建設機械（ローラー）、移動式クレーン、
 車両系建設機械（油圧シャベル）を用いて、生徒さんにも試乗体験をしてもらった。
 建設産業で働く魅力を発信することにより、建設系学部への進学や建設業界への就職につなげる。



農林高校 会員による講演



東中学校 建設機械乗車体験

事例
45

建設業ふれあい活動

山梨県
小学校での建設機械等の乗車体験会

(一般社団法人 身延建設業協会)

小学1年生の国語の「じどうしゃくらべ」の授業で登場する機械を実際に体験してもらい、建設業の担
 い手確保、イメージアップを図る目的で行った。

実施日：令和4年11月22日（火）

場 所：南部町立睦合小学校 参加者：1年生、2年生 34名
 乗車体験車両：ショベルカー、ホイロローダー車、パトロール車

実施日：令和5年10月23日（月）

場 所：南部町立富沢小学校（富沢小、睦合小、栄小合同開催） 参加者：1年生 34名
 乗車体験車両：ショベルカー、クレーン車、高所作業車、ローラー、ダンプカー、パトロール車

実施日：令和6年10月21日（月）

場 所：南部町立栄小学校（富沢小、睦合小、栄小合同開催） 参加者：1年生 30名
 乗車体験車両：ショベルカー、ダンプカー、クレーン車、ホイロローダー、ローラー、高所作業車、ミキサー車、凍
 結防止散布車、除雪トラック、標識者、パトロールカー、パトカー、白バイク、消防車、救急車等



乗車体験



はたらくるまと記念撮影

当協会は中学校で開催される「就労学習」に参加することを目的として体験学習会を企画し、教育委員会に働きかけを行っていた。

しかし、学習会の前に生徒アンケートを行ったところ、建設業のイメージについて「過酷労働」「大変」「危険」「重労働」「家・建物を造る」という回答が約70%もあり、建設業を正しく認識してもらう必要があると考え、学習会の内容を見直し開催を継続してきた。

建設業についてアピールした内容。

- 災害発生時には、自衛隊・消防より先に現場に駆け付け、応急対策や復旧工事を行っていること。
- 「生活に必要な道路・橋・トンネル」、「生活を守るダム・堤防」を造っていること。
- 建設業は地域を守り・支える仕事であること。
- 建設業の仕事は多くの専門分野に分かれており、チーム一丸となって作り上げるものであること。
- 技術革新も進んでおり、建設施工機械の自動化・遠隔操作や、3Dデータを使用し完成予想図を作成することで部材・配管の設置位置を確認できること等。

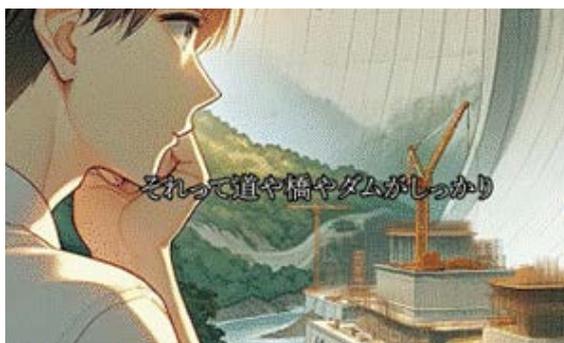
第1部は、上記内容を網羅したアニメーション・写真等を使用した動画を視聴。

第2部はブースを複数設けて体験・学習する。

- 試乗体験はロータリー除雪車、除雪ドーザー、ミニバックホウ等で実施。
- ドローン実演では、生徒にドローン操縦を体験してもらっている。
- 現場作業中の重機運転席に360度カメラを設置し撮影した動画を、タブレット又はゴーグルを使用して、重機操縦を疑似体験。
- 防災学習として、県建設部職員が土石流模型、耐震構造模型、液状化現象模型他を使用して、発生原因別に被災状況や対策工法による抑止効果等を説明。また、パネルや動画を使用した説明も行っている。

令和6年度は1市1町3村で6校体験学習会を開催した。また、2市と1郡（1市3町10村）の教育委員会等に当該活動の説明を行い、中学校での体験学習会開催について検討を依頼した。

- 引き続き県内全域への展開を目標に、活動を行う予定。



AI が出演するアニメを使用した建設業に関する説明



ドローン操作体験(青年部会 担当)

事例
47

建設業ふれあい活動

静岡県
親子現場見学会の開催

(一般社団法人 静岡建設業協会)

静岡建設業協会が実施する「親子見学会」は、親子のふれあい、参加者同士の交流を楽しみながら、建設業への理解を深めていただくことを目的として、働きながら一人で子育てをしなくてはならないひとり親の皆さんに、親子の時間を持つ機会や同じ境遇の皆さんが情報交換をする場として、建設工事現場を含めた見学会を、平成11年より継続して実施している。

これまで、中部電力株式会社の浜岡原子力発電所、沼津河川国道事務所の狩野川放水路、静岡県の新々富士川橋の整備事業など、様々な機関にご協力いただき事業を進め、令和6年度は、中日本高速道路株式会社沼津工事事務所所管の新東名新御殿場ICから県境に掛けてのトンネル・橋梁現場を視察させていただき、参加者は普段立ち入ることのできないトンネル内を歩くなど、その空間の大きさを直接感じる、日常では味わうことのできない貴重な体験ができた。

今後もこのような活動を通して、会員間に社会奉仕精神の高揚を図ると共に、地域のあらゆるところに目が届く地域密着の協会であり続けるよう、更なる成長、発展に繋げていきたいと考えている。



志摩市20周年を記念した「建設フェスタ&商工まつり」を志摩市、志摩市商工会との共催で開催した。来場者は約1万人。

当支部は、建設業や工事に興味を持ってもらおうと企画し、工事現場で活躍する建設機械・車両を展示し、重機と間近で記念撮影、高所作業車の試乗、ミニパワーショベルを用いたボールすくい、また、測量機器を利用した宝探し等の催しものを実施した。



迫力! 建設機械や車両ずらり 志摩でフェスタ

志摩市制20周年を記念した「建設フェスタ&商工まつり」が15日、市内の阿児アリーナや周辺で開催された。工事現場で活躍する建設機械や車両が計16台登場したほか、飲食物を扱う地元事業者らのブースが出た。

市と県建設業協会志摩支部、市商工会の3者が共催した。建設フェスタは、建設業や工事に興味を持ってもらうと企画。パワーショベルやモーターグレーダー、ブルドーザーなどが展示され、近づいて記念写真を撮る来場者の姿が見られた。

協会志摩支部の西尾亮支部長は「興味を持ってもらってほしい、感謝している」と話していた。

(阿部竹虎)

見学用に展示された建機＝志摩市の阿児アリーナ周辺で

中日新聞 R6.9.21

事例
50

建設業ふれあい活動

福井県

イメチェンイルミ2024 in わかさ

(一般社団法人 若狭地区建設業会 建設青年委員会)

若狭地区建設業会建設青年委員会は、昨今の若手・担い手不足に悩まされている建設業界において、次世代を担う子ども達や若い世代に建設機械に触れ、興味を持ってもらい、イベントをきっかけに一人でも多くの入職者を増やすことを目的に「イメチェンイルミ2024 inわかさ」を開催した。

イベントでは、重機等6台や塩ビパイプで製作した北陸新幹線模型にLEDの電飾を装飾し、夜間に点灯させるナイトイルミネーションや、重機乗車体験会を実施した。令和4年から実施し令和6年で3回目となる。

ある程度地域にも認知され、週末およびクリスマスを中心に家族連れ等の約500名の方が来場していただいた。

また、期間中実施したアンケートでは、好意的な意見が多数あり“イメチェンイルミ”というタイトルどおり建設業のイメージチェンジが図られた。



サンタクロース



高所作業車による滝・クリスマスツリー・トンネル

事例
51

建設業ふれあい活動

福島県

継続的な建設業の魅力発信活動とヘルメット寄贈

(株式会社 オオバ工務店)

当社では、毎年、地元の工業高校建築科の生徒をインターンシップとして受け入れ、生徒が自己の職業適性や将来設計について考える貴重な機会を提供している。

ある時、インターンシップに来た生徒の保護帽を確認したところ、耐用年数の過ぎた保護帽を使用しており不安を感じた。

同社は、これから建設業界を支える人材として活躍してもらうためには、安全の確保が何よりも大事と考え、以来、毎年、協力会社と共に、同校建築科新入生（1年生）へ保護帽の寄贈を行っている。

寄贈にあたっては、SDGs開発目標4（質の高い教育をみんなに）の促進を目指し、同校を訪れ、生徒を前に保護帽着用の重要性や正しい点検、使用方法、着用規定、耐用年数等を解説し安全意識の向上を図っている。

また、同校出身の社員が仕事のやりがい、魅力などを直接、生徒に伝える活動も同時に行っている。

今後も、保護帽の寄贈活動を継続し、将来の担い手の確保に向け、建設業の役割や魅力を若い世代に伝えていきたいと思っている。



大場社長からヘルメット寄贈



ヘルメット着用手順説明

事例
52

建設業ふれあい活動

三重県

次世代の若者へ建設業に対する理解と
建設業の必要性、魅力、興味を発信するために

(株式会社 竹島建設)

建設業の就労者減少が深刻化する中、当社は伊賀市で行われる建設業協会主催の中学生向け現場見学会に継続して協力し、若い世代に建設業の魅力を伝えるため、見学内容を社内で検討し協会へ提案してきた。

令和4年度より地元阿山中学校の通学路の除草作業を行うに当たり、出前授業も提案したところ、校長、教頭から、ぜひキャリア教育の一環としての実施要望を頂いた。

令和4年度は7月に座学を中心に建設業の必要性と意義、魅力を説明し当社の現場の実績紹介を行った。

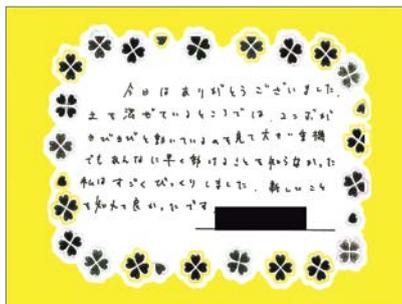
令和5年度は校舎前面広場を利用して、ネチス登録ラジコン草刈り機の操作体験やARによる3次元構造物をグランドに出現する体験、ドローンの操作体験を行った。

令和6年度は校舎前面広場、グランドを利用して昨年好評だったラジコン草刈り機の操作体験、タブレットハンディスキナーによる3D体験、10tダンプトラック、バックホウの試乗体験を行った。

また、出前授業での実践的な体験が大きな刺激となり、参加した生徒の中から実際に建設系の高校へ進学する生徒が複数名誕生した。後日、生徒たちから心こもった温かいお礼の手紙も寄せられた。当社としては今後も出前授業、を継続する予定である。建設業者として次世代の中学生に建設業の必要性と魅力を発信できたと自負している。



R6. 阿山中学校出前授業



生徒からのお礼手紙

事例
53

建設業ふれあい活動

大阪府

トンネルが結ぶ！ふれあいの輪

(戸田建設 株式会社 大阪支店)

新名神高速道路宇治田原トンネル東工事は、大津～城陽間に計画されている新名神高速道路のうち宇治田原地区で行う工事であり、切盛土工、橋台を含むトンネル工主体の道路新設工事である。

当現場に関係する方々の家族を対象とした見学会を実施した。家族に自身の仕事の内容を理解してもらうこと、建設業を身近に感じてもらうことを目的としている。「家族に自分の仕事を見てもらえて誇らしい気持ちになった、仕事への活力が更に湧いた」など喜びの声が多数あった。



建設業ふれあい活動



地域活性化の取組

事例
54

建設業ふれあい活動

兵庫県
働く車見学会の開催

(福井建設 株式会社)

福井建設では平成29年より、地元の小学生を対象に建設業ふれあい活動「働く車見学会」を開催している。建設業に関わる機械（ドローン）や、重機（ショベルカー・除雪車・ミキサー車・ダンプ車等）を用意して、子供たちに実際に目で見て触って乗車体験をしてもらい、各車両の役割や特徴などを説明している。

子供たちは、重機を見かける事はあっても、実際に乗車する機会はほぼなく、重機が動いたときには、今までお喋りをしてきた子供たちが息をのむように見つめ、動く重機や機械に圧倒され、目を輝かせていた。毎年実施後には、小学生の皆さんから感謝状をいただき好評をいただいている。

建設業に触れる機会を設け、建設業の魅力を感じ、いつか将来建設業に携われるキッカケに繋がれば、という思いで、継続的に実施していく。



子供たちに人気の乗車体験

事例
55

建設業ふれあい活動

山口県
中高生への建設業の魅力を伝える出前事業

(株式会社 井原組)

山口県土木建築部では産官学連携の「山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会」を平成26年度に設置し、様々な人材確保対策を実施している。

その事業の一環として、中高生向けに建設業への魅力を伝える出前授業「建設ゼミナール」を平成26年度から令和6年度までの過去11年間にわたり実施している。

井原組では、「建設ゼミナール」において長年、講師を積極的に多く務め、中高生へ建設業の魅力を伝えている。



事例
56

建設業ふれあい活動

鹿児島県

国分小学校『しごと村』

(淵脇建設 株式会社)

淵脇建設は、令和3年から霧島市立国分小学校の4年生を対象にした『しごと村』に参加し、『まちのために つくる なおす たすける』をスローガンに、建設業がどんな役割を持っているか、どんな仕事をしているのかを小学生目線で分かりやすく説明し、興味や理解を深めていただいている。

『建設業ってどんな仕事?』を題材に、スクリーンを使った説明やドローンや測量機などICTの説明をし、空調服やヒートベストの仕組みなど、実際に見たり触れたり、写真を撮ったりもした。

「しごと村」を終えた児童からは、毎年、「建設業の事をもっとたくさん知りたい」「ぼくもこんなカッコいい仕事をしたいです」といったお礼の手紙が届いている。

建設業の魅力が一人でも多くの児童に伝わり、将来の夢の道しるべになることを期待しながら、今後もこの活動を続けていく。



子供たちに仕事の特色や働く楽しさを伝えた



ドローンや遠隔操作機器の使い方を教えた

事例
57

SNS・メディアによる広報活動

富山県

SNSによる建設業や自社の魅力UP 発信活動

(株式会社 斉藤組)

当社では広報活動の一環として、令和3年9月にXの公式アカウントを開設。(アカウント：@nanto_saitogumi)

社内の日々の様子や、現場の施工プロセス、会社の紹介などを発信している。

X上では県内外建設業者との情報交換はもちろん、建設業以外の会社との交流を通して、建設業の実際の仕事内容や、当社について少しでも知っていただけるきっかけづくりを行っている。

フォロワーは現在160とまだまだ少ないが、業界や自社のPR活動として今後も活動を継続していきたい。



工事の状況は施工プロセスがわかるようにツリーで紹介



会社説明会で紹介している内容なども展開

栃木県
除雪カードの作成・配布

(一般社団法人 栃木県建設業協会 日光支部)

栃木県建設業協会日光支部では、会員企業が除雪作業に取り組む様子を収めた写真を掲載した7種類の除雪カードを作成し令和6年11月8日より日光支部の窓口で無料配布を始めた。

県内有数の降雪地域である日光市の住民及び観光客の安心安全、世界遺産日光の未来を創る建設業が果たす役割を知ってもらい、建設業に興味をもってもらうために作成した。

県内外からたくさんの方が除雪カードを求めて日光支部へ訪れてくれた。また、栃木県道路公社では日光道の閑散期交通量増加対策として日光口パーキングエリアでの除雪カードの配布を行った。



広報用除雪カード

栃建協 日光支部 **除雪カードを作成**

世界遺産日光の未来を創る地域に根ざした建設業団体

7種類、支部の活動をPR

県建設業協会日光支部(榎本美明支部長)は、除雪カードを作成した。地域の安全安心を守る支部のPRが目的。カードは7種類、1種類300枚ずつ合計2100枚作成した。支部で平日午前8時半〜午後5時に配布する。

カードは縦5.5センチ×横9センチ。表面は7種類とも日光地域の冬の住民生活に欠かすことができない除雪車両の写真を掲載し、住民の安全安心、観光をはじめとする産業を守る建設業を力強く訴える。写真は日光土木事務所で行われている道路除雪隊出動式で出発を待つ大型除雪車両、金精峠で男体山をバックに勢いよく空に排雪する除雪車両などダイナミックなものに掲載。写真の上部には「世界遺産日光の未来を創る地域に根ざした建設業団体」という文字を記載した。

裏面は支部の企業37社の社名を記載。支部の連絡先と支部のホームページへ導くQRコードも添えた。問い合わせは日光支部(電話0288-5410140)。

栃木建設新聞 R6.11.9

栃木県道路公社 @TochigikenD

【#除雪カード 配布第一弾🔥】
#日光宇都宮道路の#日光口PAにおいて12/21(土)~26(木)、除雪カードを配布します🔥
本カードは、建設業PRのため#栃木県建設業協会日光支部様で作成されました👏

上り4種、下り3種で両PAとも1家族様1日1枚の配布です👏

詳細はココから👉
totidoko.or.jp/news/josetucar...

← ポスト

除雪カード配布中

第一弾...令和6年12月21日(土)~26日(木)
第二弾...令和7年1月14日(火)~無くなり次第終了

除雪カードとは、除雪車両の写真をカード化したもので、栃木県建設業協会日光支部様で、建設業を広くPRするために作成したものです

下り(日光方面)PA 3種類

1 高根 2 日光土木事務所 3 上三原

上り(宇都宮方面)PA 4種類

4 大宮牧場 5 金精峠 6 湯元 7 金精峠 8 湯元

欲しい方はしじ店員までお声掛けください!!(無料)

1家族様1枚まで

午後4:43 · 2024年12月19日 · 8,652 件の表示

事例
59

広報ツール・アイテムの活用による広報活動

愛知県
オリジナル絵本による建設業のイメージアップ

(株式会社 加藤建設)

加藤建設では、「建設業をあこがれの職業NO.1へ」をテーマに令和2年7月から社内にてブランディングプロジェクトを立ち上げ様々なことを検討・実施してきた。

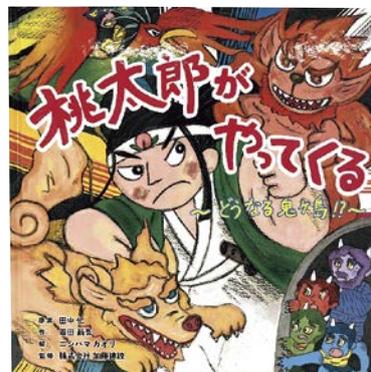
その中で、小さなお子さんから建設業を身近に感じてほしいとの意見をもとに令和5年1月に絵本製作を決定。内容を社内メンバーにて検討し、令和6年9月に完成した。

タイトル：『桃太郎がやってくる～どうなる鬼ヶ島!?～』

(原案：田中仁(加藤建設)、製作：三恵社)

あらすじ：「のんびり平和に暮らしていた鬼たちに、ある日突然一通の手紙が届く。送り主は桃太郎。

その手紙には鬼退治に行くを書いてあった。鬼たちは身に覚えのない罪を着せられ、退治されてしまうのか…そんな時に鬼たちがとった行動とは…どうなる鬼ヶ島!？」



怖そうに見える鬼たちを建設業、桃太郎は世間の目をイメージしている。一見怖そうに見える鬼たちが、その見た目のせいで偏見を持って見られてしまう…。でも本当は人々の安心・安全な生活を支えていてスゴイ技術をもっているという内容になっており、この物語を読んで、少しでも建設業っていいなと感じてもらえるように考えた。

建設業は、人々の安心・安全・便利な生活を支えるために様々なインフラ整備をしている基幹産業である。

ただ、危険な仕事、なんか怖そう、などイメージがあまり良くないのも現状である。そこで大人も子供も知っている桃太郎をモチーフに加藤建設の社員がストーリーを作り、小さなお子さんと一緒に読んだ親御さんの建設業に対する偏見を変えたいと思った。

製作した絵本は、社員への配布のほか、地元の子育て支援のNPOを始め、保育園や幼稚園、小学校や弊社の拠点がある地域の図書館などを中心に全国に約1100冊献本した。

新聞掲載やラジオ・SNSにて告知したところ、一般の方から業界の方まで様々なお声がけを頂き、絵本の献本依頼が数多く届いた。特に絵本の読み聞かせをされている方からは、今までの建設業のイメージが変わり子供たちに伝えたいとお礼のメッセージが届いている。

今後もこの絵本を通じて、建設業界のイメージアップ広報を進めていく所存だ。



朝日新聞 R6.10.4

富山県
アニメ CM による建設業界及び自社の広報

(安達建設 株式会社)

当社では令和4年度より、テレビCMにてアニメ調コマーシャルを放送している。令和4年度は計87回、令和5年度は計87回、令和6年度は回数を増やし、計115回の放送を行った。

自社のアピールを主目的としつつ、地域の方や子どもを持つ親世代の方々に建設業界を広く知ってもらう目的も含め、コマーシャル放送を利用することとした。アニメ調の構成にすることにより、若い人にも目につきやすく、若手人材不足の建設業界において少しでも状況改善に貢献できればと考えた結果である。

また、コマーシャルの内容として、男女関係なく一緒に働いている様子や協力業者と打ち合わせしている様子、力仕事だけではなくパソコンで作業している様子なども入れ、建設業のイメージアップに心がけた。最後にお父さんと子どもの家庭でのシーンを取り入れることで家族との時間を持ちながら仕事と両立して働けることや要所に地元南砺市の風景を織り込み、建設業で働くことで地元貢献した働き方ができるようなイメージを持ってもらえるような構成に努めた。

放送時期は夏休みや年末年始、就職活動時期などの若い人も目につきやすい時期を中心に集中的に放送している。

コマーシャルはテレビ放送にとどまらず、昨今のSNSの劇的な普及も鑑みYouTube、Instagram、HPでも掲載しており、各メディアを通じて広く知ってもらう取組みも行っている。

今後も建設業界に簡単に触れてもらう一つの方法として、テレビコマーシャルでの広報活動を行っていく予定である。

<https://youtu.be/8-WWiLUVGCg?si=S9krKmckXSSA3yGx>



協力業者との打合せの様子



パソコン前で作業している様子



お父さんと子どもの家庭でのシーン



地元南砺市の風景とメッセージ

**都道府県建設業協会・支部、
地区協会が実施した
その他社会貢献活動**

3. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施した その他社会貢献活動

(実施期間：2024年11月～2025年10月)

北海道

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
令和6年度建設産業ふれあい展 (主催：北海道、札幌市) (北海道建設業協会)	1月11日～12日	札幌駅前地下歩行空間	676人
第46回建設産業交通安全安全道大会 (北海道建設業協会)	9月25日	札幌市 (ホテル札幌ガーデンパレス)	350人
「建設産業ふれあい展」へ参加 VR・メタバースの体験及びICT施工機器の展示 (主催：北海道、札幌市) (札幌建設業協会)	1月11日・12日	札幌駅前地下歩道空間	21,330人
「札幌協の日」530クリーンアップ事業及び交通安全街頭啓発活動 毎年5月30日を「札幌協の日」と定めていることから、530 (ごみゼロ) にちなんで、ゴミ清掃活動を実施するとともに、 交通安全運動街頭啓発活動を実施 (札幌建設業協会)	5月30日	道庁赤レンガ前庭、札幌国際ビル周辺、札幌市中央区	120人
現場見学会 (高校生対象) 札幌工業高校 土木科2年生 (札幌建設業協会)	7月9日	・創成川処理区IV-01000 (北18条東2丁目ほか) 下水道新設工事 (札幌市発注) ・防災・安全交付金事業3・2・616屯田・茨戸通道路新設工事 (札幌市発注)	49人
現場見学会 (高校生対象) 札幌工業高校 建築科2年生 (札幌建設業協会)	7月16日	株式会社田中組本社ビル新築工事	69人
夏休み親子現場見学会 (主催：札幌建青会) (共催：札幌建設業協会)	8月1日	札幌地方第4合同庁舎 建築工事	14人
現場見学会 (保護者対象) 札幌工業高校 保護者 (札幌建設業協会、北海道開発局)	9月24日	石狩川改修工事の内 枯木築堤河道掘削工事 (北海道開発局発注)	16人
交通安全運動街頭啓発 (札幌建設業協会)	9月25日	札幌市中央区北1条西6丁目	112人
現場見学会 (大学生対象) 北海道科学大学 工学部 都市環境学科2年生 (札幌建設業協会、札幌市)	10月2日	・屯田・茨戸通道路新設工事 (札幌市発注) ・太平公園施設改修工事 (札幌市発注) ・北海道新幹線整備事業 (第1上降場、桁架設工事) (JR北海道発注)	34人
出張お仕事体験会 (中学生対象) 札幌市内 中学校4校の2学年 (新琴似北、新川、札幌、明園) (札幌建設業協会、札幌商工会議所)	10月27日	札幌市スポーツ交流施設 (つどーむ)	546人
出張お仕事体験会 (中学生対象) 札幌市内 中学校5校の2学年 (元町、白石、西野、藤野、真駒内) (札幌建設業協会、札幌商工会議所)	10月28日	札幌市スポーツ交流施設 (つどーむ)	520人
○高校生の建設現場見学会 北海道函館工業高等学校 建築科2年生 北海道函館工業高等学校 環境土木科1年生 (日建連との共催) (函館建設業協会)	10月9日 10月21日	函館変換所 函館地区寮新築工事 北海道新幹線 渡島トンネル (台場山) 工事	42人 42人
○函館建設業協会建築委員と高校生との意見交換会 北海道函館工業高等学校 建築科2年生 (函館建設業協会)	10月9日	函館建設業協会	42人
○親子ものづくり教室 (函館工業高等学校との共催) 冬休み親子ものづくり教室 夏休み親子ものづくり教室 (函館建設業協会)	12月27日 7月28日	函館工業高等学校 函館工業高等学校	47人 71人
地元のおしごと紹介フェアへの参加 (主催：北海道渡島総合振興局) (函館建設業協会)	11月13日	函館市民会館	20人
苫小牧工業高等学校 (建築科1年生) 工事現場見学会 (室蘭建設業協会)	9月4日	令和7年度日新団地市営住宅3号棟 (3F30戸) 新築主体工事 (仮称) 苫小牧市民ホール整備運営事業建設業務工事	48人
建設産業安全大会 (室蘭建設業協会)	9月8日	室蘭建設会館	約150人
苫小牧工業高等学校 (土木科1年生) 工事現場見学会 (室蘭建設業協会)	9月12日	二風谷ダム 樽前山火山砂防工事の内 熊の沢川3号砂防堰堤左岸外工事	49人
工事現場安全パトロール (室蘭建設業協会)	10月14日	セブ川砂防工事 (補正翌債) 真沼津川改修工事 (下部工事) (補正翌債)	9人
室蘭工業高等学校 (建設科1年生) 工事現場見学会 (室蘭建設業協会)	10月15日	3.3.330登別温泉通 (駅前広場) 交付金工事 室蘭市道営住宅新築工事 白鳥大橋 (アンカレッジ見学) 北海道室蘭児童相談所増築工事	35人
北海道倶知安農業高等学校 現場見学会 生産科学科1・2年生 (小樽建設協会 建世会)	7月4日	ニセコ地区 曾我東工区区画整理工事	総数 61人 生徒 45人 教諭 2人 業界 14人
高速道路体験バスツアー2025 後志管内小学校5・6年生 (小樽建設協会 建世会)	8月7日	新稲穂トンネルL側 仁木工区工事現場	総数 46人 生徒 25人 一般 7人 業界 14人
小樽未来創造高等学校 現場見学会 建設システム科1年生 (小樽建設協会)	10月20日	・一般国道5号 仁木町外 新稲穂トンネルL側 仁木工区工事 ・一般国道5号 共和町 シマツケナイ改良工事	総数 34人 生徒 31人 教諭 2人 業界 1人
こども職業体験イベント 「けんせつのおしごと 2025」 (小樽建設協会 建世会)	9月5日	ウイングベイ小樽	359人来場
建設機械写生会 (空知建設業協会)	9月8日	栗山小学校	3年生 53人 教諭 7人 協会 6人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
現場見学会 岩見沢農業高等学校農業土木工学科 (空知建設業協会)	9月17日	幾春別川総合開発事業の内 三笠ぼんべつダム堤体建設第1期工事 岩見沢三笠線防B地方道工事(擁壁工)(責務) 石狩川改修工事の内 北村遊水地排水門工事	2年生 34人 教諭 2人 協会 2人
インターンシップ 岩見沢農業高等学校農業土木工学科 (空知建設業協会)	10月8日～10日	当協会会員企業4社に依頼	2年生 8人 (1社1～3人)
高校生の建設現場見学会(留萌開発建設部との共催) 留萌高校 電気・建築科2年生 (留萌建設協会)	7月24日	留萌南町4丁目2急傾斜地工事(留萌市) 留萌ダム(留萌市) 留萌港湾施設(留萌市) 小麦保管貯蔵施設(留萌市)	総勢 24人 業界 2人 生徒 18人 教師 4人
高校生の建設現場見学会(留萌開発建設部との共催) 苫前商業高校 商業科2年生 (留萌建設協会)	9月24日	古丹別消防署建築工事(苫前町) 苫前漁港北防波堤補修その他工事(苫前町)	総勢 22人 業界 5人 生徒 15人 教師 2人
旭川育児院 一ヶ月早いクリスマス(二世会所管) (育児院入居者に対し、クリスマスケーキとプレゼントをお渡ししている) (旭川建設業協会)	11月21日	旭川育児院を訪問	対象者 77人
酸素欠乏特別講習会(道協会との共催) ① 旭川工業高校:土木科2年生	12月6日	旭川工業高校:土木科	生徒 39人 教師 2人
② 旭川工業高校:建築科2年生 (旭川建設業協会)	2月4日	旭川工業高校:建築科	生徒 38人 教師 2人
旭川冬まつりの会場内に高所作業車の試乗体験コーナーを稼働 〔北のけんせつ担い手確保〕育成会議との共催(旭川建設業協会)	2月8日～9日	石狩川河川敷	2日間で約2千人が試乗体験を実施
第93回北海道音楽大行進スタッフとして参加及び資材の提供 (アフターコンサートの警備他、資材はセーフティコーン・コンバーの提供) (旭川建設業協会)	6月7日～8日	市内買物公園通りの7つの会場	会員企業の社員12社23人がスタッフとして参加
旭川工業高校:建築科の現場見学会 ① 建築科3年生	6月6日	秩父別町義務教育学校増改築工事 豊岡小学校屋体増改築工事	生徒 37人 教師 2人
② 建築科1年生 (旭川建設業協会)	9月8日	ほくやく旭川支店移転新築工事 旭川市宮住宅豊岡団地新築工事	生徒 40人 教師 4人
旭川工業高校:土木課の現場見学会 ① 土木科2年生 ② 土木科1年生 (〔北のけんせつ担い手〕育成会議と共催)(旭川建設業協会)	10月20日 9月3日	石狩川改修工事の内辺別川河岸保護工事 愛別ダム	当日、工業高校インフルエンザによる学級閉鎖にて中止 生徒 40人 教師 4人
小学校の現場見学会(〔北のけんせつ担い手〕育成会議と共催) ①旭川市立千代田小学校6年生	6月24日	旭川市土木事業所	生徒 71人 保護者 3人 教師 4人
②旭川市立東栄小学校5年生	6月24日	旭川市土木事業所	生徒 49人 保護者 7人 教師 6人
③旭川市立近文小学校6年生	9月2日	石狩川改修工事の内辺別川河岸保護工事	生徒 60人 教師 5人
④旭川市立末広北小学校5年生	9月2日	石狩川改修工事の内辺別川河岸保護工事	生徒 50人 教師 5人
⑤旭川市立神楽岡小学校5年生	9月29日	鷹栖東神楽線道路改良工事	生徒 82人 保護者 1人 教師 6人
⑥旭川市立神居小学校6年生	9月29日	鷹栖東神楽線道路改良工事	生徒 51人 保護者 5人 教師 5人
⑦富良野市立富良野小学校5年生 (旭川建設業協会)	9月30日	旭川十勝道路中富良野町外福原改良工事	生徒 45人 保護者 10人 教師 3人
路線バス(道北バス)で交通安全の用語を車内放送を実施している (旭川建設業協会)	1年間毎日		車内で当協会近くのバス停留所前に1日440回の放送を実施
就業体験(インターンシップ)の受け入れ 帯広工業高等学校環境土木科2年生 (帯広建設業協会)	9月3日～5日	会員企業12社が施工する各建設現場	12人 (1企業1人)
就業体験(インターンシップ)の受け入れ 帯広工業高等学校建築科2年生 (帯広建設業協会)	9月3日～5日	会員企業9社が施工する各建設現場	20人
高校生の建設現場見学会 帯広工業高等学校建築科2年生 帯広高等技術専門学院建築科1,2年生 (帯広建設業協会)	10月23日	帯広市中間処理施設建設工事、障害者施設建設工事	生徒 48人 教諭 7人 事務局等 8人
高校生の建設現場見学会 帯広工業高等学校環境土木科1年生 帯広農業高等学校農業土木科2年生 (帯広建設業協会)	9月26日	芽室川西地区西美栄幹線用水路美栄西6線工区外一連工事、上札内・帯広線上札内橋架換工事	生徒 73人 教諭 3人 事務局等9人
こども体験ランド (帯広建設業協会)	8月3日	帯広歩行者天国で夏休みの子供をターゲットに建設機械乗車体験、ものづくり体験、重機展示を実施	約15,000人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の建設現場見学会 釧路工業高等学校 建築科1年生 (釧路支部)(釧路建設業協会)	7月18日	釧路工業高等学校大規模改造工事(2工区)	生徒 37人 教員 3人 北海道建設業協会 1人 釧路建設業協会 6人 釧路建報会 2人
釧路工業高等学校 工事現場見学会 釧路工業高等学校 土木科1年生 (釧路建設業協会)	9月25日	一般国道44号 厚岸町 太田南改良工事 一般国道44号 厚岸町 別寒辺牛川橋P1橋脚工事	生徒 21人 教員 5人 釧路建設業協会 13人 北海道建設業協会 1人 釧路開発建設部 5人 測量協会24人
けんせつ体験フェスタinくしろ2025 (釧路建設業協会)	9月27日	イオンモール釧路昭和 東A2駐車場	一般1,500人 釧路建設業協会 20人 釧路建報会10人 出展企業50人
令和7年輸送繁忙期交通安全大会 釧路建設業協会・釧路市建設事業協会 合同開催 (釧路建設業協会)	10月3日	釧路センチュリーキャッスルホテル	228人
高校生の2級建築施工管理技術検定試験受験講習会 釧路工業高等学校 建築科3年生 釧路工業高等学校 建築科2年生 (釧路支部)(釧路建設業協会)	10月30日・31日	釧路建設会館 大会議室	生徒 36人 教員 1人 釧路建設業協会 3人
令和7年度オホーツク管内建設産業安全大会 (網走建設業協会・建設防北海道支部北見分会・網走地方建設業団体連絡協議会)	4月11日	北見芸術文化ホール 音楽ホール	・会員158人 ・来賓 5人 ・講話 2人
北海道北見工業高等学校生徒(3年生)建設現場体験実習 (網走建設業協会)	5月28日~30日	受入企業現場	・生徒 26人 ・受入企業26社
新人社員研修(入社2年目迄) (網走建設業協会)	6月5日~6日	網走建設業協会	・研修会出席者 36人
第21回オホーツク二建会旗兼第22回全道少年U-10サッカー 北海道大会オホーツク地区予選大会 (オホーツク二建会・オホーツク地区サッカー協会第4種委員会・網走市サッカー協会・少年団連絡協議会)(網走建設業協会)	8月30日~31日	網走スポーツ・トレーニングフィールド	200人 サッカー参加および関係者
網走建設管理部と連携して行う北海道北見工業高等学校 建設科1年生建設現場見学会 (網走建設管理部・網走建設業協会)	9月5日	網走建設管理部 北見出張所管内事業箇所	26人 ・生徒 22人 教諭 4人 ・網走建管3人 協会 1人
北海道北見工業高等学校建設科1年生生徒 建設基礎講話 (オホーツク二建会)(網走建設業協会)	10月24日	北海道北見工業高等学校	27人 ・生徒 23人 教諭 4人 ・二建会12人
広報活動 出前講座 稚内中学1年生 (宗谷建設青年会)(稚内建設業協会)	6月12日	稚内中学校	31人
広報活動 出前講座 稚内高校普通科、商業科1年生 (宗谷建設青年会)(稚内建設業協会)	9月26日	稚内高校	117人
広報活動 出前講座 稚内大谷高校 普通科2年生 (宗谷建設青年会)(稚内建設業協会)	10月22日	稚内大谷高校	38人

青森県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
ろくのへメイプルタウンフェスタ2024 (上北支部)	11月2日~3日	六戸町総合体育館	1,600人
親子バスツアー (下北支部)	8月6日	川内ダム他	90人
親子バス見学 (東青支部)	8月8日	駒込ダム他	57人
地元建設業と若者との交流会 (東青支部)	9月12日	ウェディングプラザアラスカ	122人
首都圏大学生等との交流会 (東青支部)	9月26日	都道府県会館	25人
建設フェア2025inあおもり (県土整備部、青森県建築士会青森支部との共催)	9月27日~28日	青森県観光物産館アスパム	1,030人
MGF(むつグラマラスフェスティバル)2025への出展(下北支部)	10月18日~19日	しもきた克雪ドーム	15,500人
高校生の建設現場見学会 県立三本木農業恵拓高校 環境工学科2年生 (上北支部)	10月21日	横浜町国道279号改修工事現場他	44人
県立十和田工業高校 建築科1年生 (上北支部)	10月28日	十和田市総合体育センター工事現場他	27人
県立十和田工業高校 建築科2年生 (上北支部)	10月28日	北里大学獣医学部施設新築工事現場他	37人
高校生と若手技術者との意見交換会 県立十和田工業高校 建築科1年生 (県土整備部との共催)	10月28日	サン・ロイヤルとわだ	34人

岩手県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
いわて建設業みらいフォーラムの開催 岩手県内の高校生を招待し、建設業の役割や魅力を発信する	10月30日	盛岡情報交流センターアイーナ	428人
高校生の建設現場見学会 岩手県立一関工業高等学校 土木科2年生	9月18日	一般国道107号大石地区 道路災害復旧工事	36人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の建設現場見学会 岩手県立久慈翔北高等学校 工業科1年生、建設環境科2年生	9月19日	公共関与型産業廃棄物処理施設 整備事業	29人
高校生の建設現場見学会 岩手県立盛岡工業高等学校 土木科1年生	10月6日	一般国道282号佐比内トンネル (仮称) 築造工事	30人
高校生の建設現場見学会 岩手県立種市高等学校 海洋開発科2年生	10月7日	①久慈港湾口防波堤整備事業 ②滝ダム見学(学校選定)	15人
高校生の建設現場見学会 岩手県立花巻農業高等学校 環境科学科1,2年生	10月15日	一般国道282号佐比内トンネル (仮称) 築造工事	38人
高校生の建設現場見学会 岩手県立盛岡工業高等学校 建築・デザイン科1年生	10月20日	①統合北上中学校建設工事 ②㈱FPコーポレーション工場見学 (学校選定)	38人
高校生の建設現場見学会 岩手県立黒沢尻工業高等学校 土木科2年生	10月21日	エネルギー回収型一般廃棄物 処理施設等敷地造成工事	26人
専門学生の建設現場見学会 岩手県立二戸高等技術専門学校 建築科1、2年生	10月28日	①北上警察署北上駅前交番庁舎新築(建築)工事 ②みちのく民俗村茅葺体験 (学校選定)	9人
短期大学校生の建設現場見学会 岩手県立産業技術短期大学校 建築設備科1年生	11月12日	釜石市新市庁舎建設 (建築主体) 工事	10人
2級土木・建築施工管理技術(第一次検定)受験準備講習会 ・工業高校 7校8科 ・短大等 2校	5月17日 9月26日~10月19日	前期:盛岡工業高校建築デザイン科 後期:工業高校7校、短大等2校	150人
土木・建築施工管理技術検定試験受験に係るバス運行費用の助成 ・工業高校 6校 ・短大等 2校	土木10月27日 建築11月24日	試験地 土木 仙台、青森 建築 盛岡	8台
2級土木・建築施工管理技術(第一次検定)受験料半額助成 ・工業高校 6校 ・短大等 2校	土木10月27日 建築11月24日	試験地 土木 仙台、青森 建築 盛岡	150人
C級会盛岡市内丸地区落葉清掃 (盛岡支部)	11月8日、15日、22日	国道106号(盛岡市内丸)	参加企業26社 (延べ78社) 延べ115人
地元就職ガイドブック作成及び配布 支部管内の国・県・市町・大学・短大・各種学校 高校・中学校等に配布(2,000部作成) (盛岡支部)	R6年11月~ R7年4月	建設会館会議室	作成委員会委員 12人
献血運動 (盛岡支部)	4月~7月	盛岡管内献血場所(ルーム及びバス)	献血者延べ24人
盛岡工業高校生の合同就職説明会 (盛岡支部)	2月20日	盛岡グランドホテル	・支部会員30社 ・盛岡工業高校 土木科 30人 建築・デザイン科 30人
北上川流域一斉清掃 (盛岡支部)	4月20日	北上川、雫石川、中津川等清掃	86社380人
中学生体験学習 重機試乗体験等 (盛岡支部)	7月 10月	盛岡市立城東中学校 盛岡市立渋民中学校	生徒 63人 生徒 60人
B・C級会災害調査 (盛岡支部)	6月1日~30日	盛岡支部管内の道路・河川	盛岡土木管内 54社61人
高校生インターンシップ (盛岡支部)	9月30日~10月2日	支部会員事務所、現場	支部会員28社 生徒 61人
B級会ボランティア道路清掃 (盛岡支部)	7月25日	国道396号	30社110人
イベント「森と湖in綱取」2024 (盛岡支部)	7月30日	綱取ダム	青年部 25人 女性協議会 5人
「道の日」清掃活動 (盛岡支部)	8月1日~31日	支部管内の行動、県道、市町村道	92社457人
教材提供 (常温合材、柱材) (盛岡支部)	8月21日	盛岡工業高校	支部 2人 教師・生徒 6人
「道路ふれあい月間」における道路清掃 (盛岡支部)	8月1日~22日	盛岡広域振興局管内の道路	盛岡広域振興局 土木部監理道路 57社224人 岩手土木セン ター監理道路 15社92人
北上川流域清掃活動 (花巻支部)	4月16日	北上川朝日橋・豊沢川豊沢橋周辺	36社81人
建設業ふれあい事業 (花巻支部)	6月26日	花巻市 湯口小学校	5・6年生58人
「道の日」関連道路清掃活動 (花巻支部)	8月6日	花巻市内5地区(旧花巻市町ごと) 市道及びその周辺	37社77人
「空の日」関連空港周辺道路清掃活動 (花巻支部)	9月19日	花巻空港周辺県道	34社70人
インターンシップ受け入れ事業(花巻農業高等学校) (花巻支部)	10月1日~3日	会員事業所5社	2年生 5人
インターンシップ受け入れ事業(黒沢尻工業高等学校) (花巻支部)	9月29日~10月3日	会員事業所6社	2年生 10人
高校生建設業技術野外実習(花巻農業高等学校)(花巻支部)	10月10日	花巻市 花巻農業高等学校	2年生 15人 青年部会40人
国道340号線環境美化(遠野かっぱロード清掃活動) (遠野支部)	3月12日	国道340号土淵バイパス	25人
国道283号線環境美化(花壇への花植栽、清掃活動) (遠野支部)	6月3日 10月23日	国道283号遠野バイパス 角鼻展望台	25人 23人 計 48人
1級河川早瀬川環境美化 草刈り、ごみ拾い (遠野支部)	実施予定	上早瀬橋上・下流	50人
社会福祉活動 福祉施設へのタオル地ふきんの贈呈 (遠野支部)	10月15日	遠野市社会福祉協議会	3人 1,037枚
森と湖に親しむ「遠野第二ダム」の集い (遠野支部)	7月26日	遠野第2ダム	50人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
イメージアップ・広報活動 遠野かっぱ工事隊保育園訪問活動 (遠野支部)	12月～3月	遠野市内保育園	30人～
除雪ボランティア活動 (北上支部)	1月～2月 実施	北上市内	30社程度
北上川河川敷清掃活動 (北上支部)	4月3日	北上川左岸展勝地桜並木下流 1.5km	43社72人
献血協力活動 (北上支部)	6月7日	岩手県建設業協会北上支部会館	19社34人
アドプト活動 (用水路の草刈及び清掃活動) (北上支部)	6月28日	北上市和賀町藤根 (下堰幹線用水路 1.8km)	41社64人
建設業ふれあい事業 (北上支部)	9月6日	西和賀町立湯田小学校	1～6年生78人 先生 11人 青年部会 26人 その他 15人
道路清掃ボランティア (北上支部)	7月30日	県道北上停車場線及び市道北上駅鍛冶町線	34社49人
高校生インターンシップ受入 黒沢尻工業高校土木科2年生 (北上支部)	9月29日～10月3日	北上市内会員企業9社	2年生 6人
女性協議会北上支部「ランフェスキタカミ」への協力 (北上支部)	10月12日	北上展勝地 給水所	会員(女性協議会) 8人
水沢公園清掃活動 (奥州支部)	11月14日	奥州市水沢公園	会員 5人
北上川流域清掃活動 (奥州支部)	4月17日	金ヶ崎流域 (胆沢川左岸堤防・金ヶ崎堤防) 水沢流域 (小谷木橋・藤橋右岸) 前沢流域 (神津橋下流右岸)	会員 46社107人
献血協力活動 (奥州支部)	6月12日 11月7日	ユニバース水沢日高店	会員 13人 会員 7人
建設業ふれあい事業 (奥州支部)	4月5日	奥州市前沢いきいきスポーツランド	200人 会員 16人
	6月8日	奥州市水沢駅通り	200人 会員 11人
	7月5日	奥州市水沢駅通り	200人 会員 14人
クリーンロード作戦 (奥州支部)	11月7日	一般国道107号 管理道路チェーン脱着場7箇所	会員 23人
災害時情報伝達訓練 (奥州支部)	7月15日	奥州支部会議室	会員 50人
高校生インターンシップ受入 (奥州支部)	10月7日～9日	水沢工業高等学校インテリア科、電気科 黒沢尻工業高等学校土木科	会員10社25人 会員2社4人
社会福祉施設「第2ブナの木園」清掃活動とクリスマスプレゼント (一関支部)	12月6日	市内 社会福祉施設	支部会員 7人
重要文化的景観地区内の「春季水路整備」 (一関支部)	4月19日	一関市巖美町 (骨寺村荘園遺跡内)	支部会員 50人
地域産業講座 (一関支部)	6月18日 6月25日 7月9日	県立一関工業高等学校	支部会員 3人
一級河川吸川放水路共同清掃活動 (一関支部)	6月10日	一関市萩荘字脇田郷	支部会員 20人
建設業ふれあい事業 (一関支部)	7月10日	一関市立東中学校	生徒 87人 会員等 36人
災害時に基づく情報伝達訓練 (一関支部)	6月13日	支部会館	支部会員 40人
あじさい観光道路整備草刈り (県道沿い) (一関支部)	6月20日	一関市舞川地内	支部会員 79人
「黄金ロードふれあい作戦」道の日清掃活動 (一関支部)	8月6日	国道284号線 (工業団地) 国道342号線 (花泉町) 3か所 約13.0km 平泉町内、	支部会員 50人
献血協力 (赤十字) (一関支部)	7月15日	支部会館	支部会員 23人
インターンシップ事業 (県立一関工業高等学校) (各社受入れ生徒2～3名) (一関支部)	10月6日～10日	会員7社事業所	生徒 22人
特定家畜伝染病発生時埋却地事前現地確認 (一関支部)	9月2日、8日、18日	一関市内 養鶏農場	支部会員 21人
国道284号クリーン作成 (千厩支部)	6月11日	支部管内国道284号	会員 28人
国道343・456号クリーン作戦 (千厩支部)	7月16日	支部管内国道343・456号	会員 28人
災害情報伝達合同訓練 (千厩支部)	7月30日	一関市内	会員 31人
「道の日」清掃活動 (千厩支部)	8月5日	一関市川崎町、大東町	会員 58人
放課後等デイサービス施設ガラス清掃 (千厩支部)	10月3日	NPO法人響生	会員 7人
建設業ふれあい事業 (千厩支部)	6月16日	一関市立千厩小学校	児童 47人 会員 28人
クリーンキャンペーン (草取り作業)【女性協議会】 (大船渡支部)	10月3日	大船渡市防災観光交流センター (おおふなぼーと)	女性協議会会員 15人
第24回建設業ボランティア活動 (大船渡支部)	6月30日	国道107号他6か所	190人
ふれあい事業 (重機体験)【青年部】 (大船渡支部)	7月22日	陸前高田市立竹駒小学校	生徒 13人
献血協力活動 (釜石支部)	5月13日	ケーズデンキ釜石店駐車場	会員 22社31人
公共施設の清掃活動 (釜石支部)	7月3日 10月10日	市道松倉堤防線 (草刈) 釜石市内、青葉公園	青年部会員35人 女性協議会会員 15人
道の日クリーン作戦 (宮古支部)	6月25日	国道106号線	支部会員 58人
道の日in宮古 (宮古支部)	6月10日	宮古市内	支部会員 31人
宮古市防災訓練 (宮古支部)	8月24日	宮古市立崎山中学校	会員8社35人
建設業ふれあい事業 (宮古支部)	7月15日	宮古市立新里中学校	会員 26人 36人
みやこ秋まつり出店 (宮古支部)	9月13日・14日	宮古市祭り広場	会員 13人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
道路愛護活動（花壇整備） 準備・植栽・回収 (岩泉支部)	期間:当番管理 5月21日、28日 6月20日、25日 10月13日、30日 6月～11月	一般国道340号岩泉町袋綿地内	会員 15人
道の日清掃活動 (岩泉支部)	8月5日	一般国道455号道の駅いわいずみ付近	会員 15人
建設業ふれあい事業 (岩泉支部)	11月5日	岩泉町立岩泉小学校	生徒 57人
海の日事業 (岩泉支部)	7月7日	机浜海水浴場	会員 15人 (青年部)
職業体験 (岩泉支部)	10月3日	岩泉町岩泉中学校および中里残土置き場	生徒 10人 先生 3人 関係者 22人
花壇整備 (岩泉支部)	6月20日～11月17日	済生会病院前花壇	会員 12社 (女性協議会)
北さんりく花のポケットパークつくり (プランター設置・清掃活動) (久慈支部)	4月、7月、11月	管内道の駅3箇所 (久慈北三陸、やまがた道の駅、道の駅おのおの) 国道395号 (久慈北三陸～道の駅おのおの間)	会員 39社
全国交通安全運動街頭啓発活動 (久慈支部)	4月10日 9月24日	国道281号 久慈市荒町交差点	4月 1人 9月 2人
河川敷草刈り事業 (久慈支部)	8月1日	久慈市久慈川河川敷 (久慈橋～川崎大橋間右岸)	会員39社63人
長内川かわまつりへの協力 (久慈支部)	8月2日、3日	久慈市長内川河川敷	会員34社41人
建設業ふれあい事業 (久慈支部)	10月28日	久慈市立長内小学校	生徒 79人
支部地域貢献活動（道路清掃活動と道路施設点検） (二戸支部)	11月21日	管内7路線	会員29社30人
建設業ふれあい事業 (二戸支部)	6月10日	一戸町立一戸小学校	児童 170人 会員23社23人
管内小中学校へハンドソープ寄贈 (二戸支部)	9月16日	二戸管内小中学校22校	会員 12人 (女性協議会)
北の道クリーンキャンペーン（道路清掃活動） (二戸支部)	9月26日	二戸広域管内道路20カ所	会員 25人 (青年部)

宮城県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血推進活動	4月3日～12月10日	宮城県建設産業会館 仙南建設会館、岩沼市役所 杜の都献血ルームAOBA 献血ルームアエル20 大崎建設産業会館 栗原建設会館 株登米建設会館 宮城県建設業協会石巻支部 はまなすの館 外	総数 650人
高校生の建設現場見学会、現場実習、インターンシップ、支部における一般向けの現場等見学会及び中学生における体験型現場見学会 【高校生】 仙台工業高校土木科2年生、仙台工業高校建築科2年生 (仙建協) 大河原産業高校環境科学科3年生、白石工業高校建築科2年生 (仙南、名亘支部合同開催) 小牛田農林高校農業技術科2年生 古川工業高校土木情報科2年生 (大崎支部) 石巻工業高校土木システム科2年生 (石巻支部) 気仙沼向洋高校機械技術科2年生 (気仙沼支部) 【中学生】 仙台市立第一中学校2年生 仙台市立宮城野中学校2年生 仙台市立八乙女中学校2年生	7月1日～11月20日 11月5日～7日 11月18日～20日	【高校生】 ・仙建協会員企業9現場 ・松川流路工工事 ・川内沢ダム工事 ・岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第II期) ・丸森町中心市街地活性化拠点施設新築工事(「八雄館」木造2階) ・大崎支部会員企業13現場 ・石巻支部会員企業9現場 ・株小野良組、株クマケ建設、株菅原工業 現場 【中学生】 ・仙建協会員企業4社対応	総数 230人 中学生各校 3人
令和7年度夏休み小学生と保護者の建設現場見学会	7月23日 7月24日 7月25日 7月29日 7月30日 7月31日 8月5日	・荒川サイフォン堆積土砂仮置場整備工事 ・大島亀山モノレール施設基礎等工事 ・(仮称)栗原IC道路改良工事 ・松川流路工(3工区)工事 ・大崎市古川竹ノ内道路改良工事 ・軽井沢道路改良工事 ・宮沢橋道路改築工事	小学生 20人 保護者 16人 小学生 24人 保護者 11人 小学生 14人 保護者 13人 小学生 21人 保護者 17人 小学生 22人 保護者 18人 小学生 21人 保護者 16人 小学生 15人 保護者 13人
みやぎ建設産業架け橋サロンへの参加 (出前講座)	R6年12月4日 R7年3月19日	・古川工業高校 ・真山高校普通科昼間部 ・小牛田農林高校 ・石巻工業高校 ・白石工業高校 ・迫桜高校 ・大河原産業高校 ・黒川高校	8校9学科 354人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
みやぎ元気まつり2025 (イベント内容:ワークショップ(セメントでつくるメモクリップスタンド)、建設重機ラジコン操作体験)	8月2日、3日	夢メッセみやぎ	協会ブース 約1,050人
令和7年度みやぎ建設ふれあいまつり	11月3日	宮城県庁前正面駐車場、1階フロア、2階講堂	約5,500人
全国建設青年の日制定事業 (清掃活動)	10月9日	宮城県宮城郡利府町 宮城スタジアム付近の県道260号線、270号線	総数 100人
東日本大震災復興支援令和7年度夏巡業大相撲仙台会場(協会協賛)	8月11日、12日	本山製作所青葉アリーナ(青葉体育館)	約5,000人
第2回けんせつカップ (宮城県建設業協会名巨支部主催)(協会協賛)	9月15日	鳥の海公園サッカー場	少年サッカーチーム 10チーム約150人 一般・小学生等 約300人
宮城県建設業協会災害訓練	11月5日	宮城県建設産業会館・各支部事務所	全会員企業約250社
特定家畜伝染病の発生時における緊急対応業務の協定に基づく防疫演習 (名巨、大崎、登米、石巻、気仙沼支部)	10月22日 10月24日 10月29日 11月13日 11月13日	東松島市小松上二間掘地内(石巻支部) 南三陸町歌津字吉野沢46-7(気仙沼支部) 大崎市三本木字白坂地内(大崎支部) 登米市迫町北方地内長沼フートピア公園付近(登米支部) 亶理郡亶理町逢隈神宮寺鍋倉地内(名巨支部)	左記所 属 会 員 企 業

秋田県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
小坂中学校への出前講座 (鹿角建設業協会)	7月30日	小坂中学校	2年生 27人
小学生の職業体験会 (鹿角建設業協会)	8月5日	㈱鹿角レミコン、鹿角建設業協会	親子20人
鹿角高校への出前講座 (鹿角建設業協会)	9月10日	鹿角高校	2年生 110人
女性部awayukiによるラジオ番組放送 (鹿角建設業協会女性部awayuki)	(契約期間R7年4月1日~R8年3月31日) 毎週金曜放送	鹿角きりたんぼFM	パーソナリティ 3人
高校生の建設現場見学会 大館桂桜高校	11月1日	国道105号舗装工事現場 他	生徒・教師37人
秋田北鷹高校	11月14日	(一) 矢坂糠沢線 道路建設現場 他	生徒・教師 8人
大館鳳鳴高校定時制課程 (北秋田建設業協会)	5月21日	(主) 大館十和田湖線 道路建設現場 他	生徒・教師27人
高校生の建設企業出前説明会 大館桂桜高校	2月4日	大館桂桜高校	生徒 35人 企業 6社
秋田北鷹高校 (北秋田建設業協会)	2月18日	秋田北鷹高校	生徒 29人 企業 5社
秋田内陸線沿線田んぼアートの測量支援 (北秋田建設業協会)	5月15日	田んぼアート会場(小淵地区 他)	業界 27人 行政 17人
2級土木・建築施工管理技士受験対策テキスト贈呈 (北秋田建設業協会)	6月2日	大館桂桜高校	土木 20冊 建築 20冊
女性エンジニア「わかば」と行く!現場見学会2025 (北秋田建設業協会・女性部わかば)	7月30日	国道105号道路建設現場	児童・生徒・保護者 27人 女性部 5人
ワクワクドキドキけんせつ体験2025 (北秋田建設業協会・女性部わかば)	9月7日	大館能代空港駐車場	一般約700人 業界 20人 行政 18人
小学生の建設出前講座 長木小学校 (北秋田建設業協会)	10月24日	(主) 大館十和田湖線 道路建設現場	児童・教師34人
建設企業による高校生向け出前説明会 建設科1年生、2年生、3年生対象 (能代山本建設業協会)	12月17日	秋田県立能代科学技術高等学校	35人
八峰中学校「職業体験会」 地域に根ざしたキャリア教育の充実を図るため、八峰中学校が2学期末にPTAの保護者授業参観を兼ねて実施した職業体験会へ、能代山本アテナが講師として協力し、女性技術者の講話やドローン・重機操縦、測量体験の指導等を行って建設業をPRした。1年生、2年生対象 (能代山本建設業協会)	12月19日	八峰町立八峰中学校	66人
しごとーいのしろ 「しごとーいのしろ実行委員会」が開催した子ども向けキャリア教育へ、能代山本アテナが「アテナ建設」としてブース出展し、建設業の仕事を子どもたちに知ってもらうことを目的に、セメントでのオブジェ作成や、ペーパークラフトで建物を創る仕事をしてもらった。 (能代山本建設業協会)	1月25日	能代山本広域交流センター	172人
建設ICT現場見学会 秋田県立能代科学技術高等学校 工業科1年生対象 (能代山本建設業協会)	5月20日	能代港大森地区 大森建設(株)現場	71人
のしろ子どもまつり 「のしろ子どもまつり実行委員会」が主催するイベントに、建設機械等の展示等で協賛 (能代山本建設業協会)	5月25日	能代山本広域交流センター	1,000人
建設現場見学会 秋田県立能代高等学校 定時制課程 2年生対象 (能代山本建設業協会)	7月25日	能代市二ツ井町小繫地内他 日本道路(株)、秋田土建(株)現場	34人
第21回能代宇宙イベント 会場整備 8月14日~22日開催の「第21回能代宇宙イベント」に会場整備等のボランティアとして参加。	8月5日	能代市浅内 能代宇宙広場	21人
建設現場見学会 能代市立能代第二中学校 1年生対象 (能代山本建設業協会)	9月18日	能代市二ツ井町切石地内 (株)鈴木土建現場	109人
建設現場見学会 能代市立能代東中学校 2年生対象 (能代山本建設業協会)	9月19日	能代市扇田地内 嶋工建設(株)現場	33人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
建JOB祭2025 主に地域住民を対象に、建設業について情報発信し、建設機械の体験等を通じ理解を深めてもらうイベントを開催 (能代山本建設業協会・女性部能代山本アテナ・青年部能代山本建北会)	9月27日	能代市字中嶋 米代川河川緑地	271人
能代東中学校 ふるさと・キャリア教育授業 能代東中学校が実施したキャリア教育授業へ能代山本アテナが講師として協力し、職業講話を行って建設業をPRした。1年生対象 (能代山本建設業協会・女性部能代山本アテナ)	10月22日	能代市立能代東中学校	25人
高校生 建設現場見学会 男鹿工業高校1年生 (秋田中央建設業協会)	9月2日	栗田養護学校改修現場、太平川災害復旧現場、中央流域下水道施設	19人
金足農業高校1年生	9月9日	圃場整備現場、太平川災害復旧現場、中央道路施設	34人
秋田工業高校 土木科1年生	9月25日	太平川災害復旧現場、港アクセス道路建設現場	37人
秋田工業高校 建築科2年生	9月30日	金足農業高校建設現場、秋田港建築現場、秋田芸術劇場施設見学	39人
建築施工管理技士 試験対策テキスト寄贈(秋田中央建設業協会)	8月7日	秋田工業高等学校 建築科	5人
西目高校出前講座 土木科1・2年生 (由利建設業協会)	2月7日	西目高校 土木科教室	生徒 26人 教師 2人 業界 16人
由利工業高校出前講座 建築科2年生 (由利建設業協会)	2月14日	由利工業高校 視聴覚室	生徒 27人 教師 3人 業界 13人
子吉川フェア 重機操作・ドローン操作 (由利建設業協会)	7月5日	ボートプラザアクアパル	親子 500人 業界 20人
中学生と管内企業ふれあいPR事業 レベル・光波測距儀操作体験 (由利建設業協会)	7月17日	ナイスアリーナ	生徒 80人 建設女子会 7人
西目高校体験入学会 重機操作 (由利建設業協会)	7月31日	西目高校	中学3年生 17人 業界 4人
由利工業高校現場見学・体験会 建築科2年生 現場見学、ICT体験、重機・ドローン操作 (由利建設業協会)	10月3日	本荘東小学校 子吉川河川掘削現場	生徒 31人 教師 2人 業界 15人
測量競技大会 レベル、光波測距儀 (由利建設業協会)	10月8日	西目シーガル前	生徒 55人 教師 4人 業界 20人
西目高校現場見学・体験会 土木科1・2年生 現場見学、測量、側溝目地塗り (由利建設業協会)	10月23日	本荘東小道路新設現場 ほ場整備工事現場 象潟高速現場	生徒 29人 教師 2人 業界 18人
金浦中学校現場見学・体験会 現場見学、ICT体験、重機・ドローン操作 (由利建設業協会)	10月28日	子吉川河川掘削現場	生徒 30人 教師 2人 業界 15人
建設企業による高校生向け出前説明会 1・2年生対象 (仙北建設業協会)	11月27日	秋田県立大曲工業高等学校	85人
建設企業による高校生向け出前説明会 1・2年生対象 (仙北建設業協会)	12月12日	秋田県立西仙北高等学校	29人
建設企業による高校生向け出前説明会 1・2年生対象 (仙北建設業協会)	12月17日	秋田県立大曲農業高等学校	28人
高校2年生対象「仙北地域企業説明会」へのブース出展 (仙北建設業協会)	2月5日	大仙市大曲交流センター	200人
大仙市・仙北市・美郷町教育委員会へ障害者教育学習備品・簡易パーティションを寄贈 (仙北建設業協会・青年部)	3月13日	大仙市・仙北市・美郷町	11人
「角館の桜まつり」駐車場整理ボランティア (仙北建設業協会:青年部・女性部)	4月24日～25日	仙北市角館町内の各駐車場	70人
秋田テレビ夏まつりイベントへの企業ブース出展 (仙北建設業協会:青年部・女性部)	7月13日	秋田市エリアなかいち特設会場	
地元小学生を対象とした現場見学会 5年生対象 (仙北建設業協会)	9月9日	R7年度豪雨災害被災現場	48人
建設ICT現場見学会 高校1年生対象 (仙北建設業協会)	9月16日	大仙市協和峰吉川地内 (雄物川上流中村芦沢地区稼働掘削 外工事現場)	58人
2級土木・建築施工管理技士学科試験対策テキスト贈呈 (平鹿建設業協会)	3月17日	横手清陵学院高等学校	テキスト・問題集・ 法令集セット 土木 22冊 建築 22冊 法令集 22冊
女性エンジニアSAKURAと行く！現場体験会 (平鹿建設業協会)	7月25日	横手市内の現場3か所	小学生 22人 保護者 17人 中学生 6人 女性部 7人
「授業中！学校を工事する建設女子と高校生」 横手清陵学院高等学校の生徒と建設女子が協力し、学校敷地内の傷んだ階段タイルを補修する施工体験事業。 (平鹿建設業協会)	9月2日・16日・19日	横手清陵学院高等学校	高校生 16人 女性部 12人 青年部 8人
2級土木施工管理技士学科試験対策講座(講座派遣) (平鹿建設業協会)	10月14日・21日	横手清陵学院高等学校	高校生 16人 派遣講師 1人
高校生の建設関係工場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	11月13日	(株)ホクエツ秋田大曲工場	15人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の建設関係工場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	11月20日	湯沢アスコン共同企業体	13人
高校生の建設関係工場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	11月27日	湯沢生コン	13人
一般国道108号クリーンアップ活動 (雄勝建設業協会)	6月6日	一般国道108号 湯沢市秋ノ宮 宮城県境付近約5.5km	120人
高校生の建設現場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	6月18日	道の駅おがち周辺整備工事 市道アクセス道路、道の駅駐車場	16人
高校生の建設現場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	7月9日	御返事川災害復旧工事 道の駅おがちICアクセス道路	16人
「建設体験フェスタ in 湯沢翔北高校雄勝校2025」 湯沢翔北高校2年生、湯沢翔北高校雄勝校2年生、 羽後高校2年生、横手清陵学院高校2年生 (雄勝建設業協会)	7月22日～25日	湯沢翔北高校雄勝校	高校生25人 建設業関係者 45人 高校教諭11人
高校生の建設現場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	9月3日	泉沢地区治山工事	16人
高校生の建設現場見学会 湯沢翔北高校雄勝校2年生 (雄勝建設業協会)	9月4日	東北中央自動車道 院内道路	16人
高校生の建設現場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	9月10日	上院内地区ほ場整備工事 東北中央自動車道 横堀道路	16人
高校生の建設現場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	9月17日	湯沢駅周辺複合施設整備事業	20人
高校生の建設現場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	10月8日	国道13号 院内地区舗装補修工事	16人
高校生の建設現場見学会 湯沢翔北高校雄勝校3年生 (雄勝建設業協会)	10月29日	皆瀬ダム	20人

山形県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生建設工事現場見学会 山形県立村山産業高等学校 みどり活用科1年生	11月11日	村山産業高等学校敷地内	46人
高校生建設工事現場見学会 山形県立山形工業高等学校 建築科3年生	6月13日	AJIMANファクトリー新築工事	34人
高校生建設工事現場見学会 山形県立米沢鶴城高等学校 建設環境類1年生	6月20日	・米沢浄水管理センター ・主要地方道長井飯豊線大巻橋 橋梁上部工 事 小白川災害復旧助成工事(第4工区) ・塩井コミュニティセンター新設建築工事 ・南成中学校新設建築工事	65人
高校生建設工事現場見学会 山形県立酒田光陵高等学校 環境技術科1年生	7月8日	・物見峠地区構造物工事 酒田港外港地区高砂埋立護岸(西)ケー ン製作工事 加茂港外1港浜町岸壁(-4.5m)外浚渫工事	57人
高校生建設工事現場見学会 山形県立置賜農業高等学校 食糧環境科2、3年生	9月5日	・置賜農業高等学校地すべり災害復旧工事 ・調査設計業務事業所研修	17人
高校生建設工事現場見学会 山形県立新庄神室産業高等学校 環境デザイン科2年生	9月8日	・国道13号 新及位トンネル工事 ・SHIKI HOTEL(金山) ・新消防庁舎建設工事 ・6年災4075号外新田川河川災害復旧工事	26人
高校生建設工事現場見学会 山形県立鶴岡工業高等学校 建築科1年生	10月29日	鶴岡市公共下水道汚泥資源化(コンポスト化) 事業施設整備業務 ・鶴岡市朝陽第五小学校改築プール整備工 事 ・鶴岡市朝陽第五小学校改築グラウンド整備 工事 ・令和7年度 学校施設環境改善交付金事業 余 目中学校東屋旧運動場大規模改造工事 ・令和5年度(債務負担行為)工事道路施設長 寿命化対策事業(補助。橋梁更新)一般県 道余目松山線庄内橋橋桁製作架設工事	64人
中学生建設ツアー	10月13日	大久保遊水地ICT施工現場 山形空港	33人

福島県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
小学生を対象とした建設現場見学会 郡山市立小山田小学校	11月5日	空港(整備(補助))工事(盛土)現場	生徒 78人 教諭 5人
いわき市立藤原小学校	11月15日	道路橋梁整備(再復)工事(橋梁上部)現場	生徒 27人 教諭 2人
相馬市立日立木小学校	11月20日	相馬港湾(交付)工事現場	生徒 30人 教諭 4人 計生徒135人 教諭11人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生等を対象とした建設現場見学会 二本松実業高等学校 都市システム科2年生	11月5日	市町村合併支援道路整備工場(道路改良)現場	生徒 26人 教諭 1人
福島工業高等学校 建築科2年生	11月13日	福島市民センター整備事業現場	生徒 36人 教諭 2人
相馬農業高等学校 環境緑地科2年生	11月19日	都市公園(祈念)工事(造成)現場	生徒 16人 教諭 2人
平工業高等学校 土木環境工学科2年生	11月20日	都市公園(祈念)工事(橋梁上部)現場	生徒 40人 教諭 2人
勿来工業高等学校 建築科3年生	6月13日	・田村市新病院建設工事・田村市保健福祉厨房施設建設工事現場 ・都市公園(祈念)工事(建築)及び福島国営追悼・祈念施設(仮称)管理施設建築工事現場	生徒 26人 教諭 2人
郡山女子大学 生活科学科2~4年生	6月17日	・福島市新学校給食センター新築工事現場 ・福島県郡山合同庁舎整備(建築)工事現場	生徒 36人 教諭 3人
学校法人松韻学園福島高等学校 普通科実務選択コース2・3年生	6月25日	福島市新学校給食センター新築工事現場	生徒 17人 教諭 2人
福島工業高等学校 建築科2年生	9月3日	・田村市新病院建設工事・田村市保健福祉厨房施設建設工事現場 ・福島市新学校給食センター新築工事現場	生徒 37人 教諭 2人
会津工業高等学校 建築インテリア科2年生	9月10日	・天栄保育所新築工事現場 ・南会津地区特別支援学校新築現場	生徒 35人 教諭 4人
喜多方桐桜高等学校 建設科2年生	9月11日	・南会津地区特別支援学校新築現場 ・国道121号水門橋上部工工事現場	生徒 14人 教諭 3人
福島明成高等学校 環境土木科1年生	9月17日	国道13号線浅川トンネル工事現場	生徒 28人 教諭 3人
郡山北工業高等学校 建築科2年生	9月25日	・田村市新病院建設工事・田村市保健福祉厨房施設建設工事現場 ・天栄保育所新築現場	生徒 35人 教諭 3人
会津農林高等学校 環境科学科1年生	9月29日	・国道121号水門橋上部工工事現場 ・南会津地区特別支援学校新築現場	生徒 14人 教諭 2人
岩瀬農業高等学校 環境工学科1年生	10月10日	国道399号線伊達橋上部工工事現場	生徒 18人 教諭 2人
白河実業高等学校 建築科2年生	10月20日	・福島県郡山合同庁舎整備(建築)工事現場 ・天栄保育所新築工事現場	生徒 29人 教諭 2人
相馬農業高等学校 環境緑地課2年生	10月28日	復興基盤総合整備0601工事深野南地区現場	生徒 14人 教諭 2人 計 生徒453人 教諭 39人
高校生を対象とした現場実習			
喜多方桐桜高等学校 建設科2年生	11月6日~8日	会員企業11社 施工現場	生徒 25人
平工業高等学校 土木環境工学科2年生	11月11日~14日	会員企業9社 施工現場	生徒 40人
岩瀬農業高等学校 環境工学科2年生	11月12日~14日	会員企業13社 施工現場	生徒 25人
白河実業高等学校 建築科2年生	6月2日~6日	会員企業11社 施工現場	生徒 30人
郡山北工業高等学校 建築科2年生	7月15日~17日	会員企業10社 施工現場	生徒 39人
福島工業高等学校 建築科2年生	7月23日~25日	会員企業14社 施工現場	生徒 39人
福島明成高等学校 環境土木科2年生	9月2日~5日	会員企業6社 施工現場	生徒 23人
二本松実業高等学校 都市システム科2年生	9月9日~11日	会員企業9社 施工現場	生徒 35人
会津農林高等学校 環境科学科2年生	9月9日~11日	会員企業3社 施工現場	生徒 6人
磐城農業高等学校 緑地土木科2年生	9月9日~12日	会員企業7社 施工現場	生徒 35人
会津工業高等学校 建築インテリア科2年生	10月7日~9日	会員企業13社 施工現場	生徒 36人
岩瀬農業高等学校 環境工学科2年生	10月15日~17日	会員企業14社 施工現場	生徒 27人
喜多方桐桜高等学校 建設科2年生	10月21日~23日	会員企業7社 施工現場	生徒 16人
勿来工業高等学校 建築科2年生	10月21日~23日	会員企業9社 施工現場	生徒 37人 計 413人
学生との座談会			
会津農林高等学校 環境科学科2年生	12月3日	会津農林高等学校 大会議室	生徒 15人 教諭 2人
磐城農業高等学校 緑地土木科2年生	1月22日	磐城農業高等学校 会議室	生徒 33人 教諭 3人
相馬農業高等学校 環境緑地科2年生	2月4日	相馬農業高等学校 2階会議室	生徒 16人 教諭 2人
福島明成高等学校 環境土木科2年生	2月7日	福島明成高等学校 視聴覚室	生徒 25人 教諭 3人
岩瀬農業高等学校 環境工学科2年生	2月20日	岩瀬農業高等学校 力農会館	生徒 24人 教諭 4人
二本松実業高等学校 都市システム科2年生	2月26日	二本松実業高等学校 第一会議室	生徒 24人 教諭 4人 計 生徒137人 教諭 18人
Out of KidZania in ふくしま			
Out of KidZania in ふくしま相双2024	11月9日、10日	福島ロボットテストフィールド	児童 75人
Out of KidZania in 会津2024	11月30日、12月1日	株式会社金堀重機 敷地内	児童 63人
Out of KidZania in ふくしま相双2025	10月25日、26日	福島ロボットテストフィールド	児童 70人 計 208人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
建設業担い手確保推進広報事業 建設業情報コーナーの設置 重機でGO！体験会 建設業情報コーナーの設置 ふくしま・けんせつフェア	6月7日 6月7日 8月7日 8月30日、31日	道の駅ふくしま 道路情報コーナー 道の駅ふくしま 道路情報コーナー 道の駅猪苗代 情報コーナー 日本大学工学部 学生食堂（ハットNE）室内及び屋外	児童 約50人 児童 約3,000人 保護者 約1,000人 計 児童約3,050人 保護者約1,000人
道路ふれあい月間清掃活動	8月	各支部所管の主要幹線道路等	総数2,058人 車輛 211台
奉仕活動	4月～8月	各支部所管の主要幹線道路等	総数 660人 車輛 134台

茨城県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血活動 (境支部)	6月4日	境支部会館	支部 45人 境工事事務所 11人
「道の日」清掃活動 (境支部)	10月8日	国道125線10.8km 国道4号線28.2km 管内（古河市・坂東市・境町・五霞町） 主要県道71.6km	支部 223人 境工事事務所 11人
建設フェスタ	10月4日	笠松運動公園	16,000人
令和6年度建設現場見学会 土浦工業高等学校土木科1年生	11月1日	R4 東関道水戸神栖線橋上部工事、R5 霞ヶ浦 導水石岡トンネル（第5工区）新設工事	38人
下館工業高等学校建設工学科1年生	11月5日	橋梁上部工事（柳島高架橋）、古河労働総合庁 舎（23）建築その他工事	34人
水戸農業高等学校農業土木科1年生	11月8日	R5 国道6号牛久土浦BP土浦地区跨道橋上部 その1工事、第1ふ頭D岸壁上部工打替工事	16,000人
茨城大学工学部都市システム工学科3年生	11月14日	橋梁上部工事（柳島高架橋）、美浦トレーニ ング・センター既舎改築（第3期）工事	48人
水戸工業高等学校土木科1年生	11月26日	R4 霞ヶ浦導水石岡トンネル（第4工区）新設工事、 R5 久慈川右岸山方地先下流部樋管改築工事	40人
水戸日建工科専門学校1年生	11月29日	県立あすなろの郷セーフティネット本棟新築工事、 県立あすなろの郷セーフティネットA寮棟他新築工事、 美浦トレーニング・センター既舎改築（第3期）工事	64人
水戸日建工科専門学校2年生	11月29日	5-6（仮称）新桜学校給食センター建設工事、 県立あすなろの郷セーフティネット本棟新築工事、 県立あすなろの郷セーフティネットA寮棟他新築工事	59人
建設業親子見学会2024	11月13日	霞ヶ浦導水 石岡トンネル第3工区	40人
建設業体験会2024	11月9日	イーアスつくば	503人
建設現場を描いた図画作品 展示会	12月4日～13日 12月19日～28日	イーアスつくば イオンモール水戸内原	
茨城建設フォトコンテスト	5月～		
建設現場を描いた図画コンクール	7月～		
令和7年度 建設現場見学会 水戸工業高等学校建築科1年生	9月25日	06-08国学（仮称）みらい平地区新設中学校建設工事、 情報テクノロジー大宮校（仮称）新棟新築工事	
つくばサイエンス高等学校科学技術科建築領域2年	10月6日	6-7 国債（仮称）中根・金田台地区小学校建設工事	
真壁高等学校農業・環境緑地課 環境緑地コース2年	10月7日	霞ヶ浦導水事業（導水路（トンネル）工事）R5 霞ヶ浦導水石岡トンネル （第3工区）新設工事、情報テクノロジー大宮校（仮称）新棟新築工事	
土浦工業高等学校建築科1年	10月9日	情報テクノロジー大宮校（仮称）新棟新築工事、 鉾田市立旭小学校校舎等新築工事	
下館工業高等学校建設工学科1年	10月14日	6-7 国債（仮称）中根・金田台地区小学校建設工事、 霞ヶ浦導水事業（導水路（トンネル）工事）R5 霞ヶ 浦導水石岡トンネル（第5工区）新設工事	
海洋高等学校海洋産業科2年	10月16日	霞ヶ浦導水事業（導水路（トンネル）工事）R5 霞ヶ浦導水石岡ト ンネル（第5工区）新設工事、鹿島港外港地区国際物流ターミナル整備 事業（防波堤工事）鹿島港外港地区防波堤本体工事（ケーソン製作）	
水戸農業高等学校農業土木科1年	10月17日	神宮橋架替事業（橋梁上部工事）R5 国道51号神宮橋架替 鹿嶋側橋梁上部工事、霞ヶ浦導水事業（導水路（トンネル） 工事）R5 霞ヶ浦導水石岡トンネル（第3工区）新設工事	
水戸工業高等学校土木科1年	10月28日	鹿島港外港地区国際物流ターミナル整備事業（防波堤工事）鹿島港 外港地区防波堤本体工事（ケーソン製作）、霞ヶ浦導水事業（導水路 （トンネル）工事）R5 霞ヶ浦導水石岡トンネル（第5工区）新設工事	
「道の日」清掃活動 (高萩支部)	11月13日	日 立 国293号、日立港線、日立東海線 高 萩 高萩インター線 北茨城 北茨城大子線	188人
常総支部役員による年末現場安全パトロール (常総支部)	12月2日	常総市（豊田・坂手町・相野谷） 下妻市（高道祖） 八代町（粕礼・下山川）	11人
常総支部役員による年度末現場安全パトロール (常総支部)	2月17日	常総市（豊田・内守谷・中山） 下妻市（高道祖・村岡） 八代町（粕礼・下山川）	11人
常総支部建設未来協議会会員による豊加美歩道橋下花壇整備 (常総支部)	3月4日	下妻市国道294号線バイパス 豊加美歩道橋	9人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血活動 平成16年度より毎年献血車2台、100名以上の方に賛同いただき、社会貢献活動の一環として支部会員を対象に行ってきた。その功績を称えられ日本赤十字社より、令和6年11月1日に金色有功章(連続して15回以上実施した団体)を受章した。また、令和7年1月28日には、茨城県知事より感謝状が贈られた。今後も関係各所のご協力を賜りながら、献血活動を通じて社会貢献活動を続けていきたいと思う。(常総支部)	6月5日	常総支部駐車場	113人
「道の日」清掃活動 (常総支部)	10月22日	・下妻市(国道125号、県道下妻停車場線 下妻市道)西ルート2.0km 東ルート2.0km ・常総市(国道294号線、県道土浦境線、常総市道)北ルート2.0km、南ルート2.0km ・八千代町(県道結城坂東線、県道若境線、八千代町道)北ルート2.0km、南ルート2.0km	118人
常総支部建設未来協議会会員による豊加美歩道橋下花壇整備 (常総支部)	10月28日	下妻市国道294号線バイパス 豊加美歩道橋	5人
道路清掃活動 (常陸大宮支部)	11月1日 10月30日	1、国道118号線(26km) ①道の駅「かわプラザ」～イオン常陸大宮店 ②那珂市瓜連交差点～木倉地内 2、国道245号線(23km) ①ひたちなか市境界～ひたちなか市湊大橋 ②東海村久慈大橋～東海村境界	合計110人
豚熱(CSF)防疫活動 (水戸支部)	3月31日～4月1日	茨城町	20人
献血活動 (水戸支部)	9月2日	茨城県建設技術研修センター	118人
「道の日」清掃活動 (水戸支部)	10月7日	市毛水戸線、国道118号 他6箇所	支部 159人 自治体 37人
地域貢献活動 除草作業 (太田支部)	6月5日	山吹運動公園源氏川沿い	21社
地域貢献活動 除草作業 (太田支部)	9月30日	山吹運動公園源氏川沿い	21社
献血活動 (太田支部)	7月2日	合同庁舎駐車場	113人
「道の日」カーブミラー清掃 (太田支部)	10月22日	国道349号、旧349号、293号線	21社
特定外来生物「オオキンケイギク」駆除活動 茨城県立大子特別支援学校(中学部)と合同 (大子支部)	5月27日	大子町国道118号線沿道	55人
「道の日」道路清掃活動 (大子支部)	10月30日	国道118号・461号線 45km 県道15路線 119km	100人
道の日清掃活動 (筑西支部)	9月30日	国道294号線約14km他県道	会員会社 135人他
献血 (筑西支部)	10月6日	茨城県建設業協会筑西支部	会員会社55人
鹿行地区建設業安全大会 (潮来市建設業組合、鹿嶋市建設業協同組合、神栖市総合建設業協会と共催) (潮来支部)	6月17日	高正U&Iセンターホール (鹿嶋勤労文化会館)	総数 272人
献血会 (潮来支部)	4月22日	高正U&Iセンターホール (鹿嶋勤労文化会館)	総数 158人 潮来支部会員 145人 各出先機関・ 労基署 13人 潮来支部会員 105人
「道の日」清掃活動 (潮来支部)	10月28日	鹿嶋市「関東鉄道バス停跡」集合 鹿嶋市内の国道・県道・市道 ※一般国道124号ほか	鹿嶋市建設業協 同組合 53人 鹿嶋市役所 13人 潮来土木事務所 11人
「道の日」道路清掃活動 (土浦支部)	11月11日	土浦支部管内5市	375人
献血ボランティア活動 (土浦支部)	10月6日	土浦支部駐車場	70人
「道の日」清掃活動 (鉾田工事事務所との共催) (鉾田支部)	7月2日	県道 水戸鉾田佐原線 国道 354号 国道 355号	業界 90人 自治体 30人
献血活動(龍ヶ崎市建設業組合との共催) ・400ml献血 (竜ヶ崎支部)	9月19日	竜ヶ崎支部	66人
道路清掃美化活動 ・土砂撤去作業 ※支部会員・竜ヶ崎工事事務所・龍ヶ崎市役所職員 (竜ヶ崎支部)	10月20日	・県道龍ヶ崎市停車場線 ・主要地方道 土浦竜ヶ崎線 ・主要地方道 竜ヶ崎潮来線 約15km	120人

昨年度発刊しました『令和6年度 建設業社会貢献・SDGs/広報活動事例集』の「都道府県建設業協会・支部・地区協会が実施した活動において(事例集P54～)」について、本来掲載すべき茨城県建設業協会・支部の活動事例について掲載漏れがありました。

掲載漏れにより茨城県建設業協会並びに支部の関係者にご迷惑をお掛けしましたことを、深くお詫び申し上げますとともに、掲載漏れしておりました内容について、以下に掲載いたします。

茨城県(令和6年度)

(実施期間:2023年11月～2024年10月)

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
建設フェスタ	10月5日	笠松運動公園	12,000人
令和5年度 建設現場見学会 真壁高等学校 環境緑地科2年生	11月7日	04国補海岸04-05-786-A-002号 突堤整備工事 (仮称) 上管トンネル設備関係工事	11人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
令和5年度 建設現場見学会 土浦工業高等学校 土木科1年生	11月10日	R3霞ヶ浦導水石岡トンネル(第1工区)新設工事 橋梁上部工事(光安寺橋)	40人
令和5年度 建設現場見学会 水戸日建工科専門学校 建築系1年生	11月20日	新斎場建設工事	70人
令和5年度 建設現場見学会 水戸日建工科専門学校 建築系2年生	11月20日	新斎場建設工事	66人
令和5年度 建設現場見学会 茨城大学 工学部 都市システム工学科	11月22日	R3圏央道利根川橋上部工事 美浦トレーニング・センター厩舎改築(第3期)工事	61人
令和6年度新規フォローアップ研修	4月15日	建設技術研修センター 3階	66人
令和6年度新規入職者研修	4月16日~9月24日	建設技術研修センター 3階	86人
建設業インターンシップ(高校4校・専門学校2校)	6月25日~9月13日	県内企業	193人
令和6年度 建設現場見学会 土浦工業高等学校 建築科1年生	9月19日	新桜学校給食センター建設工事 美浦トレーニング・センター厩舎改築(第3期)工事	40人
令和6年度 建設現場見学会 真壁高等学校 農業・環境緑地科2年生	10月1日	R5国道4号春日部古河BP幸主地区改良工事 (仮称)上曾トンネル警報設備工事	7人
令和6年度 建設現場見学会 海洋高等学校 海洋産業科2年生	10月3日	R4那珂川左岸小場地区周囲堤築堤工事 ガントリークレーン製作据付工事	25人
令和6年度 建設現場見学会 筑波研究学園専門学校 建築環境学科 建築1年生	10月18日	県立あすなろの郷セーフティネット本棟新築 工事・A寮棟他新築工事 動物医薬品検査所(22)建築その他工事	27人
令和6年度 建設現場見学会 筑波研究学園専門学校 建築環境学科 建築2年生	10月18日	新桜学校給食センター建設工事 美浦トレーニング・センター厩舎改築(第3期)工事	20人
令和6年度 建設現場見学会 筑波研究学園専門学校 建築環境学科 土木	10月18日	R4東関道小泉第一高架橋上部工事 道路擁壁設置工事(歩行者専用道路橋)	20人
令和6年度 建設現場見学会 水戸工業高等学校 建築科6年生	10月23日	古河労働総合庁舎(23)建築その他工事 都和アパート18号棟建設工事	40人
令和6年度 建設現場見学会 つくばサイエンス高等学校 科学技術科 建築領域2年生	10月28日	県立あすなろの郷セーフティネット本棟新築 工事・A寮棟他新築工事	18人
2級土木施工管理技術検定 第1次検定 受験対策講習会 水戸工業高等学校(土木科)	9月12日~ 10月17日	水戸工業高等学校	40人
2級建築施工管理技術検定 第1次検定 受験対策講習会 水戸工業高等学校(土木科)	10月2日~ 11月6日	水戸工業高等学校	40人
地域貢献活動 除草作業 (太田支部)	6月5日	山吹運動公園源氏川沿い	21社
地域貢献活動 除草作業 (太田支部)	9月25日	山吹運動公園源氏川沿い	21社
献血活動 (太田支部)	7月3日	合同庁舎駐車場	102人
「道の日」カーブミラー清掃 (太田支部)	10月23日	国道349号、旧349号、293号線	21社
「道の日」清掃活動 (常陸大宮支部)	11月2日	1.国道118号線(26km) ①道の駅「かわプラザ」~イオン常陸大宮店 ②那珂市瓜連交差点~木倉地内 2.国道245号線(23km) ①ひたちなか市境界~ひたちなか市湊大橋 ②東海村久慈大橋~東海村境界	合計 110社
「道の日」清掃活動 (高萩支部)	11月22日	日立 国293号、日立港線、日立東海線 高萩 高萩インター線 北茨城 北茨城大子線	169人
「道の日」清掃活動 (鉾田支部) (鉾田工事事務所との共催)	7月3日	県道 水戸鉾田佐原線、茨城鹿島線 国道 354号 国道 355号	業界 90人 自治体 20人
鹿行地区建設業安全大会 (潮来支部) (潮来市建設業組合、鹿嶋市建設業協同組合、神栖市総合建設業協会と共催)	6月19日	高正U&Iセンターホール (鹿嶋勤労文化会館)	総数 277人
献血会 (潮来支部)	9月30日	高正U&Iセンターホール (鹿嶋勤労文化会館)	総数 140人 潮来支部会員118人 各出先機関・労基署 22人
「道の日」清掃活動 (潮来支部)	10月25日	道の駅「いたこ」臨時駐車場集合 潮来市内の国道・県道・市道 ※一般国道51号ほか 総延長7km	潮来支部会員113人 潮来市建設業組合 35人 潮来市役所 8人 潮来土木事務所 12人
献血ボランティア (土浦支部)	10月4日	土浦支部駐車場	70人
道の日清掃活動 (筑西支部)	9月25日	国道294号線約14km他県道	会員会社150人他
献血 (筑西支部)	10月7日	茨城県建設業協会筑西支部	会員会社55人
役員による年末現場安全パトロール (常総支部)	12月5日	常総市(豊田・坂手町・相野谷町) 下妻市(高道祖) 八代町(粕礼・下山川)	11人
役員による年度末現場安全パトロール (常総支部)	2月7日	常総市(豊田・内守谷・相野谷町) 下妻市(高道祖・村岡) 八代町(粕礼・下山川)	12人
建設未来協議会会員による豊加美歩道橋下花壇整備 (常総支部)	3月12日	下妻市国道294号線バイパス 豊加美歩道橋	8人
献血活動 (常総支部)	6月6日	常総支部駐車場	120人
「道の日」清掃活動 (常総支部)	8月8日	・下妻市(国道125号、県道下妻停車場線 下妻市道)西ルート2km 東ルート2km ・常総市(国道294号線、県道土浦境線、 常総市道)北ルート2km、南ルート2km ・八千代町(県道結城坂東線、県道若境線、 八千代町道)北ルート2km、南ルート	120人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
建設未来協議会会員による豊加美歩道橋下花壇整備(常総支部)	10月24日	下妻市国道294号線バイパス 豊加美歩道橋	7人
「道の日」清掃活動 (境支部)	8月5日	管内国道125号・354号周辺 県道11路線周辺 全長111.8km	260人
献血活動 (龍ヶ崎市建設業組合との共催)(竜ヶ崎支部)	9月27日	竜ヶ崎支部	63人
道路の美化活動 ※支部会員・竜ヶ崎工事事務所・龍ヶ崎市役所職員の参加 (竜ヶ崎支部)	10月16日	・県道龍ヶ崎市停車場線 ・主要地方道 土浦竜ヶ崎線 ・主要地方道 竜ヶ崎潮来線 約15km	120人
特定外来生物「オオキンケイギク」駆除活動 茨城県立大子特別支援学校(中学部)と合同 (大子支部)	5月30日	大子町国道118号・461号線、県道	55人
「道の日」道路清掃活動 (大子支部)	10月31日	大子町国道118号・461号線 45km、 県道14路線 119km	98人
高病原性鳥インフルエンザ防疫作業 (水戸支部)	11月27日～12月3日	笠間市内	31人
献血活動 (水戸支部)	9月17日	茨城県建設技術研修センター	120人
「道の日」清掃活動 (水戸支部)	10月9日	市毛水戸線、国道118号 他6箇所	支部 170人

栃木県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校出前講座 将来の建設業を担う高校生を対象に、人材確保・育成を目的に、より実践的な授業を実施。 (講義)建設業の仕事について・BIM(3D CAD)の説明及び使用事例紹介・座談会 (下都賀支部)	11月5日	栃木県立小山西桜高等学校	生徒 39人 下都賀支部建友会 7人
インターンシップの実施 真岡工業高校2年生 宇都宮工業高校2年生 (芳賀支部)	11月11日～15日 10月20日～24日	各受入事業所	32人 4人
愛ロードとちぎ 県道等の清掃活動 (塩谷支部)	11月13日 12月1日 6月11日 7月9日 9月10日 10月8日	・主要地方道 矢板那須線 ・矢板市富田交差点～矢板南産業団地入口(L=4km) ・一般国道293号 ・さくら市黒須病院交差点～さくら市市の堀大黒橋(L=4km)	55人 58人 53人 60人 51人 56人
土木の日・CCIクリーンアップキャンペーン (宇都宮支部)	11月14日	主要地方道宇都宮那須烏山線外一級河川 田川(幸橋～押切橋)	90人
高校出前講座 将来の建設業を担う高校生を対象に、人材確保・育成を目的に、より実践的な授業を実施。 (講義)建設業の仕事について・測量実習・座談会 (下都賀支部)	11月19日	栃木県立栃木農業高等学校	生徒 34人 下都賀支部建友会 7人
愛ロード・愛リバー清掃活動 (芳賀支部)	11月20日 1月15日 3月28日 5月15日 7月16日 9月17日	真岡市田町・荒町周辺 国道294号外1.1km区 間 五行川 1.5km区間	62人
クリーンアップキャンペーン (日光支部)	11月21日	一般県道日光今市線、一般県道日光だいや川公園線、3級市道大谷川右岸線 約9km	138人
総合学習支援活動 高根沢町立中央小学校1年生～6年生 (塩谷支部建青会)	12月3日	塩谷郡高根沢町石末2247-1 高根沢町立中央小学校	138人
今市工業高等学校建設工学科1年生 現場見学会(日光支部)	12月12日	南摩ダム 日光市役所本庁舎	36人
愛ロード活動 (鹿沼支部)	12月13日 2月14日 6月13日 8月8日 10月10日	鹿沼環状線 (平成橋より宇都宮鹿沼線交差点まで)	9人 11人 12人 10人 11人
田川シダレザクラ復活祭2025 (宇都宮支部)	2月19日	田川押切橋から東橋の両岸	80人
高校出前講座(現場見学会・座談会) 宇都宮工業高校 環境土木科2年生 宇都宮工業高校 建築デザイン科2年生 (宇都宮支部)	2月27日	板戸大橋現場見学 カンセキスタジアム現場見学	80人
献血活動 (鹿沼支部)	3月18日 8月29日	鹿沼建設会館駐車場	29人 18人
愛リバーとちぎ清掃活動 (宇都宮支部)	3月21日 5月29日 9月11日	主要地方道宇都宮那須烏山線外一級河川 田川(幸橋～押切橋)	40人 41人 42人
現場見学会 黒磯那須バイパス工場の現場見学会を開催することで、高校生が進路選択にあたり自己の職業適性や将来設計、職業意識や職業選択等について考える機会とし、建設業の役割を学ぶとともに興味を持っていただくことで建設業界への就業促進を図る。 (那須支部)	4月24日	黒磯那須バイパス	那須清峰高校 36人 教員 2人 計 38人 企業6社15人 大田原土木事務所 5人
鹿沼さつきマラソン大会に伴うクリーンアップ作戦 愛ロード活動 (鹿沼支部)	5月9日	①御成橋西交差点～平成橋 ②平成橋～北中西交差点 ③御成橋東～日光線ガード下 ④御成橋東～府中橋東交差点	26人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
愛ロード (日光支部)	5月14日 6月11日 7月9日 8月20日 9月10日 10月8日	東武日光駅前～田母沢御用邸区間2.6km	200人
愛リバー (足利支部)	5月22日 6月27日 8月22日 10月3日	蓮台寺川五十部浄化施設 蓮台寺川今福町河川公園 矢場川西新井防災ステーション 袋川右岸、大月橋下流	25人
鹿沼市水防協力団体水防訓練 (鹿沼支部)	6月8日	鹿沼市消防本部訓練場 (上殿町)	24人
水防及び地震情報伝達訓練活動 塩谷支部・矢板土木事務所・建設コンサルタンツ協会との共催 (塩谷支部)	6月12日	塩谷建設会館 (矢板市扇町2-10-8) 矢板土木事務所 (矢板市鹿島町) 栃木県建設コンサルタンツ協会 (宇都宮)	60人
水防伝達訓練 栃木県真岡土木事務所 (芳賀支部)	6月25日	芳賀建設会館 真岡土木事務所	70人
情報伝達訓練 近年頻発している大規模災害について、的確に対応することを目的に各関係機関において、現状把握を迅速に行い、正確な情報を共有するために行う訓練。 (下都賀支部)	6月25日	下都賀建設会館 各関係機関 新聞中橋、丸林跨線橋	下都賀支部29人 関係機関15人
川の日・田川クリーンアップ大作戦 (宇都宮支部)	7月2日	一級河川 田川 (大曾橋～旭陵橋)	100人
山あげ祭応援クリーン作戦 道路等清掃活動 (烏山支部)	7月9日	那須烏山市内 主要地方道宇都宮那須烏山線等	地元市議 行政職員等70人 支部員50人
中禅寺ダム見学会 (栃木県日光土木事務所へ協力) (日光支部)	7月25日	中禅寺ダム	62人
令和7年度 足利花火大会道路クリーン作戦 (足利支部)	7月30日	一般国道293号、主要地方道足利千代田線 (中橋の前)	35人
とちぎ子どもの未来創造大学 (午前) 重機搭乗体験会 (午後) (日光支部)	8月30日	日光だいや川公園 駐車場	167人 うち、 午前中30人 午後100人 スタッフ37人
とちぎ子どもの未来創造大学 建設機械 (ICT)・ドローン操作・コンクリートミニ製品の体験を通じ建設業の魅力を発信し担い手確保の一助とする。 (那須支部)	8月30日	県北会館他	小学生11人 中学生1人 計12人 会員20人
第12回ヤクルト健康まつり 建設機械見学・搭乗体験 (両毛ヤクルト販売株主催) (足利支部)	8月30日	両毛ヤクルト販売株	15人
仕事説明会講師派遣 真岡工業高校1年生、保護者 (芳賀支部)	9月5日	真岡工業高校	生徒33人 保護者16人
担い手育成事業指導者派遣 真岡工業高校3年生 (芳賀支部)	9月24日 9月29日 10月15日	真岡工業高校	生徒22人 (土木15、建築7)
高校生現場見学会 真岡工業高校1年生 (芳賀支部)	10月10日	408号真岡南BP建設工事現場 (真岡市) 県営若草住宅新1号棟新築工事 (宇都宮市)	33人
防災講習会 県・市町・警察・消防・建設業の各団体の災害時の役割と対応の紹介。本講習会を通じて将来の職業選択の一助として。建設機械試乗体験・ドローン操作体験等 (那須支部)	10月17日	大田原市立金丸小学校	児童78人 教員10人 計88人 会員22人
とちぎ子どもの未来創造大学 小学4年～中学2年 駐車場補修工事 (バックホウ、振動ローラー)、ドローン・カニクレーン操作 (栃木県教育委員会主催) (芳賀支部)	10月18日	真岡市五行川河川緑地	8人
みんなで楽しむ土木施設見学ツアー 先人の手がけた土木施設 (土木遺産) を見学することにより建設業の魅力を発信した。 (那須支部)	10月18日	JR黒川鉄橋・晩翠橋 膳棚水路橋、JPOWER沼原発電所等	子供23人 大人34人 計57人 会員18人
足利大学付高校生2年生を対象に企業の体験入職を実施 (足利支部)	10月20日～24日	足利支部会員9社で受け入れ	高校生20人
建FESGO!	10月25日	宇都宮市 道場宿緑地公園	延べ2,500人
クリーンアップキャンペーン (日光支部)	10月31日	日光市 国道119号旧道 (杉並木内) 今市小前歩道橋～日光方面へ 約3km	147人

群馬県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
砂入れボランティア (桐生支部 青年経営者部会)	11月25日	桐生・みどり市内 3園	業界10人
桐生市堀マラソン大会 事前清掃ボランティア (桐生支部)	2月9日	桐生市内	業界47人
第51回安政遠足マラソン前夜祭模擬店出店 (安中支部)	5月10日	安中市文化センター	業界11人
令和7年度 第37回道路クリーン作戦 (県内12支部)	5月30日	県下一斉	業界約1,700人
桐生八木節祭後清掃ボランティア活動 (桐生支部)	8月4日	桐生市内	業界53人
ひまわり花畑まつり 高所作業者搭乗体験 (桐生支部)	10月12日	みどり市笠懸町	業界16人
サイクリングロード清掃 (伊勢崎支部)	10月30日	利根川・広瀬川・粕川・早川サイクリングロード	業界約70人

埼玉県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
秩父市立小学校課外学習への協力 (資機材準備等) (秩父支部)	11月11日	皆野町立国神小学校	99人
県庁オープンデーへの協力・出展 (重機展示等)	11月14日	埼玉県庁第二庁舎前	19,000人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
埼玉県八潮市道路陥没事故の復旧活動への協力 (越谷支部)	1月28日から現在まで	八潮市中央一丁目交差点	100人
日本赤十字社埼玉県支部の献血活動への協力 (全支部)	通年	埼玉建産連会館他	300人
第16回本庄総合公園春まつりへの参画 (児玉支部)	5月11日	本庄総合公園	20,000人
春の道路清掃活動 (比企支部)	6月7日	国道407号 東松山市松本町交差点から柏崎中部歩道橋まで	61人
第45回川口たたら祭りへの協力・出展 (重機展示等) (さいたま支部)	8月23日~24日	川口オートレース場他	300,000人

千葉県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
仕事体験テーマパーク「カンドゥー」へのブース「建設エンジニア」出展	11月1日~	イオンモール幕張新都心内「カンドゥー」	年間約11,000人
九都県市合同防災訓練 (県会場・防災フェア)	10月19日	海上自衛隊館山航空基地	約3,000人
土木の日特別企画	11月17日	千葉市役所周辺	支部会員 20社
STAY STREET2024	11月3日	国道357号 千葉市役所付近上部空間 (千葉市)	青年部会員 15社
建設機械体験学習会 浦安市立東小学校 1、5、6年生 (青年部会、京葉支部、CCIちば共催)	11月21日	浦安市立東小学校	児童含む 約315人
CCIちば出張授業 香取市立小見川東小学校 4、6年生 (香取支部)	11月5日	香取市立小見川東小学校	生徒含む 約30人
CCIちば出張授業 富津市立佐貫小学校 5、6年生 (君津支部)	11月8日	富津市立佐貫小学校	生徒含む 約10人
CCIちば出張授業 千葉市立蘇我中学校 2年生 (千葉支部)	11月15日	千葉市立蘇我中学校	生徒含む 約160人
CCIちば出張授業 市川市立大和田小学校 4年生 (京葉支部)	11月18日	市川市立大和田小学校	生徒含む 約120人
CCIちば出張授業 市川市立真間小学校 4年生 (京葉支部)	11月25日	市川市立真間小学校	生徒含む 約120人
CCIちば出張授業 印西市立高花小学校 4年生 (北総支部)	11月26日	印西市立高花小学校	生徒含む 約60人
CCIちば出張授業 市原市立ちはら台桜小学校 6年生 (市原支部)	12月16日	市原市立ちはら台桜小学校	生徒含む 約90人
CCIちば出張授業 市川市立二俣小学校 4年生 (京葉支部)	10月31日	市川市立二俣小学校	生徒含む 約30人
鳥インフルエンザ防疫活動 (銚子支部・八日市場支部・香取支部)	1月11日~3月20日	銚子市内・旭市内・匝瑳市内養鶏場	支部会員 14社
豚熱防疫活動 (香取支部・八日市場支部)	3月31日~4月14日	香取市内・匝瑳市内養豚場	支部会員 4社
匝瑳市総合防災訓練 (八日市場支部)	11月17日	飯高特別支援学校 (匝瑳市)	支部会員 15社
利根川河川敷清掃 (東葛支部)	11月9日	利根川ゆうゆう公園~江蔵地地先ふさ復興会館~栄橋 (我孫子市)	支部会員 6社
管内2市1町の小枝払清掃 (館山支部)	11月25日	館山市内・南房総市内・鋸南町内	支部会員 35社
大津川環境美化ボランティア活動 (東葛支部)	11月29日	ひどり橋脇手賀沼自然ふれあい緑道公園 (柏市)	支部会員 15社
茂原公園環境美化活動 (長生支部)	12月14日	茂原公園 (茂原市)	支部会員 14社
舞浜高潮堤防護岸環境美化活動ボランティア (京葉支部)	4月19日	舞浜高潮堤防護岸 (浦安市)	支部会員 37社
合同水防訓練 (君津支部)	5月15日	小糸川河川敷 (君津市)	支部会員 11社
葛南地区合同水防訓練 (京葉支部)	5月21日	江戸川第一終末処理場 (市川市)	支部会員 46社
第29回長生地域水防訓練 (長生支部)	5月24日	ヒューマンキャンパスのぞみ高等学校 (茂原市)	支部会員 32社
匝瑳市ごみゼロ運動 (八日市場支部)	5月25日	旧八日市場市エリア・旧野栄町エリア (匝瑳市)	支部会員 16社
水防訓練および大原海岸ボランティア清掃 (夷隅支部)	5月26日	いすみ市文化とスポーツの森及び大原海水浴場 (いすみ市)	支部会員 18社
山武都市合同水防訓練 (山武支部)	5月28日	東金市浄化センター (東金市)	支部会員 6社
水防訓練と土のう1000袋づくり (鴨川支部)	5月29日	鴨川建設会館 (鴨川市)	支部会員 17社
排水ポンプ車等訓練 (我孫子市水防訓練) (東葛支部)	6月4日	後田樋管 (我孫子市)	支部会員 6社
合同水防訓練 (八日市場支部)	6月10日	堀川浜海水浴場 (匝瑳市)	支部会員 24社
東葛飾地区合同水防訓練 (東葛支部)	6月12日	大堀川防災レクリエーション公園 (柏市)	支部会員 61社
合同水防訓練 (館山支部)	6月17日	平久里川右岸河口部 (館山市)	支部会員 34社
環境美化活動 (香取支部)	6月19日	香取神宮周辺等 (香取市)	支部会員 23社
富津下洲海岸清掃ボランティア (君津支部)	6月26日	下洲海岸 (富津市)	支部会員 32社
いなげの浜清掃ボランティア活動 (千葉支部)	6月28日	いなげの浜 (千葉市)	支部会員 47社
夏のビーチクリーンボランティア (山武支部)	6月28日	殿下海水浴場 (山武市)	支部会員 5社
合同水防訓練 (香取支部)	7月1日	黒部川河川敷 (香取市)	支部会員 24社
鴨川前原海岸の清掃ボランティア (鴨川支部)	7月4日	前原海岸 (鴨川市)	支部会員 18社
海岸清掃活動 (銚子支部)	7月6日	椎名内海岸・旧飯岡荘前海岸 (旭市)	支部会員 22社
北総支部管内一斉清掃 (北総支部)	7月9日	国道285号線・296号線・464号線等 (佐倉市・成田市・印西市)	支部会員 35社
ボランティア活動 (市原支部)	7月15日	清澄養老ライン (市原市)	支部会員 21社
銚子マリーナ海水浴場のボランティア活動 (銚子支部)	7月17日	銚子マリーナ (銚子市)	支部会員 14社
ボランティア活動小枝払清掃 (館山支部)	7月18日	管内2市1町 (館山市・南房総市・鋸南町)	支部会員 32社
根本名川みんなでおそうじ2025 (北総支部)	7月29日	根本名川 (成田市・富里市)	支部会員 37社
支部管内地域奉仕活動 (山武支部)	7月29日	山武市立成東小学校 (山武市)	支部会員 10社
江戸川環境美化活動 (東葛支部)	8月3日	上葛飾橋~古ヶ崎排水路 (松戸市)	支部会員 21社
千葉地区水防訓練とボランティア活動 (千葉支部)	8月27日	幕張海浜公園 (千葉市)	支部会員 45社
ボーイスカウトとのボランティア活動 (八日市場支部)	9月15日	新川河口 (匝瑳市)	支部会員 23社
小櫃堰周辺堆積流竹木除去作業 (君津支部)	9月25日	小櫃川・小櫃堰周辺 (木更津市)	支部会員 7社
鎌ヶ谷市総合防災訓練 (東葛支部)	9月28日	鎌ヶ谷市役所 (鎌ヶ谷市)	支部会員 5社

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
流山花火大会後の清掃作業 （東葛支部）	10月5日	流山橋付近（流山市）	支部会員 6社
道路ボランティア活動 （東葛支部）	10月24日	野田市今上地先（野田市）	支部会員 16社
道路環境美化活動 （長生支部）	10月23日	県道茂原大多喜線（長南町）	支部会員 33社
流山市民まつり特殊車両展示 （東葛支部）	10月26日	キッコーマンアリーナ（流山市）	支部会員 11社
県道沿い清掃活動 （君津支部）	10月30日	君津インター周辺道路（君津市）	支部会員 30社

東京都

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生現場見学会 都立田無工科高等学校 建築科1年A組	11月22日	前田建設工業(株) 浦和駅西口南高砂地区第一種市街地再開発事業に伴う施設建築物新築工事 前田建設工業(株) 技術研究所・ICI総合センター	31人
高校生現場見学会 都立田無工科高等学校 建築科1年B組	11月22日	鹿島建設(株) (仮称) 豊洲4-2街区開発計画A棟新築工事 鹿島建設(株) 技術研究所・西調布実験場	29人
高校生現場見学会 都立総合工科高等学校 建築都市工学科都市工学類型2年 建設系高校生作品コンペティション2024	11月25日 12月12日～14日	(株)安藤・間 境川金森調節池工事その2 新宿駅西口広場イベントコーナー	11人 一般約8,500人
高校生現場見学会 都立田無工科高等学校 建築科2年	1月9日	(株)フジタ 船橋都市計画事業 海老川上流地区土地区画整理事業 基盤整備工事 国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所 建設技術展示館	55人
高校生現場見学会 都立工芸高等学校 インテリア科3年	1月10日	清水建設(株) 温故創新の森NOVARE	13人
高校生現場見学会 都立葛西工科高等学校 建築科2年	2月12日	(株)長谷工コーポレーション (仮称) 習志野市津田沼計画	25人
高校生現場見学会 都立工芸高等学校 インテリア科2年	2月14日	西松建設(株) (仮称) DPL東雲新築工事	36人
高校生現場見学会 都立葛西工科高等学校 建築科1年	7月15日	飛鳥建設(株) 文京区立名化小学校等改築工事 (株)安藤・間 (仮称) 葛飾区奥戸物流施設計画 (独)都市再生機構 URまちとくらしのミュージアム	56人
親子で参加インフラツーリズム 首都圏外かく放水路見学	8月18日	首都圏外かく放水路	一般14組37人
建物の耐震改修工法等展示会	10月12日、13日	新宿駅西口広場イベントコーナー	一般 約850人

山梨県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
災害時の広域応援業務に係る情報伝達訓練 (山梨県建設業協会)	12月12日	山梨県建設会館及び県下地区7建協	県建協 11人 各地区建協・ 広域応援協力者
第8回建設まつり (山梨県建設業協会)	10月25日	アイメッセ山梨 ABCホール・屋外展示場(甲府市)	総数4,000人
小学校訪問 ボランティア 重機の試乗体験・働く車についての学習 (甲府地区建設業協会)	11月5日 11月11日 11月18日 11月19日 11月27日 10月31日	甲斐市立竜王南小学校 甲府市立東小学校 南アルプス市立落合小学校 甲斐市立双葉西小学校 南アルプス市立若草南小学校 甲斐市立竜王小学校	生徒 59人 生徒 56人 生徒 33人 生徒 49人 生徒 45人 生徒 50人
救急法基礎講習 緊急時や災害時等の人命救助についての講習 (甲府地区建設業協会)	12月4日	甲府地区建設業協会 2階 会議室	15人
建設産業説明会・甲府市立東中学校 建設業への関心を高めて、就職してもらうため、働く魅力を発信する (甲府地区建設業協会)	1月22日	甲府市立東中学校	生徒 205人
建設産業説明会・甲府工業 建築科 建設業への関心を高めて、就職してもらうため、働く魅力を発信する (甲府地区建設業協会)	2月17日	県立甲府工業高等学校	生徒 30人
建設産業説明会・農林高校 環境工学科 建設業への関心を高めて、就職してもらうため、働く魅力を発信する (甲府地区建設業協会)	3月3日	県立農林高等学校	生徒 39人
建設産業説明会・甲府工業 土木科 建設業への関心を高めて、就職してもらうため、働く魅力を発信する (甲府地区建設業協会)	3月11日	県立甲府工業高等学校	生徒 70人
建設産業説明会・甲府城西高校 建設業への関心を高めて、就職してもらうため、働く魅力を発信する (甲府地区建設業協会)	3月17日	県立甲府城西高等学校	生徒 60人
献血活動 (甲府地区建設業協会)	6月6日 10月10日	甲府地区建設業協会 第2駐車場 甲府地区建設業協会 第2駐車場	107人 98人
普通救命救急Ⅰ 緊急時や災害時等の人命救助についての講習 (甲府地区建設業協会)	6月9日 10月29日	甲府地区建設業協会 2階 会議室 甲府地区建設業協会 2階 会議室	15人 14人
緊急無線機の体制の常設及び訓練 (甲府地区建設業協会)	7月18日	甲府地区建設業協会	100人
甲斐市竜王駅北口ポケットパーク草刈・整備作業 (甲府地区建設業協会)	10月2日	甲斐市竜王新町・大下条地内	50人
建設まつり 建設業の魅力を伝え、将来の子供達に就職してもらい、担い手不足の解消に繋げる (甲府地区建設業協会)	10月25日	アイメッセ山梨	運営関係者 30人
第28回CCIカップ低学年少年野球大会 9チーム参加 (塩山建設業協会)	12月1日	勝沼中央公園 勝沼中学校グラウンド	保護者を含め 約250人
じどうしゃくらべ (塩山建設業協会)	12月4日 12月17日	甲州市立菱山小学校 山梨市立加納岩小学校	塩山建協 5人 塩山建協16人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
ぶどう盗難防止一斉パトロール出発式・パトロール (塩山建設業協会)	8月19日	式 甲州市役所勝沼支所駐車場 パトロール 甲州市内全域	約10人
令和7年度 東山梨地区広域防災訓練 (塩山建設業協会)	10月9日	甲州市勝沼町綿塚667-1 重川河川公園(北側河川敷)	約70人
ボランティア活動(河道内樹木伐木作業)(笛吹建設業協会)	11月23日	笛吹川(笛吹橋及び石和橋付近)	業者 150人
社会貢献活動『はたらく自動車』くらべ (笛吹建設業協会)	11月7日	笛吹市立石和東小学校	44人 (内児童23人)
	11月12日	笛吹市立石和南小学校	58人 (内児童35人)
	12月2日	笛吹市立石和富士見小学校	72人 (内児童49人)
	12月16日	笛吹市立八代小学校	94人 (内児童67人)
高校生建設現場見学会 山梨県立笛吹高等学校 総合学科 環境緑地系列2・3年生 (笛吹建設業協会)	6月12日	国道140号(新山梨環状道路東部区間2期) 広瀬橋下部工事現場	38人 (内生徒27人)
産業説明会 山梨県立笛吹高等学校 総合学科1年生 (笛吹建設業協会)	9月29日	山梨県立笛吹高等学校	93人 (内生徒85人)
ICT体験会 笛吹市立浅川中学校3年生 (笛吹建設業協会)	10月3日	笛吹市立浅川中学校	135人 (内生徒100人)
清掃活動 (市川建協青年部)	11月12日	国道140号沿道休憩施設・広場	業界 4人
	12月17日		業界 5人
	1月27日		業界 6人
	2月20日		業界 5人
	3月11日		業界 4人
	4月16日		業界 4人
	5月16日		業界 5人
	6月10日		業界 5人
	7月25日		業界 6人
	8月25日		業界 5人
9月17日	業界 5人		
10月29日	業界 6人		
清掃活動 (市川建設業協会)	11月5日	手打沢川河川内	業界 6人
青洲高校2年生インターンシップ (山梨県建設業協会主催)(市川建設業協会)	7月28日~30日	協会員8企業 (市川三郷町・富士川町・身延町内)	生徒 19人 業界 8社
「建設機械とI-construction」 コース選択前の生徒に対し、建設産業が担う役割の重要性ややりがい、ICT等を活用した現場の生産性・安定性の向上などの現在の姿を伝え、建設産業の仕事を体験させることで、生徒自身が生きることや働くことに思いを巡らせ、具体的なイメージを持つようにする。 (身延建設業協会)	7月7日	県立青洲高校	青年部 11人 総合学科1年 53人
河川清掃活動 (身延建設業協会)	7月12日	南部町下島川河川流域	身延建協会員 23人
献血への協力 (身延建設業協会)	8月6日	身延町役場身延支所前	青年部 11人 献血者(身延建協関係) 67人
じどうしゃくらべ(建設機械試乗体験)(身延建設業協会)	10月20日	南部町立栄小学校	青年部 11人 他関係者 50人 1年生 30人
小学校訪問ボランティア じどうしゃくらべ(建設機械等乗車体験) (峡北地区建設業協会)	11月19日	北杜市立 須玉小学校	業界 9人 自治体 2人 生徒 64人 教員 3人
国道141号須玉バイパス除草作業 (峡北地区建設業協会)	6月21日~28日	韮崎市穴山町・中田町 北杜市須玉町 地内	業界 150人
北杜高校2年生インターンシップ (山梨県建設業協会主催)(峡北地区建設業協会)	7月24日、25日 28日	会員 3企業(韮崎市、北杜市)	会員 3社 生徒 6人
葛葉学園ボランティア グラウンド 砂入替 草刈り 等 (富士・東部建設業協会)	11月29日	葛葉学園	11人

新潟県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
建設業界！魅力発見ツアー	10月9日	関川村一級河川荒川	33人
除雪の達人	10月11日	村上地域振興局	200人
いいねっか村上	10月11日	村上駅前広場	1,000人
献血活動	8月6日	株式会社伊藤組 本社前	献血協力者 33人
土木の日記念フェスティバル【環境エコカーニバル】	10月18日	新発田市役所 札の辻広場	新発田地域整備部 2人
			新発田支部青年部会 33人
献血活動	11月19日	新潟県建設業協会新津支部	32人
クリーン作戦(阿賀町狐嫁入り行列開催前)	5月30日	阿賀町津川 狐の嫁入り屋敷・城山公園・行列街道	63人
ミニバックホウ操作体験(あがまちとんぼdeマルシェ)	10月5日	阿賀町津川 仲町・横町商店街	5人
出前講座「みる・しる・たのしむ・建設業たいけん」小学生40人	10月23日	町立上川小学校	20人
出前講座「みる・しる・たのしむ・建設業たいけん」小学生37人	10月31日	町立三川小学校	20人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血活動	7月3日	株巻支部建設会館	来場者 76人 献血者 62人 (400ml)
道路除雪PR「弥彦村防災フェア2025」 ・ロータリー除雪車の展示、乗車、記念撮影 ・土木PRパネル展示 ・PR用グッズ（タンブラー）等配布 三条地域整備部と共催で、地域を支える建設業の役割や魅力を来場者へPR	10月4日	ヤホール及びおもてなし広場前駐車場	220人
クリーン作戦 西蒲原地区広域土地改良事業推進協議会主催のクリーン作戦への参加	10月26日	新潟市西蒲区・西区・南区 燕市 地内	330人
献血	2月18日	三条建設会館	77人 (一般市民含む)
高校生現場見学会 新潟県立加茂農林高校 2年生39人	9月9日	新潟県三条地域振興局	6人 (三条支部青年部)
除雪実習 新潟県立県央工業高校 2年生18人	9月22日	新潟県三条地域振興局	6人 (三条支部青年部) 2人 (三条地域整備部)
田上町道の駅除雪PRイベント	10月25日	田上道の駅	6人 (三条支部青年部) 2人 (三条地域整備部) 約2,500人 (一般市民)
献血 献血及び会場設営	1月16日	新潟県建設業協会長岡支部	38人
土木フェス 土木及び防災用機械の展示・体験・実演 (当会員は会場設営及び小型建設機械の搭乗体験)	10月5日	国営越後丘陵公園	約10,000人以上 (当会員は11人)
みしま産業まつり（ふれあい建設広場）	11月3日	長岡市三島支所・長岡市みしま会館	250人
親子で重機試乗体験！ inおぢや（重機（バックホウ）の試乗体験）	9月27日	㈱キムラ機材センター	親子31組 (93人)
土木PR事業	10月31日 6月4日 11月7日	小出中学校（1年生） 小出中学校（2年生） 小出中学校（2年生）	9人 12人 13人
土木フェア 現場見学会 塩沢商工高等学校 2年生23人	10月18日 11月7日	魚沼市響きの森公園 北ノ入川砂防堰堤・関越トンネル	12人 6人
出前土木PR授業（座学・ペーパータワー作成） 塩沢商工高校 1年生13人	12月13日	〃	7人
仮設道路土木実習 塩沢商工高校 3年生22人（3班集体）	4月18日～7月22日	〃	12人
出前土木PR授業（段ボール橋作成）六日町中学校 3年生110人	6月5日	六日町中学校	9人
出前土木PR授業（段ボール橋作成）大和中学校 2年生113人	6月27日	大和中学校	7人
出前土木PR授業（段ボール橋作成）湯沢学園 9年生45人	7月11日	湯沢学園	8人
土木フェア 南魚沼市	10月12日	八色の森公園	18人
出前土木PR授業（段ボール橋作成）八海中学校 1年生92人	10月22日	八海中学校	7人
海岸ポイ捨て啓蒙看板設置 広報・地元新聞に活動記事掲載	6月27日	東の輪海岸	13人
献血活動 400ml献血16人 受付19人	8月27日	柏崎建設会館	13人
うらスポマラソン給水エイド設置 地域行事に参加し、建設業に関する地域住民の理解促進とイメージアップを図る。	6月15日	第一酒造（株）駐車場	マラソン約300人
安塚祭り 建設業に関する地域住民の理解促進とイメージアップを図る。上越東維持管理事務所と当支部がイベント参加し広報活動を行った。本年度は会場をキューピットバレースキー場で、山の上え真夏の雪まつり」と同時開催した。	8月16日	キューピットバレースキー場 (センターハウス前)	一般来場者 2,000人 (安塚祭り 来場者数)
除雪出動式 除雪業務への理解促進とイメージアップを図る。	11月8日	上越東維持管理事務所 駐車場	三地区の小学生 約40人
佐渡総合高校 測量体験・現場見学会 佐渡総合高校 2年生18人	10月21日	佐渡総合高校校舎 (国) 350号国仲バイパス軟弱地盤対策工事 二見港ヤード	2人
1日美化デー	7月15日	羽茂素浜海岸（羽茂亀脇地内） 素浜海水浴場（小木小比叡地内）	4社4人
大学と地域が連携した地域づくり応援事業 芝浦工業大学木工教室・木匠塾協賛 芝浦工業大学 蟹澤研究室学生 約30人	8月1日～18日	あいかわ総合開発センター	3社

長野県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
クリーンキャンペーン（佐久建設事務所、南佐久支部）	11月15日	・（国）141号線 南牧村から佐久市白田	33人
高校生現場見学会 佐久平技術高等学校 2年生（佐久建設事務所、南佐久支部）	11月29日	・佐久穂町河川改修工事 ・佐久穂町道の駅	31人
小満祭 はたらく車 展示・試乗（南佐久支部）	5月18日	・佐久市白田 千曲川白田橋	481人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生現場見学会 佐久平技術高等学校3年生 (佐久建設事務所、南佐久支部)	6月16日	・軽井沢町農用地造成工事 ・軽井沢町道路築造工事 ・佐久市浅夢大橋	31人
菊でいっぱい運動 (南佐久支部)	年間通して活動中	・近くの畑を借り、警察署、振興局、建設事務所に玉菊の鉢を設置している。	会員全体年間通して
高校生の現場見学会 佐久平総合技術高校 食農クリエイイト科 環境共生コース2年生 (南佐久支部・佐久支部合同)	11月29日	①佐久穂町 高野町 河川改修工事 ②佐久穂町 八千穂高原IC 道の駅「八千穂高原」	20人
高校生の現場見学会 佐久平総合技術高校 食農クリエイイト科 環境共生コース3年生 (南佐久支部・佐久支部合同)	6月16日	①軽井沢町 馬取山田地区 経営体育成基盤整備事業 農用地造作工事 ②借宿小諸線 軽井沢町 追分 防災・安全交付金事業 道路築造工事 ③(国)141号 佐久市 浅夢大橋 防災・安全交付金事業 橋梁工事	20人
高校生の建設現場見学会 長野県上田千曲高等学校建築科1年生 (上小支部)	6月16日	千曲市屋代保育園建設工事 滋野児童館建設工事	43人
特定家畜伝染病防疫演習 上田市・東御市・青木村等・JA他 (長野県上田地域振興局・佐久家畜保健衛生所・上小支部)	11月8日	上田市市民の森	80人
高校生検定用教材寄付(建築大工技能検定) 長野県上田千曲高等学校建築科 (上小支部)	11月19日	上小建設会館	15人
建設現場見学会&業界(お仕事)セミナー (ハローワーク上田・上小支部)	11月29日	令和5年度防災安全交付金(道路)工事 上田市立第五中学校改築事業校舎建築主体工事 上小建設会館	10人
高校生の企業説明会 長野県上田千曲高等学校建築科1年生・2年生 (上小支部)	12月10日	長野県上田千曲高等学校 会員企業6社	90人
災害危険区域パトロール(上田市・東御市・長和町・青木村) (上小支部)	2月12日~28日	会員企業24社 地区ごとに4班編成	23人
災害危険区域パトロール(上田市・東御市・長和町・青木村) (上小支部)	5月8日~31日	会員企業23社 地区ごとに4班編成	18人
高校生の建設現場見学会 長野県上田千曲高等学校建築科3年生 (上小支部)	5月26日	信州スカイパーク新陸上競技場建設工事 ルートイングループ長野本部新築工事	48人
土砂災害区域パトロール(上田建設事務所・上田市・東御市・長和町・上小支部)	6月24日~26日	上小管内(急傾斜地・土石流)	46人
緊急パトロール (上小支部)	7月1日	上小管内 会員企業現場12現場	4人
中学生職場体験学習 上田市立第五中学校2年生 (上小支部)	7月2日~3日	上小管内 会員企業4社	24人
中学生職場体験学習 上田市立塩田中学校2年生 (上小支部)	7月3日	上小管内 会員企業1社	6人
中学生職場体験学習 上田市立第三中学校2年生 (上小支部)	7月14日~15日	上小管内 会員企業3社	15人
中学生職場体験学習 上田市立第二中学校2年生 (上小支部)	7月16日~17日	上小管内 会員企業2社	7人
中学生の職場体験学習 上田市立第四中学校2年生 (上小支部)	7月23日~24日	上小管内 会員企業4社	24人
中学生職場体験学習 東御市立北御牧中学校2年生 (上小支部)	7月23日~24日	上小管内 会員企業1社	3人
小学生建設業体験教室 建設業図鑑配布・重機体験・パネル展示等 長和町立長門小学校5、6年生 (上小支部)	7月17日	長和町立長門小学校	80人
中学生職場体験・防災学習・重機試乗体験 上田市立第六中学校3年生 (長野県建設業協会青年部会・上小支部)	8月27日 座学 9月4日 体験学習	上田市立第六中学校	170人
PTA主催「盈進まつり」 小学生建設業体験教室 建設業図鑑配布・重機体験・パネル展示等 (上小支部)	7月17日	上田市立中塩田小学校	182人
特定家畜伝染病防疫演習 佐久地域・上小地域 (長野県佐久地域・上田地域振興局・佐久家畜保健衛生所・上小支部)	10月1日	農業大学校研修部	133人
自主パトロール (上小支部)	10月22日	上小管内 会員企業現場3現場	7人
高校生の建設現場見学会 長野県上田千曲高等学校建築科1年生 (上小支部)	10月24日	森林伐採⇒丸太皮むき⇒製材・乾燥⇒集成材に加工 県産材集合住宅建設工事(長和町・立科町) IPDログスティクス(株)第二倉庫建設工事	60人
中学生キャリア講座(地域と未来をつなぐゼミ)(諏訪支部)	10月4日	岡谷東部中学校	4人(生徒16人)
道路美化活動(諏訪分会と宅地建物取引業協会諏訪分会との合同活動)	11月9日	諏訪市内道路	30人
道路美化活動(富士見分会と富士見町建設事業協同組合との合同活動)	11月27日	町内道路等	10人
公共施設危険箇所調査(諏訪支部)	5月	諏訪管内の道路・河川等	90人
献血(諏訪支部)	6月17日	諏訪建設会館	42人
道路美化活動(原分会と村内建設業者との合同活動)	6月25日	村内県道村道	10人
道路美化活動(茅野分会と市観光協会等との合同活動)	7月2日	ビーナスライン、国道152号	20人 (全体600人)
公園美化活動(下諏訪分会と町内建設業者との合同活動)	7月5日	水月公園	10人
諏訪実業高校防災教育(諏訪建設事務所との合同活動)	7月11日	諏訪実業高校	2人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
道路美化活動 (下諏訪分会と町内建設業者との合同活動)	7月26日	湖岸通り線植樹帯	10人
河川(諏訪湖)アダプトプログラム 草刈り、ごみ拾い等 (諏訪支部)	8月29日 10月21日	諏訪湖 諏訪湖	8人 6人
クリーンレイク諏訪ふれあいまつり「建設車両の乗車体験」 (諏訪支部)	9月14日	諏訪湖流域下水道豊田週末処理場	15人
高校生の建設現場見学会 箕輪進修高校1年生 (県建設部と伊那支部との共催)	11月8日	上伊那郡辰野町 砂防河川 大沢川	15人
道路クリーン作戦 (県建設部・市町村・建設業関連団体・伊那支部との共催)	6月17日	上伊那管内の県及び市町村管理道路	360人
小学生の現地見学会・室内講習会 駒ヶ根市立東伊那小学校4年生 (県建設部と伊那支部との共催)	9月10日	駒ヶ根市 唐沢川砂防施設他工事現場	14人
高校生の建設現場見学会 箕輪進修高校1年生 (県建設部と伊那支部との共催)	10月31日	(都) 環状北線 伊那市 山寺～中央	12人
高校生対象 建設技術実践プロジェクト 飯田OIDE長姫高校 社会基盤工学科3年生 (飯建・測量協会・飯田支部)	11月1日、8日、 15日、22日 12月6日 9月12日、16日 10月3日、10日 17日、28日	飯田市 松川河川敷左岸	127人
高校生現場見学会 飯田OIDE長姫高校 社会基盤工学科・建築学科2年生 (飯田支部)	11月21日	史跡活用ガイダンス施設建築工事 新松尾東保育園・児童クラブ新築工事 氏乗IC・6号トンネル・8号橋(三遠南信)	78人
献血事業 (飯田支部)	6月10日、10月8日	飯田建設会館	211人
高校生対象 刈払い機取扱作業講習会 飯田OIDE長姫高校 社会基盤工学科2年生 (飯田支部)	6月13日	飯田OIDE長姫高校	40人
河川愛護活動 (飯田支部)	7月5日、8月23日 9月20日	飯田市 松川河川敷	35人
高校生対象 建設現場安全教育講習会 飯田OIDE長姫高校 社会基盤工学科・建築学科3年生 (飯田支部)	7月16日	飯田OIDE長姫高校	80人
地域ボランティア活動 (建築士会・飯田支部)	8月1日	飯田養護学校	15人
高校生対象 2級土木・建築施工管理技士試験受験準備講習会 飯田OIDE長姫高校 社会基盤工学科・建築学科(飯田支部)	8月18日～19日	飯田OIDE長姫高校	66人
高校生の測量及び丁張設置実習 木曾青峰高校 森林環境科3年生 (木曾支部)	6月13日	木曾町日義 原野林野利用協同組作業道内 (林道)	69人
高校生の建設工事の学習・JW-CAD図面作成実習 木曾青峰高校 森林環境科3年生 (木曾支部)	6月23日	木曾青峰高校 丘の上キャンパス	22人
国道・県道の法面及び路側の環境整備 (木曾支部)	7月8日	(国) 256号 南木曾町 吾妻 妻籠 (一) 木曾福島(停)線 木曾町福島 塩渕	31人
刈払機取扱作業安全衛生教育 学科講習 木曾青峰高校 森林環境科1年生 (木曾支部)	10月2日	木曾青峰高校 丘の上キャンパス	42人
刈払機取扱作業安全衛生教育 学科・実技講習 木曾青峰高校 森林環境科1年生 (木曾支部)	10月9日	木曾青峰高校 丘の上キャンパス 新開キャンパス	56人
秋季ふれあい献血活動 (松筑支部)	11月25日	松筑建設会館	89人 (献血人数82人)
春季ふれあい献血活動 (松筑支部)	4月28日	松筑建設会館	91人 (献血人数87人)
道路クリーンキャンペーン活動 (松筑支部 松本建設事務所との共催)(松筑支部)	7月5日	(主) 松本環状高家線 松本市神林	72人
高校生の実務研修[U字溝設置] 南安曇農業高校 環境クリエイト科2年生 (県安曇野建設事務所と共催)(安曇野支部)	11月7日	南安曇農業高校第2農場	総数 28人 (業界) 5人 (一般) 生徒・先生 21人 (自治体) 安曇 野建設事務所 2人
沿道美化活動「クリーンアップ安曇野」 河川堤防の草刈り、堤防道路の清掃 (県安曇野建設事務所と共催)(安曇野支部)	6月13日	安曇野市南穂高(万水川)	総数 101人 (業界) 72人 (自治体) 安曇 野建設事務所 29人
高校生の工事現場見学 南安曇農業高校 環境クリエイト科1年生 (県安曇野建設事務所と共催)(安曇野支部)	7月28日	現場見学会 (橋梁架け替え工事・国道403号) (黒沢川調節池建設工事)	総数 43人 (業界) 3人 (一般) 生徒・先生 35人 (自治体) 安曇 野建設事務所 5人
高校生の実務研修[鉄筋結束・型枠組立] 南安曇農業高校 環境クリエイト科2年生 (県安曇野建設事務所と共催)(安曇野支部)	8月26日	南安曇農業高校	総数 38人 (業界) 5人 (一般) 生徒・先生 31人 (自治体) 安曇 野建設事務所 2人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
下水道ふれあいデー（建設機械の試乗体験） 地域住民対象の流域下水道処理場見学会 （主催 県犀川安曇野流域下水道事務所）（安曇野支部）	9月13日	犀川安曇野流域下水道終末処理場	総数 505人 （業界）25人 （一般）440人 （自治体）長野県、安曇野市他 40人
高校生の実務研修〔建設重機の操作実習〕 南安曇農業高校 環境クリエイティブ科2年生 （県安曇野建設事務所と共催）（安曇野支部）	10月9日	南安曇農業高校第2農場	総数 38人 （業界）5人 （一般）生徒・先生 31人 （自治体）安曇野建設事務所 2人
安曇野市中学生キャリアフェスティバル〔広報活動・建設業の紹介〕 安曇野市内の中学校全7校の1年生 （安曇野支部・安曇野市建設業組合）	10月15日	穂高会館	総数 52人 （一般）生徒 （ブース来訪者数） 45人
道路・河川草刈ボランティア活動（大北支部）	7月8日	・（国）148号17.0km ・（主）長野大町線5.0km ・（一）農具川1.9km	90人
河川愛護活動（アレチウリ駆除作業等）（大北支部）	9月25日	・（一）高瀬川0.4km	26人
地域道路清掃活動（更埴支部）	6月13日	（株）更埴会館周辺	14人
須坂東高校ワークショップ（建設業分科会） 長野県須坂東高校生（須坂支部、須坂建設事務所との共催）	11月6日	長野県須坂東高校	支部 9人 9人
春の道路一斉清掃（須坂建設事務所との共催）	4月24日	国道406号（仁礼地区）、他県道等	支部 24人 24人
豊丘ダムまつり（須坂支部、技士会須坂支部、他）	7月27日	須坂市豊丘ダム上流公園	支部 5人 9人
高校生等の現場見学会及び現場実習 長野県須坂創成高校2,3年生（須坂支部）	8月27日 9月3日、10日	須坂市臥竜公園	16人
地下横断歩道清掃活動（北信建設事務所、中高支部）	10月21日	・栗林地下横断歩道 ・草間地下横断歩道 ・高丘地下横断歩道	30人
高校生現場見学会 中野立志館高校2年生 （北信建設事務所、中高支部）	10月22日	・上今井遊水地斜面対策その1工事 ・R6国補通常砂防（事業間連携）工事 ・R6防災安全交付金雪寒（重点）工事	25人
長野工業高校建築学科1年生との交流会（長野支部）	12月12日	長野工業高校	56人
第40回「建設で献血だ！」（長野支部）	12月19日	長水建設会館	45人
第41回「建設で献血だ！」（長野支部）	4月15日	長水建設会館	57人
長野工業高校出張実習（長野支部）	6月9日	長野工業高校	58人
第19回建設業美化事業ボランティア（長野支部）	6月10日	長野支部管内 県道・市町村道43ヶ所	43社
長野工業高校インターンシップ（長野支部）	7月29日～8月22日 （内1～3日間）	協力会員会社37社	93人
建設技術実践プロジェクト刈払機講習（長野支部）	8月25日	長野工業高校	11人
キレイな信州環境美化キャンペーン（長野支部）	10月10日	裾花川左岸	21人
高校生の除雪機械操作体験実習 長野県下高井農林高等学校2年生（飯山支部）	8月7日	・長野県下高井農林高等学校 中庭	53人
高校生の現場見学会 長野県下高井農林高等学校3年生（飯山支部）	9月4日	・栄村百合居橋、其作～月岡工区	35人
建設業協会と長野県との協働沿道美化活動 （北信建飯山事務所、飯山支部）	4月8日、10月7日	・（国）117号・（国）292号の周辺21.4km	170人
令和7年度 フラワーロード事業（飯山支部）	6月9日、6月24日 7月1日、8月7日	（国）117号線バイパス道路	3,450人

岐阜県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
建設業PR、環境意識啓発、地球温暖化対策取組 「水の日」（8/1）及び「水の週間」（8/1～7）における 「打ち水作戦」（岐阜土木工業会及び会員会社）	8月1～6日	JR岐阜駅南出口広場 会員会社の事務所、工事現場等	33人 66ヶ所 464人
防災啓発活動（岐阜県西濃建設業協会） イベント会場来場者を対象にした防災啓発活動 地震体験、防災クイズ、防災グッズ等の配布	11月3日	大垣駅通り一帯 オオガキストリートフェスティバルのイベント会場	一般 750人 会員 9人
防災啓発活動（岐阜県西濃建設業協会） 大垣市の防災訓練に参加 災害出動のパネル展示（県協会のパネル）、能登半島地震の 横断幕展示、小型重機の試乗体験（子ども向け）	11月24日	大垣市立青墓小学校	一般 500人 会員 4人
ボランティア清掃活動（当協会の自主事業）（岐阜県西濃建設業協会）	4月16日	揖斐川河川敷等 （大垣、海津、安八、不破、養老の各地区）	会員 95人
大垣市水防演習に参加 大型重機2台を使用し、大型土のうを11個作成し2段に積上げる演習を実施（岐阜県西濃建設業協会）	6月1日	大垣市杭瀬川スポーツ公園西 杭瀬川右岸	会員 17人
ボランティア清掃活動 （国土交通省が呼びかける川と海のクリーン大作戦に参加） （岐阜県西濃建設業協会）	10月10日 10月19日 10月20日 10月29日 10月29日	不破郡垂井町地内 相川河川敷 海津市平田町地内 長良川右岸 平田リバーサイド 大垣市上石津町地内 牧田川左岸 大垣市馬の瀬町地内 揖斐川右岸河川敷 養老郡養老町地内 牧田川左岸	会員 9人 会員 15人 会員 5人 会員 43人 会員 13人 合計 85人
揖斐川河川清掃（揖斐建設業協会 主催）	11月8日	揖斐川右岸 岡島橋～粕川合流点迄	39人

3. 都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施したその他社会貢献活動

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
揖斐川流域クリーン大作戦 「河川清掃」8会場に分かれて実施（揖斐建設業協会 協賛）	5月31日	一級河川揖斐川流域 ・揖斐川会場/坂内会場/池田会場/春日会場/ 久瀬会場/藤橋会場 一級河川根尾川流域 ・谷汲会場/大野会場	209人
献血活動（揖斐建設業協会）	10月9日	揖斐建設業協会	受付 26人 採血実施 22人
川と海のクリーン大作戦 「河川清掃」4ブロックに分かれて実施 （揖斐建設業協会 協賛）	10月25日	一級河川揖斐川流域 ・第1ブロック/第5-1ブロック/ 第5-2ブロック/谷汲ブロック	142人
高校生建設現場見学会 関商工建設工学科1,2年生（美濃建設業協会）	10月27日	・公共・防災・安全交付金事業（道路改築）工事 ・大矢田・極楽寺土地区画整理事業 ・大矢田・極楽寺土地区画整理事業に於いて ドローンを使用した防災訓練 ・瀬尻小学校長寿命化改良事業第3期（建築）工事 ・CGパースの作成、BIMの活用方法	業界 10人 生徒 75人 教員 6人
地域貢献 献血事業（美濃建設業協会）	6月30日	美濃建設会館 美濃市極楽寺746	会員企業関 係者外80人
ボランティア清掃活動（美濃建設業協会）	6月5日 7月3日 8月7日 9月2日	美濃市 旧美濃橋右岸河川敷 関市 小瀬関観光ホテル裏河川敷 美濃市 岐阜美濃線中濃総合庁舎前 関市 西田原交差点付近	業界 30人 業界 30人 業界 30人 業界 30人
ぎふ・ロードプレーヤー事業（土木事務所との共催） （可茂建設業協会）	11月13日	美濃加茂市本町 一般県道 各務原美濃加茂線沿線約2km	41人
ぎふ・ロードプレーヤー事業（土木事務所との共催） （可茂建設業協会）	5月7日	美濃加茂市本町 一般県道 各務原美濃加茂線沿線約2km	41人
若年者建設現場見学会（可児工業高校1年生）（可茂建設業協会）	11月14日	星ヶ台運動公園整備工事見学	46人
高校生の建設現場見学会 可児工業高等学校1年生（多治見建設業協会）	11月14日	多治見市星ヶ台3丁目地内 多治見運動公園内で・テニスコート・多目的 広場・運動広場・管理棟等 整備工事現場	46人
ロードプレーヤー（道路清掃活動）多治見・土岐・瑞浪 多治見地区 土岐地区 瑞浪地区 （多治見建設業協会）	年間2回 6月27日、11月13日 6月5日、11月6日 7月2日、11月22日	県道多治見恵那線 県道土岐南多治見インター線 県道武並土岐多治見線	15人 16人 14人
環境美化活動（道路清掃作業） ぎふ・ロードプレーヤー一斉活動 〃 〃 （恵那建設業協会）	11月22日 6月13日 7月4日	中津川市、恵那市管内 中津川市（加子母・蛭川） 中津川市、恵那市管内	308人 30人 336人
防災支援活動（訓練活動） ①道路啓開訓練 ②災害応援協力協定に基づく支援（豪雪に伴う倒木除去） ③岐阜県排水ポンプ車操作訓練 ④災害時応急資機材備蓄拠点活用訓練 ⑤水道施設事故の復旧に基づく支援（漏水緊急修繕） （恵那建設業協会）	11月19日 3月19日 5月8日 5月29日 6月6日	恵那総合庁舎 恵那管内全域 恵那市内（阿木川河岸） 恵那建設業協会 恵那土木 恵那市武並町	60人 10人 12人 5人 6人
社会貢献活動 協会員の集団献血活動（恵那建設業協会） イメージアップ・広報活動（恵那建設業協会）	6月12日	恵那建設会館	76人
①高校生建設現場見学会（中津川工業高校2年生） ②中津川工業高校PTA企業見学会において建設現場の案内 ③中学生一日体験入学 （測量機器の操作及び測定、建設機械の乗車体験、ドローン実演見学） ④高校生のインターンシップ受け入れ 恵那農業高校2年生 中津川工業高校2年生	11月13日 6月10日 7月28日～29日 9月9日～11日 10月1日～3日	濃飛横断自動車道路建設現場 恵那西工業団地造成工事 中津川工業高校 校内 各会員企業 〃	34人 20人 245人 6人 23人
清掃活動（下呂建設業協会・小坂支部）	4月30日、6月 20日、9月26日	県道湯屋温泉線 道の駅はなもも周辺	40人
清掃活動（下呂建設業協会・下呂支部）	6月4日	下呂市少ヶ野地内	5人
清掃活動（下呂建設業協会・竹原支部）	6月6日、7月11日 8月8日、9月30日	国道257号 下呂市宮地地内	15人
清掃活動（下呂建設業協会・萩原・馬瀬支部）	10月6日	飛騨川公園付近 左岸・右岸遊歩道	10人
道路清掃（下呂建設業協会・金山支部）	4月29日、7月21日 9月23日	主要地方道金山明宝線地内	34人
道路清掃（下呂建設業協会青年部）	7月29日	下呂市金山地内	12人
献血（下呂建設業協会）	4月22日 9月24日	益田建設会館	59人
打ち水大作戦（下呂建設業協会）	8月8日	下呂市萩原町萩原 JR萩原駅前	100人
益田清風高等学校 企業見学会（下呂建設業協会）	2月13日	萩原町古関 日産工業(株)現場	18人
【ロードプレーヤー事業】 （国道・県道における清掃活動等）（高山建設業協会）	6月27日	管内8地区	会員58社72人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
【高校生を対象とした建設現場見学会】 (高山建設業協会) 高山工業高等学校 2 年生	9 月 8 日	高山市ごみ処理施設建設工事 高山市公設地方卸売市場解体工事	会員 5人 高校 30人 (高山工業)
飛騨高山高等学校	10月20日	災害復旧事業乗鞍公園線乗鞍トンネル	会員 5人 高校 42人 (飛騨高山)
【宮川クリーンキャンペーン】 (河川内の清掃活動) (高山建設業協会)	9 月 27 日	宮川内 宮前橋～中橋 (約900m)	会員58社58人
長良川を美しくしよう運動 会員が参加 (長良川を美しくしよう運動の会主催)	4 月 20 日	長良川河畔	会員 144人
ぎふ長良川花火大会清掃運動 会員が参加 (ぎふ長良川花火大会実行委員会主催) (岐阜県建築工業会)	8 月 10 日	〃	会員 68人
「建築のしごと」親子見学・体験バスツアー (岐阜市周辺の小中学生を募集) (県協会・建築工業会)	7 月 22 日	加茂高等学校第 1 棟改築工事建築現場 県立国際たくみアカデミー (体験)	児童・生徒 34人 保護者 29人
高校生の建築現場見学会 岐南工業高校 建築科 2 年生 (県協会・建築工業会)	10月31日	・北消防署、消防本部整備工場及び防災備蓄 拠点建築主体工事現場 ・大野町公立認定こども園施設建築現場	生徒 32人 教員 2人

静岡県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
静岡県専門高校生サマー体験学習(主催：静岡県建設業協会)	7月28日～31日	富士教育訓練センター	生徒 10人
道路の清掃活動 (下田建設業協会)	9 月 4 日	下田市・賀茂郡下 主要幹線道路 R135、R136、 R414 下田松崎線、下田石廊崎線、須崎柿崎線	110人
カーブミラーの清掃活動 (下田建設業協会)	10月 9 日	下田市・賀茂郡下 主要幹線道路 R135、R136、 R414 下田松崎線、下田石廊崎線、須崎柿崎線	110人
「土木の日」建設作業車試乗体験 (下田建設業協会)	11月16日	道の駅「開国下田みなと」(下田市)	1,000人
伊豆総合高校 出前講座 (三島建設業協会) 伊豆総合高等学校 工業科建築デザイン類型 2 年生	12月11日	伊豆総合高校	生徒 9人
伊豆総合高校【静岡どぼくらぶ】現場見学会(三島建設業協会) 伊豆総合高校 工業科 3 年生	6 月 13 日	令和 6 年度(仮称)危機管理センター建築工事現場、 令和 6 年度(仮称)日向公園管理棟・トイレ 棟建築工事現場 (三島建設業協会会員企業施工)	生徒 10人
親子現場見学会 (小・中学生) (三島建設業協会)	7 月 30 日	奥野ダム (伊東市)	総数 63人 業界 8人 親子 55人
静岡県企業局東部事務所柿田川支所主催「県民の日」 出展 協賛 (小・中学生) (三島建設業協会)	8 月 21 日	静岡県企業局東部事務所柿田川支所、中島浄 水場	業界 11人
伊豆総合高校【静岡どぼくらぶ】現場見学会(三島建設業協会) 伊豆総合高校 工業科建築デザイン類型 2 年生	9 月 22 日	令和 6 年度狩野川水系砂防堰堤改築工事現場 (三島建設業協会会員企業施工)	総数 66人 業界 7人 生徒 15人 引率 1人 県職員 1人
フォトコンテスト2025 (三島建設業協会) 【テーマ】あなたが惹かれる素敵な建設工事写真	募集 7月1日～9月30日 表彰式 10月24日	三島建設業協会会員企業工事現場	応募 153点 (124人)
インターンシップ受入れ (三島建設業協会) 伊豆総合高等学校 工業科建築デザイン類型 2 年生	10月22日～24日	三島建設業協会会員企業 8 社	総数 23人 業界 8人 一般 15人
河川美化 (富士建設業協会)	6 月 13 日	潤井川左岸 山橋～潤井川大橋 潤井川右岸 山橋～潤井川大橋 血流川両岸 新血流川橋 潤井川両岸 野中橋～滝戸橋 芝川両岸 久保大橋～下流	業界 50人
親子現場見学会 (富士建設業協会)	8 月 20 日	コマツテクノセンタ	業界 23人 子供 18人
高校生インターンシップ (富士建設業協会) 富岳館高等学校	8月18日～22日 (内 2 日間)	富士市内、富士宮市内：12現場	生徒 12人
高校生インターンシップ (富士建設業協会) 沼津工業高等学校	10月16日～17日	富士市内、富士宮市内：4 現場	生徒 4人
【道の日】道路愛護 (富士建設業協会)	11月18日	県道富士裾野線 県道富士富士宮由比線 県道富士富士宮線 県道清水富士宮線	業界 49人
しずおか建設まつり (清水建設業協会)	11月 9 日	清水マリンパーク	総数3,000人 業界 15人
静岡市内清掃 (清水建設業協会)	2 月 8 日	JR清水駅周辺	総数 200人 業界 60人 一般 140人
海岸清掃 (清水建設業協会)	6 月 21 日	三保羽衣の松周辺	総数 260人 業界 70人 一般 190人
親子現場見学会 (清水建設業協会)	8 月 19 日	富士山大沢崩れ砂防施設	総数 44人 児童 21人
高校生インターンシップ (清水建設業協会) 静岡農業高等学校 環境科学科環境土木系列 2 年	8月20日～22日	清水建設業協会会員企業 8 社	総数 16人 業界 8人 一般 8人
静岡市との防災訓練 (静岡建設業協会)	11 月 8 日	静岡市庁舎及び市内 8 地区	総数 200人
献血運動 (秋) (静岡建設業協会)	11月11日	静岡県赤十字血液センター	総数 76人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
稚鮎放流事業 (静岡建設業協会)	4月25日	安倍川、藁科川と大門川の合流部	総数 130人
河川美化清掃活動 (静岡建設業協会)	6月4日	巴川	総数 104人
献血運動(春) (静岡建設業協会)	6月9日	静岡県赤十字血液センター	総数 85人
親子現場見学会 (静岡建設業協会)	7月24日	御前崎港	総数 49人
静岡市との応急危険度判定訓練 (静岡建設業協会)	9月1日	静岡市庁舎及び各区役所	総数 20人
静岡市との道路清掃活動 (静岡建設業協会)	10月29日	静岡市庁舎周辺	総数 150人
島田建設業協会管内の道路における交通安全運動 (静岡県交通安全対策協議会主催)	12月15日～31日	島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 145人
島田建設業協会管内の道路における交通安全運動 (静岡県交通安全対策協議会主催)	4月6日～15日	島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 193人
島田建設業協会管内の道路における交通安全運動 (静岡県交通安全対策協議会主催)	7月11日～20日	島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 144人
島田建設業協会管内の道路の除草・清掃活動 (静岡県道路利用者会議主催)	6月16日～8月22日	島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 304人
親子現場見学会 (島田建設業協会)	8月7日	大沢川遊砂地工事現場、まかいの牧場、白糸の滝	児童 17人 保護者 15人 業界 8人
島田建設業協会管内の道路における交通安全運動 (静岡県交通安全対策協議会主催)	9月21日～30日	島田建設業協会管内4市2町の道路	業界 260人
道路啓開初動対応確認訓練への参加 (静岡県中部地域道路啓開検討会主催)	10月10日	国土交通省静岡国道事務所との協定割付区間	業界 3社
高校生インターンシップ 島田工業高等学校2年生 (島田建設業協会)	10月15日～17日	島田建設業協会会員企業13社	生徒 46人
高校生の工事現場見学会 磐田農業高校環境科学科2年生 (袋井建設業協会)	12月13日	袋井市湊防潮堤工事現場	生徒 39人
献血活動 (袋井建設業協会)	5月23日、9月12日	袋井建設業協会館駐車場	業界 78人
道路・河川の除草・清掃活動 (袋井建設業協会)	6月6日～9月27日	袋井建設業協会管内4市1町の道路・河川区域	業界 633人
親子現場見学会 (袋井建設業協会)	8月6日	磐田市駒場防潮堤建設現場、航空自衛隊浜松基地「エアパーク」ほか	総数 53人 親子 38人
グリーンウェア活動 (袋井建設業協会)	6月1日、10月19日	浅羽海岸松林植樹地	業界 14人
浜松市土木復旧部道路啓開実働訓練 (浜松建設業協会)	11月1日	新都田市民サービスセンター北側敷地	150人
高校生現場見学会(浜松建設業協会) 浜松工業高等学校建築科2年生	12月4日	浜北文化センター大規模改修工事現場	40人
はままつ建設フェスタ2024(浜松市との共催)(浜松建設業協会)	12月14日	浜松城公園本丸南広場	840人
道路河川等の除草・清掃活動 (浜松建設業協会)	8月1日	安間川、馬込川、権現谷川、細江浜北線、雄踏亀崎細原線ほか	150人
災害危険箇所調査 (天竜建設業協会)	5月～6月	浜松市天竜区内道路・河川	業界 28社
道路愛護奉仕活動 (天竜建設業協会)	7月25日、8月28日	浜松市天竜区内 国・県道(国道152号線、県道小松天竜川停車場線ほか)計6路線	業界 64人 (29社)
静岡県立天竜高校 森林・環境科2年生「総合実習」への講師派遣(L型擁壁設置工事施工、生コン工場見学)(天竜建設業協会)	9月11日～10月23日(全5回)	静岡県立天竜高校敷地内ほか	業界 10人 (各回2人) 生徒 7人
夏休み親子現場見学会 (天竜建設業協会)	8月7日	御前崎港、掛川花鳥園	11組28人

愛知県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
ラジオ放送を媒体とした広報活動	R6年11月2日 R7年10月25日 までの毎週土曜日	CBCラジオ局内 (名古屋市中区新栄)	総数延べ100人 業界関係者 延べ 96人 一般 4人
高校生土のうづくり授業 県立西春高等学校1年生 県立岡崎工科高等学校 都市工学科1～3年生 県立阿久比高等学校2年生	11月7日 10月7日 10月27日	各高等学校グラウンド	総数延べ966人 業界関係者96人 (委員・会員企業) 学校関係者850人 (生徒・教職員) 自治体関係者20人 (愛知県)
高校生現場見学会 県立碧南工科高等学校 建築デザイン科2年生 県立一宮工科高等学校 建築デザイン・都市工学科1年生 県立愛西工科高等学校 建築デザイン科2年生 県立稲沢緑風館高等学校 農業土木科1年生 県立猿投農林高等学校 環境デザイン科1年生 県立一宮工科高等学校 建築デザイン・都市工学科1年生	12月4日 12月6日 12月10日 9月17日 10月30日 10月31日	県内土木・建築工事現場	総数延べ186人 生徒 174人 教職員 12人
高校生出前授業(座学) 建設業の魅力・特徴 建設業のやりがい 建設業のやりがい	3月6日 9月18日 10月3日	県立愛西工科高等学校 建築デザイン科1年生 県立稲沢緑風館高等学校 農業土木科2年生 県立一宮工科高等学校 建築デザイン・都市工学科1年生	総数延べ135人 生徒 117人 教職員 12人 業界関係者 6人
ボランティア清掃(名古屋市)	5月22日	矢場公園一帯 (名古屋市中区栄)	総数 13人 委員会委員8人 事務局 2人 報道機関 3人

三重県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
河川愛護月間に伴う員弁川河川清掃(桑名建設事務所、桑員河川漁業協同組合、FG会との共催)(桑員支部)	7月18日	桑名市からいなべ市藤原町までの員弁川堤防・河川敷	82人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生出前授業・現場見学会（県土整備部、桑名市との共催） 津田学園高等学校 1年生 （桑員支部）	9月10日	桑名駅周辺整備事務所、 桑名駅自由通路・駅前広場、 鍋田川干拓周辺	42人 建設業協会会員 9人 県土整備部職員 3人 桑名駅周辺整備事務所職員 3人 教員 2人 生徒 25人
高校生出前授業（県土整備部との共催） いなべ総合学園高等学校 2年生 （桑員支部）	10月8日	いなべ総合学園高等学校	約30人 建設業協会会員 18人 県土整備部職員 15人 生徒 15人
揖斐川右岸河口付近環境美化活動 （桑員支部）	10月23日	柿安コミュニティーパークと その堤防付近	43人 建設業協会会員 42人 桑名市議会議員 1人
令和6年度 菰野町文化祭 参加協力 （四日市支部）	11月3日	菰野町民センター	会員4社7人
令和6年度 四日市中央工業高校 インターンシップ事業 実施 （四日市支部）	11月6日～8日 （3日間）	会員企業：28社	都市工学科 2年生 34人
令和6年度 四日市市立塩浜小学校 出前授業実施 （四日市支部）	11月27日	塩浜小学校	会員12社16人 4年生 22人 教員 2人
令和6年度 菰野町立朝上小学校 出前授業実施 （四日市支部）	12月5日	田光川砂防堰堤メンテナンス工事	会員1社10人 4年生 63人 教員 2人
令和6年度 四日市市立海蔵小学校 出前授業実施 （四日市支部）	12月10日	三滝新川河川改修工事	会員3社15人 5年生 94人 教員 3人
海星高校 出前授業実施 （四日市支部）	12月20日 1月27日 （全2日）	海星高校 4階 多目的ホール	会員14社20人 1年生 98人 教員 4人
令和6年度 四日市中央工業高校 都市工学科 建設業界説明会実施 （四日市支部）	1月14日、21日 28日 2月25日 （全4日）	三重県立四日市中央工業高校 都市工学科棟 教室	2年生 40人 会員21社42人
令和6年度 三重県立四日市工業高校 建築科 出前授業実施 （四日市支部）	2月20日	三重県立四日市工業高校 建築科 教室	会員7社7人 生徒 38人
令和7年度 四日市工業高校 建築科 インターンシップ事業実施 （四日市支部）	7月22日～8月2日 の2日間	会員企業：3社	建築科2年生3人
令和7年度 建設業界向け家畜伝染病防疫研修会参加 （四日市支部）	10月6日	三重県鈴鹿庁舎	会員22社25人
令和7年度 道路美化ボランティア活動実施 （四日市支部）	10月9日	四日市地区 県道富田山城線（四日市東インター付近） 菰野地区 三重県民の森遊歩道	会員48社89人 会員 5社12人
令和6年度 四日市市空き家無料相談会 参加協力 （四日市支部）	10月26日	四日市市総合会館	会員 2社2人
ふれあいの道事業 （清掃活動） （鈴鹿支部）	11月8日 9月8日 10月10日	鈴鹿環状線（中央道路） 1.2km区間	業界 30人
花と絆のプロジェクト （鈴鹿支部）	2月22日	県道三行庄野線（住吉町） ダイセーフオレストパーク	業界 10人 鈴鹿建設事務所 20人 市役所 10人 自治会 30人
亀山高校出前事業 （鈴鹿支部）	6月11日	三重県立亀山高校	業界 12人 県 5人 教諭 5人 生徒 39人
令和7年度鈴鹿市防災訓練 （白子地区地震防災訓練） （鈴鹿支部）	9月23日	江島総合スポーツ公園	業界 15人 市役所 30人 自治会・市民 50人
清掃活動 （亀山支部）	5月23日	主要地方道 亀山白山線 一般地方道 亀山城跡線 L=1.9km	16人
清掃活動 （亀山支部）	7月18日	主要地方道 亀山白山線 一般地方道 亀山城跡線 L=1.9km	15人
清掃活動 （亀山支部）	10月6日	主要地方道 亀山白山線 一般地方道 亀山城跡線 L=1.9km	17人
防災支援活動（市との連携） 亀山市水防訓練への参加 （亀山支部）	5月25日	亀山市関町	14人
高校生建設現場見学会 津工業高校建設工学科 1年生 （津支部）	11月7日	県人権センター本館改修工事現場 藤方第2雨水幹線築造工事現場	50人
白塚地区海岸清掃活動 （津支部）	7月5日	白塚地区海岸	52人
環境（道路美化）活動 県道道路及び路肩に投棄されているゴミ等収集撤去清掃作業 （一志支部）	7月9日	県道白山小津線 津市白山町関ノ宮から津市一志町波瀬	17人
環境（道路美化）活動 国道道路及び路肩に投棄されているゴミ等収集撤去清掃作業 （一志支部）	10月8日	国道165号線 津市久居北口町から津市久居小戸木	12人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
出前授業 津市立川口小学校の4年・5年・6年生 建設業の重要性及びAI等の導入による近年の新技术の紹介 (一志支部)	9月26日	津市立川口小学校会議室 及び運動場 津市白山町川口	4年生 4人 5年生 10人 6年生 13人 教職員 4人 計 31人
「第63回 氏郷まつり」での“のってみよう 建設体験ゾーン”出店 (松阪支部)	11月3日	松阪市新町	人出:約18万人 松阪支部青年部 12人
出前授業 学校法人三重高等学校 (松阪支部)	9月9日	松阪市久保町 (三重高等学校)	生徒 200人 支部会員 5人
「第53回 愛宕川・神道川一斉清掃デー」(清掃回収廃棄物の運搬) (松阪支部)	9月28日	松阪市内 (愛宕川、神道川周辺)	市民約2千人 支部会員 8人 (トラック8台)
出前授業 三重県立久居農林高等学校 (松阪支部)	10月9日	津市久居東鷹跡町 (久居農林高等学校)	生徒 30人 支部会員 20人
出前授業 三重県立飯南高等学校 (第1回) (松阪支部)	10月3日	松阪市飯南町 (飯南高等学校)	生徒 42人 支部会員 7人
出前授業 三重県立飯南高等学校 (第2回) (松阪支部)	10月17日	松阪市飯南町 (国道368号仁柿バイパス)	生徒 42人 支部会員 17人
五十鈴川河川清掃奉仕活動 (伊勢支部)	12月13日	伊勢市宇治館町 地内ほか 五十鈴川河川敷 (駐車場含む) 600mの区間 (両岸)	協会員 80人
6年度道路清掃美化ボランティア活動 2回実施 (志摩支部)	①11月8日 ②2月26日	県道128号パールロード 志摩スペイン村一鳥羽面白展望台	①23人 ②22人
みえ花と絆プロジェクト 2回実施 (志摩支部)	①6月19日 ②10月29日	①パールロード相差駐車場 ②磯部ステーション	①50人 ②70人
7年度道路清掃美化ボランティア活動 2回実施 (志摩支部)	10月23日	一般国道167号 鳥羽ぎゅうとらーおおむ岩トンネル	22人
第44回全国豊かな海づくり大会開催50日前イベント オースタムフェスタin Shima (志摩支部)	9月20日	阿児アリーナ	スタッフ60人 来場者約1万人
花植えイベント (みえ花と絆プロジェクト) (三重県伊賀建設事務所、阿保地区自治協と共催) (伊賀支部)	11月30日	伊賀市阿保地区 国道422号交差点	伊賀建設 20人 自治協 10人 協会 8人
伊賀地区高校進路教諭との交流会 若手社員インタビュー、意見交換会 (三重県県土整備部と共催) (伊賀支部)	12月4日	名張市 名張高等学校 大会議室	学校関係者 進路教諭等 6人 協会 15人 三重県県土整備部 3人
高校生 現場見学会 三重県立あけぼの学園高等学校1年生フィールドワーク (伊賀支部)	12月6日	伊賀市上神戸 上神戸地区河川改修工事現場	学校関係者 生徒 11人 教諭 1人 協会 5人
高校生 地元企業説明会 (伊賀公共職業安定所 主催) 三重県立あけぼの学園高等学校 (伊賀支部)	3月12日	伊賀市川東 三重県立あけぼの学園高等学校	1,2年生114人 協会 1人
花植えイベント (みえ花と絆プロジェクト) (三重県伊賀建設事務所、阿保地区自治協と共催) (伊賀支部)	6月7日	伊賀市阿保地区 国道422号交差点、近鉄青山町駅	伊賀建設 20人 自治協 10人 協会 10人
道路美化ボランティア活動 道路路肩の清掃、可燃物、不燃物等収集 (伊賀支部)	9月8日	伊賀市内、名張市内の主要道路 7箇所	協会41社52人
小学校 親子向け担い手確保事業 伊賀市立大山田小学校 生徒の保護者及び5・6年生 PTA環境整備支援 及び 出前授業 (伊賀支部)	8月27日 9月2日	伊賀市平田 伊賀市立大山田小学校	保護者 60人 生徒 84人 教員 15人 協会 24人
小学校 親子向け担い手確保事業 伊賀市立成和東小学校 生徒の保護者及び5・6年生 PTA環境整備支援 及び 出前授業 (伊賀支部)	9月27日 10月14日	伊賀市猪田 伊賀市立成和東小学校	保護者 50人 生徒 31人 教員 15人 協会 20人
高校生 出前授業 三重県立伊賀白鳳高等学校 建築デザイン科2年生 インターロッキング工事施工 実演 (伊賀支部)	10月20日	伊賀市緑ヶ丘西町 伊賀白鳳高等学校 植栽跡地	学校関係者 生徒 22人 教諭 5人 協会 8人
道路美化ボランティア活動 (尾鷲支部)	7月30日	三戸紀伊長島停車場線、相賀停車場線、須賀港相賀停車場線、矢口浦上里線、南浦海山線 (紀北町内)	32人 (協会関係者)
道路美化ボランティア活動 (尾鷲支部)	8月1日	県道中井浦九鬼線 八幡大橋から中川大橋まで800m (尾鷲市内)	14人 (協会関係者)
出前授業・現場見学会 尾鷲高等学校 システム工学科1年生 (尾鷲支部)	10月29日	尾鷲高等学校 (尾鷲市内)、 一般国道422号 (下地工区) 道路改良 (下地トンネル (仮称)) 工事現場、一般国道422号 (下地工区) 道路改良工事現場 (紀北町内)	45人 (生徒 13人) (引率者2人) (協会関係者30人)
建設現場見学会 三重県立木本高等学校 総合学科2年4組 (熊野支部)	1月23日	熊野矢野川線 (熊野市紀和町)	27人
出前授業 三重県立熊野青藍高等学校 紀南校舎1年生 (熊野支部)	6月19日	三重県立熊野青藍高等学校 紀南校舎1年予備B教室	29人

富山県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
入善漁港付近の海岸清掃 (入善支部)	8月22日	入善町	青年部 12人
中学生を対象に建設業の魅力を伝えるワークショップを開催 (魚津支部)	6月30日、9月30日	滑川市	青年部 19人 中学生 29人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
大岩不動橋上流（大岩親水公園）除草、空き缶拾い、稚魚放流（立山支部）	7月29日	上市町	青年部 21人 一般 11人 子供 32人
越中八尾「おわら風の盆」開催地の事前整備事業（駐車場の草刈、集草、安全柵の設置）（富山支部）	8月20日	富山市	青年部 26人 一般 50人
高岡古城公園の清掃活動（高岡支部）	7月25日	高岡市	青年部 20人 一般 130人
ショッピングセンターでの啓発活動と周辺の清掃（砺波支部）	7月29日	南砺市	青年部 22人
けんせつ祭りinひみ（氷見支部）	8月2日	氷見市	青年部 15人 一般 500人
アウトレット北陸小矢部周辺の国道、県道及び市道の清掃活動（小矢部支部）	7月28日	小矢部市	青年部 15人 一般 37人
現場見学会（南砺福野高校 農業環境科）	7月8日	・東海北陸自動車道4車線化事業 4車線化PR館・袴腰トンネル南坑口仮橋 ・利賀ダム工事 地盤変動域（利賀ダム本体右岸側）・湖面橋	2年生 30人 3年生 2人 教諭 2人
現場見学会（富山工業高校 土木工学科）	9月5日	・富山駅付近連続立体交差事業 ・国道8号線 豊田新屋立体事業 ・国営農地再編整備事業「水橋地区」	2年生 36人 教諭 2人
現場見学会（高岡工芸高校 土木環境科）	9月19日	・都市計画道路高岡駅波岡線電線共同溝整備事業 ・六家立体事業 ・氷見災害復旧工事	2年生 21人 教諭 2人
現場見学会（富山工業高校 建築工学科）	10月15日	・（仮称）水橋地区義務教育学校整備事業 ・富山県立聴覚総合支援学校長寿化改修工事 ・北陸銀行アルプスビル別館増築工事	2年生 36人 教諭 2人
現場見学会（高岡工芸高校 建築科）	10月21日	・高岡西部中学校区小中一貫校校舎増築及び改修工事 ・富山県立砺波工業高等学校長寿化改修工事 ・富山大学附属病院MRI棟等新築その他工事	2年生 37人 教諭 2人
現場見学会（桜井高校 土木科）	11月18日	・入善黒部バイパス事業 ・令和7年度浦山縦工工事 ・国営農地再編整備事業「水橋地区」	2年生 2人 教諭 2人
大学生と若手技術者・建設ディレクター等による現場見学会（富山大学都市デザイン学部）	10月1日	・国道41号大沢野富山南道路事業 福居地区道路改良その4工事 ・富山市立義務教育学校水橋学園新築工事	1年生 19人
大学生と若手技術者・建設ディレクター等による意見交換会（富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科）	11月14日	・技術者（土木、建築）、建設ディレクター等の仕事内容、労働環境等に関する説明 ・若手技術者、兼熱ディレクター等との意見交換	2年生 63人

石川県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「地域安全対策推進協定」の締結 内容：石川県建設業協会と石川県警察が「地域安全対策推進協定」を締結協定に基づき、車両や重機にマグネットシートを貼り、登下校する子供たちの安全や防犯を目的に「ながら見守り活動」の開始。	5月9日	締結式：建設総合センター 活動場所：石川県内	締結式：10人 活動： 会員企業206社 協会員 県協会 各地区協会
企業ガイダンス（加賀建設業協会） 県立小松工業高校2年生	12月17日	石川県立小松工業高校	8人
献血奉仕活動（加賀建設業協会）	5月29日	加賀建設業会館	65人
建設業界説明会 加賀市立片山津中学校1年生（土木委員会）（加賀建設業協会）	10月23日	加賀市立片山津中学校	10人
園児とのふれあい活動（土木委員会）（加賀建設業協会）	10月9日	聖光保育園	21人
「河川点検パトロール」 災害等を未然に防止するため、管内4河川で堤防・護岸の点検パトロールを実施し、施設等の状況について県土木に提出	3月13日	羽咋郡宝達志水町～羽咋郡志賀町富来（管内4河川）	12人
「世界の風の祭典」と合わせ、自動車専用道路の「のと里山海道」の一部を通行止にして、歩行者に開放するイベント『歩いてみよう！「のと里山海道」』を開催し、建設業の役割を紹介するブースを設置。（県土木と共催）（羽咋都市建設業協会）	5月11日	「のと里山海道」河北郡内灘町千鳥台交差点～大根布JCT間約1.5km	（行政、業界関係者） 100人
建設業に理解と関心を深めてもらうため、「小学性の見た建設の絵」コンクールを開催（8校から応募作品85）（羽咋都市建設業協会）	（募集） 7月20日～9月30日 （展示会） 10月16日～11月18日	羽咋都市小学校8校で開催 1市2町の公共施設4箇所で開催	85人
建設産業に理解を深めてもらうため、小学生以下を対象に「建機械試乗会」を開催。（はくい福祉祭りと共催）（羽咋都市建設業協会）	10月5日	羽咋市総合体育館周辺広場	（福祉祭り来場者） 約8000人 100人

福井県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
川守・道守清掃活動（福井地区建設業会）	7月22日 7月28日 8月2日 8月24日 8月25日	県道鯖江・美山線足羽川左岸 九頭竜川河川敷 足羽川河川敷 鷹巣・鮎川・蒲生海水浴場 九頭竜川河川敷	52人 61人 75人 142人 22人
道路清掃活動（鯖江建設業会）	9月12日	旧国道8号（鯖江市下司町～鳥羽町）	37人
清掃ボランティア活動（敦賀建設業協会）	6月27日	敦賀市赤崎海岸	55人
社会奉仕清掃活動（越前建設業協会）	11月25日	宮崎コミュニティー周辺・陶芸村周辺	45人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
道路清掃奉仕活動 (若狭地区建設業会)	10月7日	一般県道犬見崎和田線 約2km	86人
中学生の職場体験			
越前町立朝日中学校2年生	5月15日、16日	本社・吉瀬川ダム建設工事・地域交流センター建設工事	8人
越前町立越前中学校2年生	5月28日、29日	//	2人
(越前建設業協会)			
高校生の建設現場見学会			
敦賀工業高校 建築システム科1年生 (敦賀建設業協会)	11月5日	敦賀市筋生野 ほ場整備事業現場	38人
令和7年度 敦賀市水防訓練			
大型土のう製作、設置 (敦賀建設業協会)	5月31日	敦賀市古田刈公園	10人
ナイトイルミネーションの実施 (若狭地区建設業会)	12月13日～25日	若狭地区建設会館駐車場	500人
重機乗車体験会 (若狭地区建設業会)	12月18日	若狭地区建設会館駐車場	46人

滋賀県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
滋賀県道路啓開訓練 (滋賀県建設業協会)	11月16日	朽木中学校	本部 4人 高島支部 46人
令和7年度大津地域水防訓練 (滋賀県建設業協会)	5月21日	大戸川河川緑地	本部 2人 大津支部 33人
「けんせつみらいフェスタ2025 (青年部・広報委員会)」 (県、建産連との共同) (滋賀県建設業協会)	9月20日	希望が丘文化公園	約4,600人
「令和7年度道路ふれあい月間」にともなう道路清掃活動 (大津支部)	8月2日	県道：大津能登川長浜線 (京滋バイパス合流部～市界の約2.8km区間)	71人
令和7年度 大津地域水防訓練 (滋賀県、大津市主催) (大津支部)			
訓練概要：準備工 土のうづくり 水防工 積土のう工、釜段工、月の輪工、大型土のう工	5月18日	大戸川河川緑地 (大津市石居町1丁目3)	33人
大規模地震訓練 (湖南支部)	12月19日	草津・栗東・守山・野洲市内	40人
湖南広域消防局連携訓練 (湖南支部)	1月21日	湖南広域消防局北消防署出張所	41人
水害対策訓練 (湖南支部)	6月4日	草津・栗東・守山・野洲市内	45人
令和7年度合同災害訓練 (東近江支部)	7月30日	東近江市立永源寺中学校	14人
令和7年度支部地域貢献活動 (樹木の枝払い) (東近江支部)	10月29日	東近江市立中野むくのき幼稚園	19人
令和7年度支部地域貢献活動 (いも掘りわくわく体験2025) (東近江支部)	10月29日	土田建材株式会社所有の畑	29人
「県下一斉清掃運動 (湖東地区)」 (彦根支部)	12月5日	南三ツ谷公園 湖岸	47人
第2回湖東土木事務所「勤務時間内」大規模地震発生時の初動活動訓練 (彦根支部)	1月27日	湖東土木事務所管内域	36人
わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会100日前おもてなし一斉清掃 「びわ湖を美しくする運動 (湖東地区)」 (彦根支部)	6月20日	彦根市松原水泳場	47人
第1回湖東土木事務所「勤務時間内」大規模地震発生時の初動活動訓練 (彦根支部)	7月11日	湖東土木事務所管内域	36人
彦根市防災訓練 (彦根支部)	8月30日	彦根市立東中学校	40人
長浜市「県下一斉清掃」清掃活動 (長浜支部)	11月20日	長浜市高橋町 さいかち浜の琵琶湖岸等	47人
湖北環境事務所「環境美化の日」清掃活動 (長浜支部)	11月29日	長浜市 豊公園自由広場を中心とした琵琶湖岸等	42人
長浜土木事務所との「災害時における土木施設の応援復旧に係る初動活動等への応援協力に関する協定書」による「大規模地震発生時の時間内初動訓練」 (長浜支部)	2月25日	長浜土木事務所管内	54社
長浜市「ごみゼロの日」清掃活動 (長浜支部)	5月29日	長浜市田村町 さいかち浜の琵琶湖岸等	48人
長浜市「琵琶湖・余呉湖おもてなし一斉清掃」清掃活動 (長浜支部)	7月1日	長浜市高橋町 さいかち浜の琵琶湖岸等	44人
長浜土木事務所との「災害時における土木施設の応援復旧に係る初動活動等への応援協力に関する協定書」による「大規模地震発生時の時間内初動訓練」 (長浜支部)	9月16日	長浜土木事務所管内	55社
米原市総合防災訓練 (長浜支部)	10月26日	米原市 伊吹薬草の里文化センター	40人
令和6年度 長浜市災害時関係機関連携訓練 (伊香支部)	11月14日		17人
令和6年度 滋賀県勤務時間内大規模地震初動活動訓練 (伊香支部)	11月20日	長浜土木事務所木之本支所 建設業協会伊香支部事務所 長浜市木之本町赤尾 (被害想定箇所) 管内パトロール	15人
令和6年度 滋賀県「環境美化の日」環境美化活動 (伊香支部)	11月29日	豊公園	15人
令和7年度 長浜市「ごみゼロ大作戦」 (伊香支部)	6月4日	県道塩津浜飯浦線	20人
令和7年度 長浜市「琵琶湖・余呉湖おもてなし一斉清掃」 (伊香支部)	7月1日	余呉湖ビジターセンター	17人
高時小学校運動場整備 (伊香支部)	7月12日	長浜市立高時小学校	18人
令和7年度 滋賀県勤務時間内大規模地震初動活動訓練 (伊香支部)	9月12日	長浜土木事務所木之本支所 建設業協会伊香支部事務所 長浜市西浅井町小山 (被害想定箇所) 管内パトロール	13人
滋賀県道路啓開訓練 (高島支部)	11月16日	朽木中学校グラウンド	46人
「環境美化の日」環境美化活動 (高島支部)	12月4日	高島市今津町琵琶湖岸	70人
おもてなし一斉清掃 (高島支部)	7月4日	高島市今津町琵琶湖岸	61人
勤務時間内大規模地震初動活動訓練 (高島支部)	7月29日	高島市内	49人
教育施設グラウンド整備 (高島支部)	8月2日	マキノ東小学校、安曇川高等学校	52人
湖南市立菩提寺北小学校グラウンド整備事業 (甲賀支部)	11月15日	湖南市立菩提寺北小学校グラウンド	61人
出前授業 (担い手育成事業) 湖南市立岩根小学校4年生 (甲賀支部青年部会)	11月28日	湖南市立岩根小学校	8人
出前授業 (担い手育成事業) 甲賀市立水口小学校4年生 (甲賀支部青年部会)	12月3日	甲賀市立水口小学校	9人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
出前授業（担い手育成事業） 座談会 滋賀県立水口東高等学校 (甲賀支部青年部会)	12月4日	滋賀県立水口東高校	3人
中学生の職場体験学習受け入れ 甲賀市立城山中学校2年生(甲賀支部青年部会・㈱市原建機)	6月17日～19日	令和6年度第K25-2号 金勝川広域河川改修工事(栗東市川辺 他)	5人
みなくち子どもの森除草作業 (甲賀支部青年部会)(甲賀支部)	7月7日	みなくち子どもの森 施設内 タンポポの丘一帯	70人
甲賀市立佐山小学校グラウンド整備事業 (甲賀支部青年部・株式会社 藤橋開発)	8月5日	甲賀市立佐山小学校	1人
甲賀市立信楽中学校グラウンド整備事業 (甲賀支部)	9月3日	甲賀市立信楽中学校	67人
甲賀市立水口小学校グラウンド整備事業 (甲賀支部青年部・株式会社 市原建機)	9月23日	甲賀市立水口小学校	1人
湖南市立甲西北中学校グラウンド整備事業 (甲賀支部)	10月9日	湖南市立甲西北中学校	52人

京都府

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
京都市立工学院高等インターンシップ	11月14日～16日 うち3日	京都府内	生徒 24人
京都府建設業魅力向上プロジェクト【京都府主催に協力】 イオンモールほかでブースを設け出展	11月23日、8月2日 9月13日	京都府内	不特定多数
京都府除雪機械出動式 (福知山支部)	11月25日	福知山除雪機械基地	小学生 70人
京都ものづくりフェア2024【京都府主催に協力】 会場にブースを設け出展	11月9日	京都府総合見本市会館 京都パルスプラザ	協会ブースに 不特定多数
第43回愛の献血 (京都支部青年部会)	12月13日	京都市役所前広場	40人
福祉施設あやべ作業所への餅つき訪問	12月13日	福祉施設あやべ作業所	入居者対象
京都府立宮津天橋高等学校現場見学会	12月25日 8月19日	京都府内	生徒 27人 25人
京都府立宮津天橋高等学校主催 「第26回小学生建築デザイン展」後援 (宮津支部)	2月9日	京都府立宮津天橋高等学校	
第18回桂川流域クリーン大作戦 (京都支部)	2月28日	京都府 桂川流域	会員 25人
京都市立京都工学院高等学校 現場見学会	1月20日	新名神高速道路 宇治田原トンネル	生徒 27人
京都府立宮津天橋高等学校インターンシップ	7月28日～31日 うち2日	京都府内	生徒 25人
京都府立農芸高等学校インターンシップ	8月19日～22日 うち3日	京都府内	生徒 9人
道路クリーン作戦 (綾部支部・舞鶴支部・宮津支部)	舞鶴:8月2日 綾部:8月9日 宮津:8月8日	綾部支部、舞鶴支部、宮津支部内	
令和6年度道路ふれあい月間 自主啓発運動 マグネットシート寄贈	8月19日	山城南土木事務所	
令和7年度 京都府総合防災事業【京都府主催に協力】 展示車両、ブースほか	8月31日	京都府立宮津海洋高等学校	不特定多数

大阪府

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の現場見学会 ・大阪府立都島工業高等学校都市工学科1年生 ・大阪府立布施工科高等学校建築設備系設備システム専科2年生 ・堺市立堺高等学校建築インテリア創造科2年生 ・大阪府立西野田工科高等学校建築都市工学系都市工学専科2年生 ・大阪府立工芸高等学校建築デザイン科1年生 ・大阪府立布施工科高等学校建築設備系建築システム専科2年生 ・大阪府立西野田高等学校建築都市工学系建築システム2年生	12月23日 1月17日 1月24日 1月27日 1月29日 2月5日 2月10日	大和川下流域下水道今池水みらいセンター汚水分配槽築造工事(R5-1) なにわ筋線西本町駅部土木工事 大阪府営堺宮園第3期高層住宅(建て替え)新築工事(第1・2工区) 一級河川履屋川加納元町調節池築造工事(R4本體工) 大阪信用金庫「本體建替え」計画 枚方市禁野小学校整備事業 茨田中学校増築その他工事	48人 17人 37人 15人 39人 30人 10人
OSAKAジョブフェア (主催:大阪府。大学生等向け業界研究会・合同企業説明会)	2月7日	ハービスホール	約740人
YouTubeショート動画の配信	4月3日 6月5日 10月24日 10月31日	YouTube https://www.youtube.com/@o-wave_jp	6人 (制作人数)
大阪府地域防災総合演習 (主催:大阪府・大阪市・近畿地方整備局)	5月24日	大阪市旭区太子橋1丁目地先 淀川左岸河川敷(豊里大橋下流)	約50の機関・団体 関係者約900人 見学者約200人
リコチャレ2025プログラム「女性エンジニアと防災について学ぼう！」 (土木技術者女性の会西日本支部との共催)	7月27日	津波・高潮ステーション	親子10組23人
建設業界研究博 (大学生向け企業説明会(インターンシップ情報等))	8月8日	梅田クリスタルホール	学生 52人 企業 40社

兵庫県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
全県一斉クリーンアップ活動の実施 県下の道路、河川、公園等におけるゴミ・投棄物の回収、除草、清掃等	R6年11月1日～ R7年10月31日 (支部ごとに実施日を設定)	県内各地	総数1,420人
地域安全まちづくり活動の推進 会員企業に防犯活動のリーダーとなる「防犯責任者」を設置 子ども達が安全で安心して暮らせる地域づくりを行うための「子ども110番の車」によるパトロール事業の実施	通年実施	県内各地	595社 1,123台

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
第17回建設ふれあいまつりの開催 子ども達にもものづくりの楽しさに触れ、ラジコン重機の操作、建設重機への試乗、空冷服の着用等を通じて建設業を身近に体験	8月2日	兵庫建設会館	親子約350人
第50回にしのみや市民祭りへの参加 建設ブースを開設し、災害時における建設業界の役割・活動状況のパネル展示、建設機械の試乗	10月25日	西宮市役所周辺	建設ブース来場者 約2,000人
まちづくり業界研究大作戦（イベント）の実施 就活中の学生等を対象に会員企業による、まちづくり業界で働く魅力についての理解促進を図るブース出展セミナー	11月17日	神戸サンボーホール	出展 30社 学生 183人
小学生・中学生の建設現場見学（体験）ツアー等 中郷遊水地整備事業工事現場	11月19日	豊岡市	小学生と保護者 152人
ひょうご楽市楽座（重機イルミネーションの展示・乗車体験）	5月10日～11日	尼崎市	約200人
北播磨インフラツアー（工事現場見学、重機乗車体験）	7月23日、31日	加東市・三木市	約80人
未来を創る！建設のチカラ展（建設機器の遠隔操作、動画放映等）	7月23日～8月3日	神戸市	1,320人
東はりまインフラツアー（工事現場見学、重機乗車体験）	9月20日	加古川市・明石市	約40人
東播磨道の開通記念ウォーキング（重機乗車体験、PR動画）	9月28日	東播磨道小野ランプ上	約1,000人
工業高校等建設サマーセミナー（体験実習）			
新川・東川総合排水機場本体工事（下部工）・市営江上町住宅立替工事ほか	8月5日	西宮市	2校 35人
アルファリアス西二見新築工事、兵庫耐震工学研究センターの見学ほか	8月7日～8日	明石市・三木市	3校 38人
豊岡市竹野町鬼神急傾斜地崩壊対策工事	9月9日	豊岡市	1校 35人

3.

和歌山県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生向け見学会 建設業者訪問 現場見学会支援 バス提供 紀北農芸高校環境工学科	11月7日	橋本市 工事現場	20人
建設技術展見学 バス提供 和歌山工業高校土木科	11月8日	インテックス大阪	80人
ICT建機体験会 バス提供 和歌山工業高校土木科1年生	12月5日	和歌山市内	40人
大阪関西万博 木造建築物見学会 バス提供 地元民間企業より入場券提供 和歌山工業高校建築科	5月2日	大阪万博会場	80人
建築建設 生産性向上フェア見学会 バス提供 和歌山工業高校建築科	7月10日	インテックス大阪	80人
建設技術展見学 バス提供 和歌山工業高校土木科2年生	10月31日	インテックス大阪	40人
紀北農芸高校との交流会および建設技術展見学会 紀北農芸高校環境工学科土木コース1、2年生 (和歌山県県土整備部技術調査課との共催) (伊都支部)	10月31日	インテックス大阪 (交流会はセンタービル会議室 建設技術展見学は6号館)	生徒 8人 先生 1人 伊都建設業協会 11人 和歌山県技術 調査課 3人
紀の川河川清掃 (和歌山地区) (紀ノ川漁業協同組合主催) (和歌山市支部)	7月16日	川辺橋右岸下 (和歌山市永穂地内)	約70人
第77回わかやま商まつり 出展ブース「ふれあい広場 建設機械に乗ろう」 (和歌山商工会議所主催) (和歌山市支部)	10月11日～12日	和歌山ビックホール	約400人 (小学生以下、保護者)
まちなかおもてなし大清掃 (和歌山市自治振興課主催) (和歌山市支部)	10月26日	和歌山市新内エリア	約160人 (協会員22社)
建設業体験会 (青年部) 小学3～6年生対象に建設業の仕事をして 給料をもらい買い物することを体験 (日高支部)	11月2日	御坊市立体育館	14人
建設業体験会 (青年部) 参加者 270人 (日高支部)	11月17日	印南漁港周辺	19人
南部川河川清掃 (みなべ町支部) (日高支部)	11月19日	南部川河川敷	25社25人
清掃、整地作業 (みなべ町支部) (日高支部)	11月23日～24日	南部川河川敷	20社30人
西川堤防除草作業 (美浜町支部) 除草、運搬 重機3台、ダンプトラック6台 (日高支部)	1月15日	西川河川敷	9社
献血活動 (美浜町支部) (日高支部)	3月21日	美浜町役場駐車場	6社
町道上志賀向線清掃作業 (日高町支部) 重機2台、ダンプトラック1台 (日高支部)	6月24日	町道上志賀向線周辺	10社30人
産湯海水浴場 施設整備 海開きを前に休憩施設を整備 休憩施設の維持管理 休憩施設の撤去 (日高支部)	7月8日 7月8日～8月25日 8月25日	産湯海水浴場	10社35人 必要人数で対応 10社35人
花火会場清掃作業 (御坊市支部) 除草、整地作業 9月17日 御坊市長より感謝状 (日高支部)	8月18日～19日	日高川河川敷	18社56人 ダンプトラック 26台 重機 4台
紀州路クリーン作戦 (印南町支部) 除草、側溝清掃 (日高支部)	8月23日	印南町内一円	18社44人
紀州路クリーン作戦 (日高川町支部) 除草、支障木伐採、カーブミラー・高欄清掃 (日高支部)	8月23日	日高川町一円	39社180人
献血活動 (美浜町支部) (日高支部)	10月9日	美浜町役場駐車場	6社

都道府県建設業協会・支部、地区協会が実施したその他社会貢献活動

鳥取県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
国道交差点付近の清掃、花壇の除草・花植え (鳥取県東部建設業協会)	6月2日、7月28日 10月21日	国道9号線の鳥取市南隈交差点付近	業界延べ50人
ボランティア活動 (鳥取県八頭建設業協会)	7月18日	鳥取市河原町河原(あゆ祭会場沿線)	55人
「道の日」関連道路清掃活動 (鳥取県八頭建設業協会)	8月7日	八頭郡八頭町家地内 (郡家駅、八頭町役場、八頭庁舎周辺)	27人
みささ町かがやく子どもフェスティバル 「はたらく車大集合」における高所作業車の乗車体験 「お仕事体験」におけるミニバックホウ操縦体験 (鳥取県中部建設業協会)	12月15日	三朝町総合文化ホール前駐車場	業界 18人 一般 多数
天神川の自然環境保全及び魚類の維持増殖に向けた放流 (主催：天神川漁協、共催：鳥取県中部建設業協会)	2月26日 7月4日	一級河川天神川水系 一級河川天神川水系	業界・自治体・漁協 合計 27人 業界・自治体・漁協 合計 25人
道路「道の駅」周辺の美化清掃活動(鳥取県中部建設業協会)	5月20日 7月15日 10月7日	道の駅「ポート赤碕」及び道の駅「大栄」 道の駅「ポート赤碕」及び道の駅「大栄」 道の駅「ポート赤碕」及び道の駅「大栄」	業界 29人 業界 29人 業界 27人
園児との建設機械乗車体験 鳥取短期大学付属こども園児(鳥取県中部建設業協会青年部)	5月27日	鳥取短期大学付属こども園庭	業界 24人 園児 108人 合計 132人
倉吉農業高等学校環境会2年生の測量技術研修会 (鳥取県中部建設業協会青年部)	7月14日	琴浦町野井倉「一向平野営場」	業界 11人 生徒 8人 教師 2人 合計 21人
「道の日」道路美化活動 (鳥取県中部建設業協会青年部)	8月8日	中部総合事務所～パープルタウン	業界 18人
重機を使って書道パフォーマンス バックホウに乗ってカラーボールすくい (けんせつフェスタ2025に協力)(鳥取県中部建設業協会青年部)	10月5日	鳥取県建設技術センター	業界 10人 来場者 800人
高校生等のアスファルト舗装工事体験実習 (鳥取県中部建設業協会青年部)	10月16日 (座学) 10月20日 (実技)	鳥取県立倉吉農業高等学校地内	業界 19人 高校生 8人 人材センター訓練生 9人 教師 7人 合計 40人
避難経路確保訓練実施 道路啓開訓練(放置車両移動等) (鳥取県西部建設業協会)	11月16日	米子市「米子港」	協会員 3人 実施業者1社8人
中海・宍道湖清掃 (鳥取県西部建設業協会青年部)	6月8日	米子市「中海沿岸」	協会員青年部会 17人
米子工業高校女子生徒と女性会員の懇談会(女性の立場として、経験談などを踏まえ、高校生への就職や進路の相談及び助言を行った。) (鳥取県西部建設業協会)	6月27日	米子市「西部建設会館」	協会員女性技士 12人 女子生徒 12人 先生 1人
米子工業高校「米工祭」に合わせ、企業ブースの設置(学校側からブースの出展依頼があり)を通じて、業界のイメージアップ、地元企業に就職を希望する生徒を増加させるための魅力発信を行った。 (鳥取県西部建設業協会青年部)	9月27日	米子市「米子工業高校」	協会員青年部会 20人
河川清掃 (鳥取県日野建設業協会)	5月13日 5月15日	日野川流域(支川含む)	約150人

島根県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
第1回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 (松江地区協会青年部会)	7月23日	国道9号(宍道湖沿)の歩道・地下道	業界 46人 自治体 31人
第2回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 (松江地区協会青年部会)	11月20日	くにびきメッセ周辺道路・松江北公園	業界 44人 自治体 44人
災害警備訓練への参加 (安来地区協会)	6月6日	安来市赤江町(資材置場)	業界 4人 警察 15人 その他 10人
ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 (安来地区協会)	7月16日	中海ふれあい公園	業界 9人 自治体 4人
けんせつキッズフェスタ (安来地区協会)	10月26日	島根県安来建設業協会	業界 21人 島根県 4人 来場者300人
建設業担い手育成事業 島根県立飯南高等学校1年生対象 「中山間地域体験学習」建設業体験 (雲南地区協会)	9月10日	島根県中山間地域研究センター(島根県飯南町上米島内)	学生 12人 行政 6人 会員 14人 計 32人
「ふるさとまるごとクリーンアップ作戦」除草作業・ゴミ拾い等 (雲南地区協会)	8月8日	県道玉湯吾妻山線(全長300m)島根県雲南市大東町下阿用地内	県職員 35人 市職員 16人 会員 14人 協賛 3人 計 68人
第26回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 (仁多地区協会青年部会)	8月28日	三成公園ホッケー場周辺	会員 12人 県職員 16人
建設業絵画ポスターコンクール (出雲地区協会青年部会)	6月23日~9月20日		島根県出雲市内の小学生
出雲農林高校一日体験入学支援事業(出雲地区協会青年部会)	8月5日	出雲農林高校	

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
未来の建設ヒーローへ！ 親子で探検 建設バスツアー (出雲地区協会青年部会)	8月20日	現場見学(出雲市大社町及び斐川町) 浜山公園 総合交付金(公園)野球場改修工事第1～3期(仮称)出雲市新工業団地(斐川)造成工事・ワークショップ(出雲建設会館)	出雲市内在住の小学生4～6年生・その保護者 19組39人 青年部会員・事務局 16人
ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 (出雲地区協会青年部会)	10月8日	出雲市駅周辺	青年部会員・事務局 33人 島根県出雲県土整備事務所 20人
高校生との現場見学会・意見交換会 (出雲地区協会青年部会)	10月28日	現場見学(出雲市大社町及び斐川町) 大社日御碕線道路災害復旧工事(6災105号)第1期 斐川上島線(武部2工区)総合交付金(改築)工事(補正)第13期・意見交換会(出雲市上塩冶町)上塩冶スポーツセンター・建設機械搭乗体験(出雲市上塩冶町)上塩冶スポーツセンター横空き地	青年部会員・事務局 24人 高校生 21人 教員 2人 業界 10数人
大田市海岸を美しくする活動(一斉清掃)(大田建設業協会青年部会)	7月6日	大田市海岸	協会員 20人
家畜伝染病予防高原性取インフルエンザ鶏体埋却業務 (大田地区協会)	R6年10月31日 ～R7年2月28日	大田市富山町山中	協会員485人 (延べ人数)
当会青年部会(部会長 上原圭一)は、毎年恒例の「クリーンアップ作戦」を、川本町立川本中学校において、炎天下の中、学校周辺のフェンスに覆いかぶさった葛等を、高所作業車を用い、刈払機・チェーンソーで枝切り等を行いました(邑智地区協会)	7月22日	川本町立川本中学校	13人
ふるさとまるごとクリーンアップ作戦(浜田地区協会青年部会)	7月16日	浜田市国分町「島根県立石見海浜公園 姉ヶ浜海水浴場」	浜田県土約31人 ISP約23人 会員・事務局 23人
浜田市アダプト(清掃・美化活動)プログラム「どうどう公園」ボランティア清掃 (浜田地区協会)	8月6日	浜田市黒川町「どうどう公園」	会員・事務局 24人
秋の高津川一斉清掃 (益田地区協会)	11月10日	上流：飯田橋河川敷公園から 下流：JR山陰本線鉄橋付近まで	業界 37人
青少年育成事業(建設業のみらいへ)建設用機械の試乗や展示機械の見学 益田小学校1年生(益田地区協会青年部会)	11月13日	益田小学校グラウンド	児童 62人 先生等 6人 業界 21人
島根県ことばを育てる親の会 益田・鹿足大会 建設機械を利用したミニゲームや試乗体験の実施(益田地区協会青年部会)	12月1日	益田市民学習センター駐車場	業界 12人
益田港海岸清掃 (益田地区協会及び青年部会、益田県土整備事務所等)	7月10日	益田港海岸(高津)約500m	業界 105人 島根県等約90人
ふるさとまるごとクリーンアップ作戦 道路清掃(益田地区協会青年部会、益田県土整備事務所)	8月7日	国道191号 約1.9km	業界 15人 島根県 50人
小学校現場見学会 安田小学校3、4年生 鎌手小学校3、4年生 (益田地区協会、浜田河川国道事務所、益田市)	10月2日～3日	山陰道 三隅・益田道路事業 木部地区舗装工事 津田地区第2舗装工事	児童 44人 先生 6人 業界 20人 自治体等 6人 児童 15人 先生 5人 業界 15人 自治体等 4人
青少年育成事業(建設業のみらいへ)建設機械を利用したミニゲームや試乗体験の実施 真砂小学校 全学年(益田地区協会青年部会)	10月9日	真砂小学校グラウンド	児童 9人 先生等 5人 業界 22人
建設機械試乗体験会inひとまるフェスタへの出店 建設機械の試乗体験会(益田地区協会青年部会)	10月12日	柿本神社駐車場	業界 10人
隠岐水産高校及び隠岐養護学校 建設工事体験学習会(主に1年生生徒対象)(建設機械試乗、建設資材を用いた製作体験、角材切り体験、ドローン操作体験)(隠岐地区協会)	11月5日	飯田岸壁(隠岐の島町飯田地内)	生徒 52人 教諭 12人 業界 18人 自治体 1人 報道関係 2人 計 85人
西郷南中学校職業体験学習(1年生生徒対象)(現場見学及び建設機械試乗、バックホウ・ドローン操作体験等)(隠岐地区協会青年部会)	11月6日	ジュンテンドー西郷店新築工事現場(隠岐の島町平地内)・飯田岸壁(隠岐の島町飯田地内)	生徒 37人 教諭 2人 業界 10人 自治体 3人 報道関係 1人 計 53人
中条小学校防災学習授業(5年生児童対象)(隠岐地区協会青年部会)	2月19日	隠岐の島町立中条小学校(隠岐の島町原田)	児童 10人 教諭 2人 業界 5人 (講師含む) 自治体 4人 計 21人
西郷小学校防災学習授業(5年生児童対象)(隠岐地区協会青年部会)	2月19日	隠岐の島町立西郷小学校(隠岐の島町西町)	児童 63人 教諭 2人 業界 5人 (講師含む) 自治体 3人 計 73人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
第18回隠岐の島ウルトラマラソンへの協力（仮設トイレ設置及び土のう製作） （隠岐地区協会）	6月15日	隠岐の島町一円	仮設トイレ設置 7社 土のう製作 1社 (述べ20人)
第26回ふるさとまるごとクリーンアップ作戦（グレーチング内及び道路の清掃活動） （隠岐地区協会青年部会）	7月28日	西郷港周辺及び町道塩口宮田線	業界 11人 自治体 44人 計 55人

岡山県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
建設工事等現場見学会（岡山県との共催） 高松農業高校 農業土木科 高松農業高校 農業土木科	11月1日 11月20日	三室川ダム 東六間川排水路工事現場	35人 35人
おかやま建設企業ライブ（岡山県土木部との共催） 土木・建築系学科の高校生等を対象に建設関係企業の紹介、意見交換等を実施	1月28日	ジップアリーナ岡山	270人
社会人基礎研修 会員企業の新入社員を対象としてビジネスマナーやコミュニケーションを通じた研修を実施	4月15日～17日 5月13日～15日	三田建設技能研修センター	18人

山口県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
防府環境美化推進活動	11月27日	防府市	111人
環境美化活動（棕野緑地公園）	5月21日	周防大島町	21人
河川愛護月間行事（深川川）	6月6日～7月9日	長門市	36人
河川環境美化活動	6月20日	岩国市	45人
萩市河川海岸一斉清掃	6月29日	萩市	28人
「長門市海岸清掃の日」海岸一斉清掃	7月6日	長門市	70人
清流錦川（周南地域）一斉清掃大作戦	7月6日	岩国市	8人
道路環境美化活動	7月9日	周南市	127人
公共施設クリーンアップ作戦	7月15日	山口市	204人
三隅中地区クリーンウォーク	7月25日	長門市	3人
公共施設クリーンアップ作戦	8月8日	宇部市	167人
「道の日」クリーンアップ作戦	8月8日	下関市	28人
河川愛護月間行事（田部川）	7月18日	下関市	11人
粟野川河川公園クリーンアップ作戦	7月25日	下関市	18人
環境美化活動（道路清掃）	9月30日	柳井市	31人
公共施設クリーンアップ作戦 道路の部	10月2日	美祢市	52人
天然記念物ツルのネグラ整備	10月4日	周南市	11人

香川県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
香東川河畔公園周辺（高松市鶴市町）において、部会会員の従業員及び家族がゴミ袋と火ばしを持って清掃活動を実施。この活動は、平成9年から毎年実施しているもので、本年度28年目である。 （建築部会）	6月7日	高松市	130人
香川県土木建設会館において、献血運動を実施。献血車1台 （高松支部）	6月5日	高松市	35人
国道193号線を7つのゾーンに分けて、高松支部の会員を14班（1班5人程度）に分け道路清掃作業を実施。 Aゾーン 上天神交差点～賛州風呂の信号までの1.5km Bゾーン ローソン鹿角店信号～香川日産空港通り店までの1.5km Cゾーン 香川日産空港通り店～ネクストまでの1.5km Dゾーン ネクスト～香川総合体育館までの1.5km Eゾーン 香川総合体育館～三菱電機までの1.5km Fゾーン 三菱電機～空港線入口までの1.5km Gゾーン 空港線入口～空港までの1.7km （高松支部）	8月6日	高松市	50人
中讃建設業協同組合会館において、献血活動を実施いたしました。 （中讃支部）	7月10日	善通寺市	98人
役員、会員、青年部会員60人余りが参加予定。参加者本人は基より家族、従業員に対してもモラル、マナーアップに関心をもってもらうために、県道の清掃活動を実施。（西讃支部）	11月18日	観音寺市	60人
香川県建設業協会西讃支部会館において、（献血車1台：香川県赤十字献血センター）献血を実施した。 （西讃支部）	3月1日	観音寺市	60人
戸川ダム公園内の草刈及びゴミ拾いを実施。 （西讃支部）	3月23日	三豊市	12人
香川県建設業協会西讃支部会館において、（献血車1台：香川県赤十字献血センター）献血を実施。 （西讃支部）	7月25日	観音寺市	86人
香川用水記念公園内の草刈及びゴミ拾いを実施。（西讃支部）	8月1日	三豊市	15人
安全広報委員会が、長尾支部全会員を対象に、職場における熱中症予防対策の一環として、熱中症予防対策パンフレット及びスポーツドリンクの配布を実施する。 （長尾支部）	7月22日	三木町・さぬき市・東かがわ市	9人
三木町保健センター並びにひとの駅さんぼんまつにて献血活動を実施した。 （長尾支部）	7月31日 8月7日	三木町・東かがわ市	20人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
主要地方道高松長尾大内線（旧バイパス）三木～大内（約30km）において、「奉仕活動中」ののぼりをたてた2tトラック、軽トラック7台を出動させ、歩道側溝の空き缶、ペットボトルやたばこの吸い殻の収集等を実施する。（長尾支部）	8月8日	三木町・さぬき市・東かがわ市	50人
小豆総合事務所保健福祉課で行われた献血に会員各社従業員が参加。（小豆支部）	4月18日	小豆郡	20人
小豆支部会員各社の割当パトロール区域において、ガードレール、フェンス等の危険箇所チェックを実施。又、主要道路においては、カーブミラー清掃、砂・泥等の取り除き、空缶・空瓶・ゴミ収集等を実施。（小豆支部）	8月8日	小豆郡	64人

徳島県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の建設現場見学会 ・徳島科学技術高校（土木・建築）2年 ・つるぎ高校（土木・建築）2年 ・阿南光高校（都市環境システム科）1年	11月12日 11月18日 11月21日	・県内3現場（県央域） ・県内3現場（県西部） ・県内3現場（県南部）	総数 142人 生徒 55人 教師 4人 行政 2人 業界 13人 生徒 19人 教師 2人 行政 1人 業界 9人 生徒 24人 教師 2人 行政 1人 業界 10人
高校生の建設現場体験セミナー ・徳島科学技術高校（土木・建築）2年	1月21日	・県内1現場（県央域）	総数 35人 生徒 27人 教師 2人 行政 2人 業界 4人
学校におけるキャリア教育を支援するための講演・出前授業 県内小学校、中学校、高校への出前講座 （建設の仕事、役割の周知など）	11月20日	・藍住西小学校	6年生 96人 教師 5人 行政 2人 業界 5人
	11月25日	・藍畑小学校	4年生 17人 教師 5人 行政 2人 業界 4人
	12月10日	・高志小学校	3年生 17人 教師 3人 行政 2人 業界 3人
	12月11日	・浦庄小学校	5年生 18人 教師 4人 行政 2人 業界 4人
	1月31日	・小松島中学校	1年生 142人 教師 8人 行政 2人 業界 8人
	9月19日	・南部中学校	2年生 217人 教師 12人 行政 2人 業界 10人
	9月22日	・藍畑小学校	4年生 25人 教師 3人 行政 2人 業界 8人
	9月25日	・阿南光高校	1年生 25人 教師 3人 行政 2人 業界 6人
10月22日	・昼間小学校	6年生 27人 教師 2人 行政 2人 業界 3人	
建設業PR広告の掲載（地元新聞紙面広告） 地元新聞の朝刊に業界のPR広告を掲載。 インフラ整備の重要性や地域の守り手などの役割を広く周知。	1月5日 1月12日		
県内建設系学科で学ぶ全生徒へのヘルメットの提供 令和6年度に下記学科に入学予定の人数分を提供 ・徳島科学技術高校（土木、建築）62人分 ・つるぎ高校（土木、建築）既存ヘルメットに貼る校章シール19枚 ・阿南光高校（都市環境システム）25人分	2月		
徳島「」未来を描くプロジェクト事業（業界説明会） 県内高校生を対象とした職業説明会にブースを出展し業界をPR	8月3日	アミコ徳島催事場	高校生 26人
遍路みち清掃活動 各支部管内遍路みちの清掃（ゴミ・空き缶の回収、雑草の除去及びその処理）	10月17日 10月31日	徳島県内全域の遍路みち	会員249社468人

愛媛県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血 (各支部)	R6年11月1日～ R7年10月31日	愛媛県内各地	896人
クリーン愛媛運動 (各支部)	5月～7月31日	愛媛県内各地	646人
愛ロード・愛ビーチ・愛リバー清掃活動 (各支部)	R6年11月1日～ R7年10月31日	愛媛県内各地	
チャリティー募金寄附 (青年部会)	3月13日	親和園	
肱川総合水防演習 (喜多支部)	5月18日	大洲市	
愛媛県総合防災訓練 (宇和島地方支部)	9月7日	宇和島市	
愛媛県土木部防災訓練 ※西条支部・伊予支部・南宇和支部道路啓開実地訓練(各支部)	11月14日	愛媛県内各地	
高校生工事現場見学会			
松山聖陵高校建築科2年生	11月13日	西部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業	40人
吉田高校機械建築工学科1年生	12月6日	市立宇和島病院エネルギーセンター建設工事(建築主体工事)	22人
松山工業高校土木科2年生	1月14日	松山港外港地区国際コンテナターミナル岸壁延伸工事	36人
西条農業高校環境工学科2年生	1月15日	令和5-7年度外環空港線南吉田第4高架橋上部工事	8人
松山工業高校建築科2年生	2月6日	西部浄化センター下水汚泥固形燃料化事業	39人
八幡浜工業高校機械土木工学科2年生	2月18日	(国)197号(大洲・八幡浜自動車道)「夜昼道路」建設工事	14人
愛媛県立伊予農業高等学校環境開発科1年生	10月1日	令和6-8年度 今治道路別名第3高架橋(その1)工事 令和6-8年度 今治道路別名第3高架橋(その2)工事 令和6-7年度 今治道路朝倉IC舗装工事	38人
高校生インターンシップ 新居浜工業高校2年生	11月25日～29日	協会会員受入事業所・工事現場等	情報電子科 7人 機械科 5人 電気科 5人 電子機械科 3人 環境科学科 2人
東予高校建設工学科2年生	1月24日～31日	//	14人
西条農業高校環境工学科2年生	8月19日～20日	//	12人
松山工業高校土木科2年生	10月14日～17日	//	38人
松山工業高校建築科2年生	10月14日～17日	//	30人
八幡浜工業高校機械土木工学科2年生	10月20日～24日	//	5人
松山工業高校マッピングフェア	2月13日	松山工業高校	生徒 約80人
建退共制度・建災防「自然災害からの復旧・復興工事安全衛生確保支援事業」・建設共済保険事業の広告を愛媛新聞に掲載	3月23日	愛媛県内	

高知県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の現場見学会【インターンシップ】 高知工業高校 土木科 安芸高校 機械土木科・土木専攻 宿毛工業高校 建設科土木専攻 高知農業高校 環境土木科 (本部)	3月11日～21日 9月12日 11月25日～26日 12月12日～13日	高知県内	総学生数 55人
道路清掃 (各支部ごとに実施)	8月8日	高知県内	業界 892人
県民一斉美化活動 主催：高知県	2月2日	高知県内	業界 134人
こうち建設フェスタ2025 (本部)	10月19日	大旺新洋おまち多目的広場 (オーテピア西敷地)	来場者約5,000人
バザーの実施 (高知県建設業協会 女性部)	10月19日	大旺新洋おまち多目的広場 (オーテピア西敷地)	
土木工事1日体験	8月24日	安芸会場 高知会場 幡多会場	総数 38人 生徒 27人 保護者 10人 教員 1人 他 業界数人
高校生の現場見学会 高知工業高等専門学校3年生 (本部) 高知工業高校1年生 (本部) 宿毛工業高校1年生 (幡多支部連合会) 高知農業高校1年生 (本部) 安芸高校1・2年生 (本部)	12月10日 12月12日 12月13日 12月17日 12月19日	高知県内	学生 128人 教員 12人
道路清掃活動 主催：88クリーンウォーク四国 (室戸支部)	8月8日	会員企業社事務所付近道路	会員 37人
出前授業 ドローン操縦体験 参加：室戸中学校2年生 (室戸支部)	6月13日	室戸中学校	総数 23人
道路清掃 室戸支部特定企業者 (室戸支部)	10月～11月	椎名～室戸線	総数 81人
「土の日」ロードボランティア活動 県道清掃活動 ごみ拾い等 (安芸支部)	11月18日	県道安芸物部線・高台寺川北線	会員 16人
「土の日」ロードボランティア活動 県道清掃活動 ごみ拾い等 (安芸支部)	11月18日	県道安田東洋線	会員 11人
出前授業 参加：安芸市立安芸中学校2年生 (安芸支部)	6月16日	安芸市立安芸中学校	総数 120人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「土木の日」道路清掃 参加：中央東土木事務所 (南国支部)	11月18日	香美市 国道195号線 香南市 龍河道公園線、県道香北野市線、県道春野赤岡線 南国市 国道195号線、県道春野赤岡線	総数 60人 協会会員 36人 土木事務所 24人
出前授業 重機体験・ドローン体験 参加：小学校4年生～中学生 (南国支部)	8月4日	香南市青少年センター	香南市 小学4年生～中学生 22人 高知県土木部・東土木事務所支部会員 10人
青色回転灯装備車両によるパトロール 主催：高知県タウンポリス連絡協議会 (嶺北支部)	毎月20日前後	嶺北地域	総数 60人
88クリーンウォーク 各会社付近の道路清掃 主催：88クリーンウォーク四国 (嶺北支部)	8月8日	嶺北地域	総数 21人
「土木の日」道路清掃 (高知支部)	11月9日	高知市内各所	総数 99人 業界 77人 自治体 22人
防犯パトロール (高知支部)	12月18日、3月21日 6月18日、9月18日	高知市中心部	総数 62人 業界 54人 自治体 8人
県民一斉美化活動 主催：高知県 (高知支部)	2月2日	高知市中心部	総数 50人 業界 50人
浦戸湾・七河川一斉清掃 ※地区住民が集めたゴミを、収集車で処分場へ運搬。ダンブ38台参加 主催：高知市民憲章推進協議会 他 (高知支部)	3月9日	高知市内各所	総数 86人 業界 86人
88クリーンウォーク 主催：88クリーンウォーク四国 (高知支部)	8月8日	高知市内各所	総数 153人 業界 153人
中学生の土木工事1日体験会 参加：三里中学校2年生 (高知支部)	12月19日	国分川(大谷川)地震高潮対策工事	生徒 63人 業界 複数人
土木の日の行事「道路清掃」 (伊野支部)	11月18日	県道新居中島線、土佐伊野線、庄田伊野線、高知南環状線、国道194号外1路線 計12路線	総数 77人 県 18人 業界 59人
児童見守り活動 (伊野支部)	R6年11月21日 ～R7年9月18日	伊野小学校周辺 16か所	総数 24人 業界 24人
「ロードボランティア」国道、県道の清掃活動 (伊野支部)	6月10日、7月9日 9月10日、10月8日	国道194号、国道33号、県道横浪公園線、県道庄田伊野線 等	総計 136人 業界 136人
年末防犯パトロール (伊野支部)	12月19日	いの町商店街等	総数 11人 業界 11人
県民一斉美化活動	2月2日、9日	日下川調整池、火渡川 伊野合同庁舎	総数 15人 業界 15人
出前授業 参加：伊野南中学校 (伊野支部)	5月28日	伊野南中学校	生徒 33人 業界 10人 総数 43人
88クリーンウォーク 主催：88クリーンウォーク四国 (伊野支部)	8月8日	伊野支部管内各所	総数 27人 業界 27人
「土木の日」道路清掃活動 (高吾北支部)	11月18日	佐川町、越知町、仁淀川町	総数 108人 業界 81人 自治体 27人
県民一斉美化活動 (高吾北支部)	2月2日	佐川町・高知市中心部	総数 6人
88クリーンウォーク 主催：88クリーンウォーク四国 (高吾北支部)	8月8日	佐川町・越知町・仁淀川町	総数 79人
出前授業 参加：佐川中学校2年生 2・3次元測量(ドローン等)・設計データ作成(パソコン)・ICT建機杭ナビシヨベル・小型バックホウ操作等 (高吾北支部)	2月17日	佐川中学校	生徒 20人 業界 3社
出前授業 参加：仁淀中学校1～3年生 バックホウ・クレーン・ドローン操作等 (高吾北支部)	6月20日	仁淀中学校	生徒 30人 業界 6社
こうち建設フェスタ2025 支部会員が本部主催イベントへ参加 (高吾北支部)	10月19日	大旺新洋おまち多目的広場	会員 2人
土木の日 清掃活動 (高陵支部)	11月18日	高陵管内・国道・県道	総数 148人 協会 38人 須崎土木 44人 その他 66人
県民一斉美化活動 (高陵支部)	2月2日	須崎市内	総数 10人 協会 10人
出前授業 ※高知県土木部との共催、中学校対象 (高陵支部)	6月10日	朝ヶ丘中学校 上分中学校	総数 140人 協会 16人 須崎土木 6人 生徒 118人
出前授業 ※高知県土木部との共催、中学校対象 (高陵支部)	6月11日	梶原中学校	総数 87人 協会 18人 須崎土木 6人 生徒 63人
88クリーンウォーク 主催：88クリーンウォーク四国 (高陵支部)	8月8日	高陵管内・国道・県道・市町道	総数 116人 協会 116人
「土木の日」清掃活動 ガードレール洗浄。ゴミ拾い (高幡支部)	11月18日	国道381号線約14km 窪川地域	総数 96人 業界 70人 自治体 26人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「土木の日」海岸清掃活動 (中村支部)	11月30日	幡多郡黒潮町白浜周辺	総数 32人 協会 25人 幡多土木事務所 7人
出前授業 参加：中村西中学校2年生 主催：幡多土木事務所 幡多地域本部・中村支部 (中村支部)	12月9日	中村西中学校	総数81人以上 協会 11人 生徒 70人 県職員 数人
出前授業 参加：中村西中学校2年生 主催：幡多土木事務所 幡多地域本部・中村支部 (中村支部)	5月1日	中村西中学校	総数77人以上 協会 11人 生徒 66人 県職員 数人
出前授業 参加：宿毛工業高校 土木専攻3年生 (中村支部)	6月18日	宿毛工業高校	総数 32人 協会 12人 生徒 20人
しまんと市民祭 防犯パトロール (中村支部)	7月26日	四万十市内	総数 13人 業界 13人
宿毛工業高校出前授業 参加：宿毛工業高校 土木専攻2年生 (中村支部)	9月30日	宿毛工業高校	総数 31人 業界 11人 生徒 20人
出前授業 参加：宿毛市立東中学校3年生 ドローン操作・ミニバックホウ体験 (宿毛支部)	7月15日	宿毛市立東中学校	生徒 33人 協会 12人 他 1人 土木事務所 数人
産業祭 (土佐清水支部)	11月30日	越港	協会 12社
一斉清掃 (土佐清水支部)	6月1日	土佐清水市内一円	協会 12社
出前授業 (土佐清水支部)	7月8日	土佐清水市立清水中学校 (屋内・屋外)	生徒 60人 教員 5人 土木事務所 8人 協会 12社
88クリーンウォーク 主催：88クリーンウォーク四国 (土佐清水支部)	8月8日	土佐清水市内一円	協会 12社 総数 59人

福岡県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
献血活動	11月1日~12月31日	福岡・北九州市内献血ルーム5ヶ所 及び献血車3日間(福岡1日、久留米2日間)	協力者351人
高校生の建設現場見学会 大牟田高校建築科2年生、浮羽工業高校建設科1年生・建築科2年生 福岡工業高校建築科2年生	11月12日、19日 29日 12月3日、5日	天神プロジェクトII作業所、 乙金浄水場整備工事、 (仮称)久山町物流倉庫計画	174人
ふくおかなつやすみチャレンジフェスタ	8月7日	福岡県庁	102人
土木の日ファミリーフェスタ2025	10月5日	国営海の中道海浜公園 こどもの広場管理棟	200人

佐賀県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
清掃ボランティア (建設業協会佐賀)	11月9日	佐賀県庁前歩道東西600m及び北側バルーン ミュージアムに亘り	総数 145人
佐賀市民向け防災土のう製作 (建設業協会佐賀)	5月28日	嘉瀬川防災ステーション	総数 110人
献血活動 (建設業協会佐賀)	9月16日	建設業協会佐賀会館2階	総数 58人
地域貢献活動 (カーブミラー磨き及びメンテナンス) (神埼建設業協会)	4月10日	神崎市北部地区	(業界)13社35人 (自治体)3人
神崎市水の郷市民プロジェクト 馬場川清掃活動 (神崎市、東部土木事務所、神埼建設業協会)(神埼建設業協会)	7月22日	神崎市神埼町内	(業界)5社7人 (自治体)20人
地域貢献活動 (カーブミラー磨き及びメンテナンス) (神埼建設業協会)	9月25日	神崎市千代田町内	(業界)13社35人 (自治体)3人
カーブミラー清掃活動 (鳥栖建設業協会)	10月17日	鳥栖市内	総数 6人
「令和6年度第19回津の里こどもまつり」働く車の展示・試乗 (小城建設業協会)	2月2日	小城市牛津町柿樋瀬1,100-1 牛津公民館駐車場内	総数 366人 業界 16人 子供 350人
天山登山看板修理 (小城建設業協会)	5月1日	小城市	総数 5人 業界 5人
小城市所有地剪定・除草作業 (小城建設業協会)	7月28日	小城市	総数 13人 業界 13人
大雨による道路河川巡視 (小城建設業協会)	8月11日	小城市・多久市	総数 51人 業界 51人
保育園砂場周辺の整地清掃 (小城建設業協会)	10月25日	小城市牛津町上砥川1,413-1 小城市立砥川保育園	総数 12人 業界 12人
土木の日記念事業 (以前県道沿線に植栽したモミジの剪定及び除草作業) (伊万里建設業協会)	11月18日	国見道路沿線	協会員 25人
伊万里ウォーク(伊万里支部及び伊万里ウォーク実行委員会) (伊万里市が実施するウォーキングイベントのコース整理員) (伊万里建設業協会)	11月23日	伊万里市内道路交差点 (協会受け持ち3か所)	853人 (協会員従事者3人)
夜間道路安全パトロール(伊万里支部、佐賀県) (地区内で道路関係施工中現場の合同安全パトロール) (伊万里建設業協会)	12月17日	地区内(4か所)	土木事務所 7人 安全指導者 5人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
佐賀県排水ポンプ車訓練 (伊万里支部及び佐賀県外) (防災協定に基づく佐賀県排水ポンプ車の運用訓練) (伊万里建設業協会)	5月14日	伊万里市二里町 有田川河川敷	協会員及び伊万里管内職員 50人 (内協会員26人)
ボランティア活動 (地域貢献) ・公共施設等の清掃作業 (学校敷地の除草作業) (杵島建設業協会)	11月8日	武雄市立 北方中学校 敷地内	26人
献血活動 (杵島建設業協会)	6月27日	杵島建設会館	82人 (内採血67人)
砂場抗菌砂入替作業 (藤津建設業協会)	11月29日	吉田保育園	5人
ガードレール清掃 (藤津建設業協会)	12月5日	御神松線、虹の大橋より塩田方面	15人
砂場抗菌砂入替作業 (藤津建設業協会)	12月18日	嬉野りすの森保育園	5人
清掃活動 (藤津建設業協会)	7月1日	太良町白浜海水浴場	12人
青年部出前授業 座学：建設業の紹介、仕事紹介、DVD放映、重機でGO！等 実技：重機乗車体験、重機操作体験、ドローン実演、操作等 (佐賀県建設業協会)	11月10回、12月2回 5月1回、7月1回 9月1回、10月2回	県内小学校 12校 5年生(7校)、6年生(2校)、5・6年生(2校)、全学年(1校) 県内中学校 5校 1年生(1校)、2年生(3校)、3年生(1校)	青年部 85人 小学生490人 中学生340人
青年部ボランティア活動 (保育園・幼稚園の砂場の「砂場クリーン作戦」) (佐賀県建設業協会)	10月18日	県内保育園・幼稚園11ヶ所	青年部 85人

長崎県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生のインターンシップ 大村工業高等学校：建設工業科 (協会本部)	11月5日～7日	会員事業所・現場	会員企業 10社 2年生 33人
高校生のインターンシップ 鹿町工業高等学校：土木技術科 (協会本部)	12月3日～5日	会員事業所・現場	会員企業 8社 2年生 22人
高校生のインターンシップ 諫早農業高等学校：農業土木科 (協会本部)	10月21日～23日	会員事業所・現場	会員企業 10社 2年生 39人
高校生のインターンシップ 佐世保工業高等学校：土木科 (協会本部)	10月14日～16日	会員事業所・現場	会員企業 10社 2年生 37人
高校生のインターンシップ 佐世保工業高等学校：建築科 (協会本部)	10月14日～16日	会員事業所・現場	会員企業 8社 2年生 20人
高校生のインターンシップ 島原工業高等学校：建築技術科 (協会本部)	12月3日～5日	会員事業所・現場	会員企業 10社 2年生 33人
高校就職説明会 長崎工業高等学校：建築科 (協会本部、協会長崎支部青年部)	12月10日	長崎工業高等学校	1年生 40人
長崎工業高等学校 出前講座 (施工図) (協会本部、協会長崎支部青年部)	2月13日	長崎工業高等学校	会員企業 5社 2年生 39人
長崎工業高等学校 出前講座 (測量) (協会本部、協会長崎支部青年部)	5月13日	長崎工業高等学校	会員企業 6社 3年生 39人
長崎工業高等学校 出前講座 (ドローン、現場監督・建設ディレクターの仕事) (協会本部、協会長崎支部青年部)	11月19日	長崎工業高等学校	会員企業 6社 1年生 40人
2024土木の日イベント「土木・建設パネル展in浜んまち」 (協会長崎支部、長崎県建設工業協同組合青年部会)	11月9日	長崎浜町ベルナード観光通り	31人
2025住宅フェア「考えようこれからの長崎の住まい」 (協会長崎支部、長崎県ゆとりある住まいづくり推進協議会)	10月4日、5日	長崎県庁舎 1階エントランス	12人
大規模災害発生時における支援活動に基づく被災現場への 出動 (初動) 対応訓練 (協会佐世保支部、長崎県県北振興局・佐世保市)	11月11日	一般県道 佐世保鹿町線 相浦港大橋 準用河川 母カ浦川 新烏帽子岳線青少年天地の家付近 木原農道 法面流矢橋付近	業界 100人 自治体 20人
平戸市高越町における山腹崩壊に伴う緊急作業出動 (協会北部支部)	11月3日～4日	平戸市高越町	延べ6人
平戸市水垂町における斜面崩壊に伴う緊急作業出動 (協会北部支部)	11月6日～10日	平戸市水垂町	延べ30人
「土木の日」イベント 土木とのふれあいin県北2024 ～楽しみながら知ろう土木事業&住宅フェア～ (協会北部支部、後援：県北振興局・平戸市・松浦市・佐世保市)	11月23日	「田平公園」運動広場 (Bコート) 長崎県平戸市田平町小手田免823- 7	総数約600人 業界約100人 一般約500人
平戸市高越町における山腹崩壊に伴う緊急出動 (協会北部支部)	7月22日	平戸市高越町	延べ2人
土木の日イベント「親子ふれあいフェスタ」in県央諫早 (協会諫早支部)	11月16日	諫早市中央交流広場	72人
秋・愛の献血運動 (協会諫早支部青年部)	11月28日	諫早建設会館	20人
諫早市総合防災訓練 (協会諫早支部、諫早市)	5月18日	諫早市八天町 (光江橋) 本明川河川敷	26人
大規模災害時における災害協定締結支援団体との初動対応訓練 (協会諫早支部、長崎県県央振興局)	6月17日	県央振興局管内	15人
春・愛の献血運動 (協会諫早支部青年部)	6月26日	諫早建設会館	20人
第68回 諫早万灯川まつり (協会諫早支部、諫早市)	7月25日	本明川河川敷	20人
長崎・県央地域鳥インフルエンザ防疫対策実地演習 (協会諫早支部、長崎県県央振興局農林部)	10月21日	諫早市貝津町 (農林技術開発センター グラウンド)	31人
高校生の建設現場見学会 大村工業高校 (協会大村支部)	11月12日～14日	佐奈川内川災害復旧助成工事 (12工区) 準用河川野田川改修工事 大村市立放虎原小学校長寿命命化改良工事 市道中里原町線道路改良工事	3人 3人 3人 3人
年末年始の安全安心まちづくりキャンペーン (協会大村支部、大村市暴力追放運動推進協議会)	12月12日	プラザ大村・コレモ大村広場	10人
大村湾沿岸一斉清掃 (協会大村支部、大村湾をきれいにする会)	3月2日	松原海岸	16人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
大規模災害支援活動に基づく初動対応訓練 (協会大村支部、長崎県県央振興局)	6月17日	県央振興局管内(大村市内)	25人
「おおむら夏越まつり」における防非キャンペーン (協会大村支部、大村市暴力追放運動推進協議会)	8月2日	大村駅前	5人
大村市総合防災訓練 (協会大村支部、大村市)	9月28日	陸上自衛隊竹松駐屯地水路訓練場	20人
土木の日のイベントとして重機の無料試乗及びお菓子のつかみ取り等 (協会島原支部)	12月8日	JA全農ながさき県南家畜市場	100人
土木の日のイベントとして重機の無料試乗及びお菓子のつかみ取り等 (協会島原支部)	10月19日	島原市役所	150人
「土木の日in対馬2024」 建設機械試乗会、建設業絵画展、土木のおしごと〇×クイズ、対州馬の乗馬体験他 (協会対馬支部、対馬振興局、対馬市)	11月16日	対馬市	1063人
イメージアップ・広報活動：市内中学校2年生対象 「建設業の魅力」訪問説明 (協会杵岐支部、杵岐振興局)	R6年11月14日 ~R7年2月26日	11月14日 勝本中学校 11月18日 芦辺中学校 11月27日 郷ノ浦中学校 2月26日 石田中学校	52人 60人 59人 51人
口蹄疫防疫訓練 (協会杵岐支部、杵岐振興局)	11月29日	杵岐家畜保健所	約30人
災害時初動対応訓練(災害支援協定に基づく連絡・活動体制の確認) (協会杵岐支部、杵岐振興局)	6月11日	杵岐市内	約70人
災害支援協定に基づく各社資機材・連絡網調査 (協会杵岐支部、杵岐振興局)	7月31日	支部会員各所	約22人
土木の日イベント・バスツアー・建機試乗(協会五島支部)	11月10日	五島建設会館	80人
土木に関する絵 展示 (協会五島支部)	R6年12月1日~ R7年1月31日	福江港ターミナル2階	多数
土木の日イベント・パネル写真展・建機試乗・釣り大会 (協会五島支部)	11月17日	上五島石油備蓄記念会館	300人
清掃活動 (協会五島支部)	10月19日	福江川	30人

熊本県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の現場見学会 熊本県立南陵高等学校環境コース2年生・3年生(人吉支部)	11月6日	①R5 県道覚井一武線災害復旧球磨大橋下部工(A1・A2) 外工事	36人
津奈木町ふれあいまつり (芦北支部)	11月9日~10日	津奈木町	400人
清掃活動 (熊本支部)	11月12日	熊本港親水緑地公園一帯	180人
高校生の現場見学会 熊本県立阿蘇中央高等学校1年生・2年生(阿蘇支部)	11月20日	①鋼ヶ滝線防災安全交付金(代行)道路改築工事 ②黒川地区中山間地域総合整備事業	23人
清掃活動 (建築部会)	11月27日	指定緊急避難場所(一次避難場所)等の県下公園内トイレ	278人
高校生の現場見学会 熊本県立小川工業高等学校土木科1年生(宇城支部)	12月13日	①熊本57号糖塚山トンネル新設工事 ②熊本57号城塚地区改良21期工事	23人
高校生の現場見学会 秀岳館高等学校建設工業科2年生(八代支部)	12月17日	①坂本町災害公営住宅(松崎地区)新築建築工事 ②R5 国道外災害復旧坂本地区工事用道路(その6)工事 ③新開消防署庁舎建設建築工事	24人
高校生の現場見学会 熊本県立八代農業高等学校生産土木科1年生・2年生(八代支部)	1月23日	①奄北地区農村地域防災減災事業(湛防)第21号工事 ②河俣川岸自然債河川改良(緊急)工事 ③R5 国道外災害復旧坂本地区工事用道路(その6)工事	32人
高校生の現場見学会 熊本県立玉名工業高等学校土木科1年生(玉名支部)	1月28日	①国道219号災害復旧鎌瀬橋上部工工事 ②上飯瀬川砂防激甚災害対策特別緊急(えん堤)工事	27人
人吉温泉マラソン大会 (人吉支部)	2月16日	人吉市宝来町	100人
高校生の現場見学会 熊本県立八代工業高等学校インテリア科1年生・2年生(八代支部)	2月19日	①山江村公営住宅整備事業(城内団地)新築工事 ②人吉市買取型災害公営住宅整備事業(相良地区) ③(仮称)青井の杜国宝記念館新築工事	72人
清掃活動 (宇城支部)	2月20日	国道218号線・小川嘉島線・松橋インター線(除草・土砂撤去)	180人
清掃活動 (舗装部会)	3月8日	国道324号・市道下川原茂木根線	33人
恋龍祭 (芦北支部)	5月31日~6月1日	水俣市	250人
清掃活動 (天草支部)	6月17日~7月12日	天草島内国道266号、324号、389号他の沿線等箇所	203人
清掃活動 (舗装部会)	8月5日	八代鏡宇土線	40人
イオンモール熊本「キッズお仕事チャレンジ」 (青年部・本部共催)	9月20日	上益城郡嘉島町	300人
高校生の現場見学会 熊本県立矢部高等学校食農科・林業科・普通科1年生(上益城支部)	10月9日	①五老滝川(0736)5年発生河川災害復旧工事 ②山都町運動公園中央グラウンド整備工事、整備工事(第二期) ③山都町運動公園中央グラウンド施設整備工事	42人
御船町防災フェア (上益城支部)	10月12日	上益城郡御船町	120人
高校生の現場見学会 熊本県立天草工業高等学校土木科1年生(天草支部)	10月17日	①コマツカスタマーサポート ②国道266号(大矢野道路)「(仮称)新大矢野トンネル」地域連携推進改築工事	36人
五木の子守り歌まつり (人吉支部)	11月8日	五木村役場付近	200人
大津町第35回からいもフェスティバル (菊池支部)	11月8日	本田技研工業(株)熊本製作所内総合グラウンド	300人
高校生の現場見学会 熊本県立熊本工業高等学校土木科1年生(熊本支部)	11月11日	①西部汚水22号幹線枝線下水道築造工事(5309工区)	40人
高校生の現場見学会 熊本県立熊本農業高等学校農業土木科1年生(熊本支部)	11月11日	①西部汚水22号幹線枝線下水道築造工事(5309工区)	40人
「土木の日」土木の体験会 (熊本支部)	11月16日	熊本市水前寺江津湖公園	700人

大分県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
第4回土木建築フェスタin大分駅前 (青年部会)	10月18日	大分駅前府内中央口広場	業界 100人 工業高校生等 50人 国交省 30人 県 20人 来場者数 2,737人
献血活動 (大分支部)	8月29日 10月3日、14日 16日	管内5会場	141人
建設業年度末労働災害防止強調月間 安全パトロール (別府支部)	3月4日	別府市内建設現場3か所 (建築現場2ヶ所・土木現場1ヶ所)	4人 (支部労務委員3人) (大分労働基準 監督署1人)
全国労働衛生週間 安全パトロール (別府支部)	10月10日	別府市内建設現場3か所 (建築現場2ヶ所・土木現場1ヶ所)	4人 (支部労務委員3人) (大分労働基準 監督署1人)
道路の草刈・清掃 (杵築日出支部)	12月20日	杵築市大字大内小狭間 市道オレンジロード杵築線	30人
道路の高木・竹伐採、草刈り (杵築日出支部)	3月28日	速見郡日出町大字南端 町道目刈天間線	37人
道路の草刈り (杵築日出支部)	7月30日	杵築市山香町大字小武 市道高熊山線	12人
道路の草刈り・枝打ち (杵築日出支部)	10月2日	杵築市大字大内小狭間 市道オレンジロード杵築線	26人
土地改良施設愛護推進活動 (ダム堰堤草刈作業) (国東支部)	7月4日	国東市安岐町 油留木ダム	総数 46人 業界 16人 自治体外 30人
「道路ふれあい月間」における「道の日」清掃活動 (道路空き缶・ゴミ拾い作業) (国東支部)	8月7日	国東市安岐町 国道213号大分空港周辺	総数 45人 業界 20人 自治体 25人
九州瀬戸内高等学校女子駅伝競走大会支援活動 (駅伝コースの事前整備(草刈作業)) (国東支部)	9月18日	県道豊後高田安岐線 県道糸原杵築線 県道国東安岐線	業界 20人
令和6年度「年末年始無災害運動」の安全パトロール (豊後高田支部)	12月3日	市内一円	10人
土地改良施設愛護活動 草刈り作業 (豊後高田支部)	7月4日	西国東干拓西真玉2工区	15人
高齢化集落応援隊 草刈り作業及び側溝清掃活動(豊後高田支部)	7月6日	豊後高田市西真玉1区(大平)	5人
河川愛護美化啓発活動 草刈り作業ゴミ拾い(豊後高田支部)	7月23日	桂川右岸河川敷及び道路敷	17人
高齢化集落応援隊 草刈り作業及び側溝清掃活動(豊後高田支部)	7月27日	豊後高田市湯原下	5人
高齢化集落応援隊 草刈り作業及び市道清掃作業(豊後高田支部)	8月3日	豊後高田市田染小崎	2人
高齢化集落応援隊 草刈り作業 (豊後高田支部)	10月5日	豊後高田市真玉横泊	3人
年末安全パトロール (宇佐支部)	12月10日	宇佐市安心院町 宇佐市安心院町 宇佐市西大堀 宇佐市大字西大堀	総数 18人 関係機関 9人 支部 9人
アユの放流 (宇佐支部)	4月25日	駅館川白岩橋	総数 30人 関係機関 27人 支部 3人
青年部ボランティア活動 (青年部) (宇佐支部)	5月27日	宇佐市四日市 四日市南小学校 宇佐市安心院町 津房小学校	総数 25人 関係機関 2人 支部 23人
献血活動 (青年部) (宇佐支部)	7月3日	宇佐市教育会館	5人
高齢化集落応援隊(宇佐市への協賛) (宇佐支部)	7月9日 7月18日 10月3日	宇佐市熊自治区本谷地区 宇佐市院内町和田地区 宇佐市院内町滝貞地区	11人 12人 9人
河川愛護月間における河川清掃活動 (宇佐支部)	7月24日	駅館川河川敷	総数 130人 関係機関 46人 支部 84人
「道の日」道路清掃活動 (宇佐支部)	8月8日	和気佐野線(1.44km)	関係機関 18人 支部 3人
献血活動 (青年部) (中津支部)	11月23日	イオンモール三光	業界 4人 (献血者41人)
献血活動 (青年部) (中津支部)	12月2日	中津市役所	業界 3人 (献血者45人)
年末工事安全パトロール (中津支部)	12月2日	管内現場3箇所	業界 12人 労働基準監督署 2人 発注自治体 4人
暴力絶滅冬季広報活動 (中津支部)	12月11日	JR中津駅周辺飲食街	業界 1人 (他団体50人)
交通安全活動 (青年部) (中津支部)	12月11日	国道213号もち吉交差点周辺	業界 5人
地元高校卒業生の積極採用に関する「応援宣言」 (中津東高校土木科3年生) (中津支部)	1月23日	中津東高	業界 3人 中津土木 3人 高校生 37人 教諭 1人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数	
献血活動 (青年部) (中津支部)	3月25日	中津市役所	業界 4人 (献血者53人)	
交通安全活動 (青年部) (中津支部)	4月11日	国道213号もち吉交差点周辺	業界 5人	
土地改良施設愛護活動(除草作業) (北部振興局主管) (中津支部)	7月4日	市内大貞(役人池周辺)	業界 27社55人 (他団体25人)	
交通安全活動 (青年部) (中津支部)	7月14日	国道213号もち吉交差点周辺	業界 4人	
献血活動 (青年部) (中津支部)	7月16日	中津市役所	業界 4人 (献血者55人)	
「道の日」における道路清掃活動 (中津土木事務所主管) (中津支部)	8月8日	県道中津高田線(6km)	業界 56人 自治体等 78人	
中津東高生徒の現場体験学習会 (中津東高校土木科2年生)	(青年部) (中津支部)	10月1日	山国町守実(トンネル工事)	業界 3社 青年部会員 6人 高校生 40人 教諭 3人 大分県中津土木事務所職員数人
第15回(中津市)職人フェスティバルに参加 ※ショベルカーを使ったスーパーボール掬い(参加児童422人) ※高所作業車試乗 (青年部) (中津支部)	10月6日	中津市内商店街	業界 20人 (重機オペレーター4人) 高所作業車 (機アクトイオ)	
中津総合ケアセンター「いずみの園」フェスタに出店 (青年部) ※ポップコーン・綿あめチャリティー販売(売上金はチャリティー) (中津支部)	10月12日	中津市永添	業界 8人 来場者3,000人	
インターンシップ(現場実習) (中津東高校土木科2年生) 1日目:座学、2~3日目:現場学習 (中津支部)	10月21日~23日	中津建設会館(21日) 協会員事業所(22,23日)	インターンシップ 参加企業 11社 高校生 23人	
高校生の建設現場見学会 日田林工高校 建築土木科1年生 (日田支部)	11月3日	県河川小野川災害復旧現場 国道386号(三郎丸橋)災害復旧現場	林工生徒 40人 協会(青年部) 35人	
安全パトロール (日田支部)	12月2日	管内現場6箇所	14人 (自治体含む)	
リバーフェスタinみくま川 (NPO法人ひた水環境ネットワークセンター主催 防災フェスタ) (日田支部)	8月24日	日田市三隈川公園周辺	協会(青年部) 13人	
千年あかり竹切ボランティア活動 (日田支部)	9月5日	日田市財津町 山林	協会 80人	
献血活動 (日田支部)	9月24日	日田建設業会館	協会ほか59人	
第12回日田市工業展 「建設業の魅力と理解を深めるイベント」 重機試乗体験・高所作業車乗車体験・ドローン操作体験等 (日田支部)	10月5日	日田パトリア・中央公園	自治体 18人 協会(青年部) 30人	
玖珠土木事務所 ドローン操作体験教室 (玖珠支部)	3月3日	野上川河川改修工事現場	10人	
高齢化集落応援隊活動 古後かまどヶ岩春祭り (玖珠支部)	4月5日	玖珠町古後地区	5人	
令和7年度土地改良施設愛護活動 施設内外の草刈り等 (玖珠支部)	6月20日	大原野農道	12人	
令和7年度「道の日」 道路清掃 (玖珠支部)	8月5日	玖珠町内	37人	
機関庫まつり 建設重機展示 (玖珠支部)	10月12日	豊後森機関庫公園	12人	
【令和6年度 土木未来教室(in犬飼中)】 ICT機器(杭ナビ・重機でGO)の体験(中学2・3年生)(大野支部)	11月15日	犬飼中学校	協会 12人 生徒 38人	
河川愛護月間に伴う河川草刈作業 (大野支部)	7月25日	犬飼町(犬飼大橋上流)河川敷	協会 23人 地元ボランティア団体	
道の日に伴う道路一斉清掃(ゴミ拾い) (大野支部)	8月7日	国道326号線沿線の一部	協会 21人 他関係機関	
インターンシップ(職場体験) 三重総合高校(環境土木コース2年生) (大野支部)	10月21日~23日	各受入会社	協会受入会社5社 生徒 11人	
「竹楽」諸作業ボランティア (竹田支部)	R6年11月14日 18日 R7年2月25日 10月11日	竹田市内	業界 14人 一般ボランティア多数	
稲葉川草刈・清掃作業 (竹田支部)	7月17日	竹田駅前周辺 稲葉川	総数 50人 業界 12人	
小規模集落応援隊(夏越祭り 神輿担ぎ) (竹田支部)	7月19日	竹田市古町	自治会 10人 業界 3人	
名水祭り協賛 (竹田支部)	7月20日	竹田市入田地区		
「道路ふれあい月間」清掃活動 (竹田支部)	8月8日	竹田市内国道・県道7か所	自治体 20人 業界 4人	
「精霊流し」流し灯ろう提供 (竹田支部)	8月15日	竹田駅前下 稲葉川		
八町大路火災ボランティア 啓開活動 (白杵支部)	11月27日~29日	白杵八町大路	協会員 52人 監督署 2人 建災防 2人 白杵市役所・ 土木事務所 4人 協会員 5人	
年末年始安全パトロール (白杵支部)	12月11日	白杵川(万里橋)・白杵港		

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
新白杵港開港オープニングイベント	(白杵支部) 3月20日	新白杵港	協会員 18人
道路に関する勉強会	(白杵支部) 3月26日	白杵土木事務所	協会員 6人
河川愛護啓発活動(鮎の稚魚放流)	(白杵支部) 5月9日	白杵川(石仏付近)	園児 30人 協会員 5人 関係機関 10人
小集落ボランティア	(白杵支部) 7月10日	石場ダム	協会員 10人
河川愛護月間に伴う河川清掃	(白杵支部) 7月14日	白杵川周辺(深田親水公園一帯)	協会員 10人 関係機関 20人
白杵高校出前リクルート講座	(白杵支部) 7月22日	県立白杵高等学校	協会員 2人 測量関係 4人 県土木関係 10人 生徒 83人
道路清掃(道路ふれあい月間)	(白杵支部) 8月6日	白杵市内一円	協会員 26人 関係機関 55人
献血活動	(白杵支部) 8月22日	白杵市役所	白杵支部青年部他 62人
ふるさと防災教育	(津久見支部) 11月21日	千怒小学校	5人
つくみ産業博in津久見高校	(津久見支部) 12月10日	津久見高校	5人
安全パトロール	(津久見支部) 12月12日	管内現場3箇所	19人 (自治体含む)
河川愛護月間に合わせた津久見川清掃活動	(津久見支部) 7月14日	彦ノ内川	10人
清掃活動(つくみ港まつり花火大会に伴う草刈り)	(津久見支部) 7月22日	つくみ公園	8人
「道の日」道路清掃活動	(津久見支部) 8月6日	市内一円	12人
ふるさと防災教育	(津久見支部) 10月3日	津久見小学校	4人
ふるさと防災教育	(津久見支部) 9月27日	青江小学校・堅徳小学校	3人
清掃活動(ふるさと振興祭に伴う草刈り)	(津久見支部) 10月24日	つくみ公園	6人
つくみ秋フェスタ'25出店(重機体験)	(津久見支部) 10月25日	つくみ公園	7人
土木フェスタ	(佐伯支部) 11月30日	さいき桜ホール	100人
年末安全パトロール	(佐伯支部) 12月6日	佐伯市管内 (現場22か所)	21人 (自治体含む)
年度末安全パトロール	(佐伯支部) 2月21日	佐伯市管内 (現場19か所)	19人 (自治体含む)
BLOCKS出前講座(大分県)	(佐伯支部) 6月4日	日本文理大学附属高等学校	小田開発工業㈱ 3年生約100人
令和7年度安全大会	(佐伯支部) 7月3日	市保健福祉総合センター和楽	60人 5人 (自治体)
「建設産業における人材の確保に寄与すること」を目的とした出前講座(国交省)	(佐伯支部) 7月17日	大分県立佐伯豊南高等学校	小田開発工業㈱ 技術科1年生
令和7年度道路ふれあい月間(国交省)	(佐伯支部) 8月5日	佐伯市役所周辺の道路	会員 31人
令和7年度「道の日」道路清掃活動(大分県)	(佐伯支部) 8月6日	国道217・388号	会員 6社
「建設産業における人材の確保に寄与すること」を目的とした出前講座(国交省)	(佐伯支部) 9月29日	大分県立佐伯豊南高等学校	小田開発工業㈱ 技術科2年生
河川愛護啓発活動(内水面環境保護による稚魚放流繁殖事業)	(佐伯支部) 4月~10月	佐伯市宇目宗太郎地区 重岡地区、小野市地区 藤河内地区	10人

宮崎県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
高校生の現場見学会	7月14日	宮崎20号内海トンネル新設工事、油津・夏井	総数 115人
日向工業高校1年生	9月18日	道路1号橋下部工(A1)工事、新宮崎県体育	生徒 107人
宮崎農業高校2年生	12月4日	館建設主体工事、宮崎市消防局・北消防署新	教師 8人
都城工業高校1年生	12月8日	庁舎棟新築工事 ほか	
宮崎工業高校1年生 ほか	(宮崎県建設業協会)		
みやざき建設技術フェア	(宮崎県建設業協会) 11月8日~9日	宮崎県体育館	総数6,000人
橋の日 県内一斉ボランティア活動(宮崎県建設業協会青年部連合会)	8月4日	県内11地区の橋	協会 400人
道路愛護デー	(宮崎県) 8月1日~25日	県庁付近の道路、県内の道路	総数1,441人
献血運動	(宮崎地区) 5月27日	イオンモール	協会 38人 一般 18人
青島美化奉仕作業	(宮崎地区) 7月19日	青島海水浴場	協会 116人 自治体 20人
奉仕作業 側溝浚渫等	(宮崎地区青年部) 11月4日	広瀬小学校	協会 22人
「道路ふれあい月間」道路愛護デー 清掃活動	(日南地区) 8月6日	市内の国・県・市道	協会 37人 一般 360人
奉仕活動	(都城地区青年部) 8月4日	南小学校	協会 43人
のじり湖祭の会場設営	(小林地区青年部) 8月29日	のじりこびあ	協会 24人
ペットボトルキャップの寄付	(小林地区女性部) 9月10日	小林地区建設会館	協会 19人
秋の全国交通安全キャンペーン 西諸管内におけるキャンペーンの啓蒙活動	(小林地区女性部) 9月24日、26日	道の駅えびの敷地内 COOP小林店駐車場内	協会 19人
奉仕活動 枕土のう設置、側溝浚渫等	(東諸地区青年部) 7月15日	高岡小学校・穆佐小学校	協会 18人
クリーン国富事業 河川清掃・道路清掃	(東諸地区) 7月6日 8月3日	三名川・深年河川敷 国富町内主要道路	協会 51人 業界 4人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
河川・道路一斉清掃 (西都地区)	7月29日 8月19日	一ツ瀬川山角右岸 国道219号・県道高鍋高岡線など	協会 57人 他団体293人
大型連休前における県管理道路及び工事箇所の夜間パトロール (高鍋地区)	4月17日	宮崎県高鍋土木事務所管内	協会 12人
宮崎県企業協働河川アダプト制度作業 堤防法面除草作業 (高鍋地区)	6月12日 9月10日	宮田川・切原川 (左岸)	協会 32人
道路清掃ボランティア 国道327号線道路敷内のゴミ拾い作業 (日向地区)	5月27日	国道327号線 (東郷道の駅~大河原ダム間)	協会 72人
宮崎県企業共働河川アダプト活動 草刈り及びゴミ収集作業 (日向地区建和会)	6月26日	日向市塩見川右岸	協会 38人
愛宕山ボランティア活動 枯れ葉収集、除草作業 (延岡地区女性部)	10月29日	延岡市愛宕山公園	協会 37人
河川・道路一斉美化活動 河川・道路のゴミ拾い (高千穂地区)	8月4日	高千穂町市街地	協会 13人
公共奉仕活動 樹木の伐採、雨樋の清掃 (高千穂地区青年部)	8月23日	五ヶ瀬町内の小・中学校	協会 30人

鹿児島県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「弥五郎どん祭り」併催「建設機械無料試乗会」(曾於支部)	11月3日	曾於建設会館 駐車場	12人 (来場者数200人)
建設業協会加治木支部集団献血 (加治木支部)	11月8日	霧島市隼人市民サービスセンター	41人
錦江町いきいき秋まつり~重機展示および試乗など(大根占支部)	11月10日	錦江町総合運動公園	10人
高校生の現場体験実習(県立鹿屋農業高校2年生8名)(鹿屋支部)	11月12日~15日	鹿屋市内5か所(生徒宅近くの現場)	15人
土木・建築フェスタ in さつませんだい (川内支部)	11月16日	川内川 国道3号上流右岸 堤外地	120人
西京ダム清掃活動ボランティア (種子島支部)	11月16日	西之表市 西京ダム	25人
土木フェスタ in あまみ (奄美支部)	11月16日	奄美市 名瀬港観光船バース	68人 (来場者約4千人)
出水市大産業祭 出展 (出水支部青年部会)	11月17日	出水市総合運動公園	16人
青年部主催土木の日集団献血 (宮之城支部)	11月18日	ブラッセだいわ川内店駐車場	111人
「土木の日」清掃活動 (栗野支部)	11月18日	県北部の国道268号・県道55号線	68人 (ほか自治体等25人)
建設業協会加治木支部集団献血 (加治木支部)	11月18日	始良市図書館	35人
出前講座~重機試乗、砂防ジオラマと石橋模型の実演など (大根占支部)	11月19日	南大隅町 つじみ保育園	18人
土木フェスタ in ぴらも~る・天文館本通り 2024 (青年部会)	11月23日	鹿児島市東千石町のアーケード街	99人 (来場者約4千人)
トンネル防災訓練 (平良・手打・青瀬トンネル防災連絡協議会~飫島支部)	11月26日	県道351号 鹿島上甕線 平良トンネル	2人
土地改良施設愛護活動 (加治木支部)	11月29日	霧島市下井海岸、始良市松原海岸	55人
高校生の建設現場見学会(県立鹿屋工業高校2年生4名)(大根占支部)	12月2日~6日	南大隅町 河川改修工事ほか3現場	8人
高校生現場見学会(加治木工業高等学校土木科1年生)(加治木支部)	12月3日	道路改良工事、大規模特定砂防工事	28人
高校生の現場体験実習(県立鹿屋工業高校2年生26名)(鹿屋支部)	12月3日~6日	鹿屋市内8・垂水市内1か所	38人
土地改良施設愛護活動・ゴミ拾い (大口支部)	12月6日	曾木の滝公園(伊佐市)	19人
チャリティーゴルフ大会浄財を県交通被災者たすけあい協会に寄付 (日置支部)	12月11日	日置市東市来町下野建設社屋	3人
高校生の建設現場見学会(県立鹿屋工業高校1年生15名等)(鹿屋支部)	12月11日	志布志の国道の函渠工事現場等	37人
伊集院建友会施設修繕 (日置支部)	12月25日	日置市立伊集院中学校	7人
串木野建設業協会道路ゴミ拾い・清掃活動 (日置支部)	12月27日	串木野新港ターミナル付近	14人
年末各会員清掃奉仕活動 (谷山支部)	12月27日~28日	鹿児島市南部各会員事業所周辺	150人
菜の花マラソン 臨時駐車場設営・案内看板等設置(指宿支部)	1月10日、13日	指宿市 菜の花マラソンコース全般	26人
吹上町建設互助会環境整備 (日置支部)	1月26日	日置市吹上町伊作城跡	11人
小学校への出前講座 (種子島支部)	2月7日	西之表市 榕城小学校	6人
特定外来種(ツルヒヨドリ)駆除ボランティア参加(奄美支部)	2月12日	奄美市住用町戸玉	33人
小学校への出前講座 (種子島支部)	2月14日	西之表市 荃南小学校	4人
土木教室(鶴丸小学校6年生)(日置支部)	3月14日	日置市立鶴丸小学校	4人
管内教育委員会へのPRと小学校および卒業生への寄贈(大根占支部)	3月18日	錦江町・南大隅町の教育委員会	3人
東市来町建設互助会道路清掃 (日置支部)	3月24日	日置市東市来町内市道	24人
集団献血運動 (曾於支部)	4月17日	曾於建設会館	55人
「いさドラゴンカップ2025」大会・前日の設営協力(大口支部)	4月23日	湯之尾滝上流川内川(伊佐市)	18人
「お釈迦まつり」併催「建設機械無料試乗会」(曾於支部)	4月29日	金剛寺駐車場(志布志市)	14人 (来場者数250人)
道路清掃活動「ふるさとの道」(曾於支部)	5月14日	曾於市内県道2路線約2.3km	56人
鷹巣中学校出前講座(出水支部青年部会)	5月23日	長島町立鷹巣中学校	15人
市道・県道等公共用地の清掃美化活動(谷山支部)	5月28日	鹿児島市南部の市道・県道	130人
さつま町内一斉防災訓練に伴う河川見回り報告活動(宮之城支部)	5月30日	川内川本川・支川さつま町内5か所	20人
合同企業ガイダンス(加治木工業高等学校土木科2・3年生)(加治木支部)	6月3日	鹿児島県立加治木工業高等学校	59人

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
「2025屋久島海祭り」清掃活動 (屋久島支部)	6月20日	屋久島周縁の海岸26箇所	54人
「農業用施設」清掃活動 (屋久島支部)	6月20日	屋久島2地区の沈砂池5箇所	16人
高須・浜田海岸清掃ボランティア活動 (鹿屋支部)	7月3日	鹿屋市 高須・浜田海水浴場	55人
献血ボランティア活動 (出水支部青年部会)	7月4日	マルマエ音楽ホール出水	16人
東市来町建設互助会海岸清掃 (日置支部)	7月5日	日置市東市来町江口浜	49人
河川愛護ボランティア (種子島支部)	7月14日	島内1市2町の河川、海岸	100人
集団献血 (大根占支部)	7月16日	錦江町役場駐車場	11人
河川敷内の清掃美化活動 (谷山支部)	7月20日	鹿児島市南部和田川水系木之下川	29人
さつま町内広域農道の支障牧草の除伐及び搬出処理(宮之城支部)	7月22日	さつま町内広域農道約10km	91人
第35回献血活動 (鹿屋支部)	7月25日	鹿屋建設会館	95人
クリーンシティかごしま2025清掃活動 (鹿児島支部)	8月1日、2日、5日、30日	鹿児島市内各所(国道・河川沿い)	143人
ひおき建設夏まつり (日置市中央公民館主催)	8月3日	日置市伊集院総合運動公園	10人
「道の日」世界自然遺産奄美群島クリーンアップ大作戦 (奄美支部)	8月5日	奄美市名瀬市街地周辺の国道・県道	71人
「道の日」奉仕作業 (出水支部)	8月6日	出水市・阿久根市・長島町	268人
「道の日」清掃活動 (屋久島支部)	8月6日～9日	屋久島の県道2路線	111人
道の日清掃活動 (甑島支部)	8月6日、7日、12日、18日	甑島の県道2路線	64人
「道の日」清掃活動 (大根占支部)	8月7日	錦江町内各地の国道、県道	24人
南大隅町収穫祭2025 with花火大会 会場清掃 (大根占支部)	8月7日	南大隅町みなと公園、雄川周辺	23人
「道の日」ボランティア (種子島支部)	8月7日	種子島の国道58号ほか	110人
「道の日」奉仕作業 (加世田支部)	8月8日	薩摩半島南部の国・県・市道	208人
国・県・町道の支障木草の除伐及び搬出処理 (宮之城支部)	8月8日	さつま町、薩摩川内市入来・祁答院地区内	101人
「道の日」清掃活動 (栗野支部)	8月8日	県北部の国道268号・県道55号線	37人 (その他自治体等10人)
道路清掃作業 (鹿屋支部)	8月10日～20日	管内2市2町の10地区ごとに実施	84人
「道の日」清掃作業 (指宿支部)	8月20日	管内国県市25km	107人
献血 (川内支部)	9月5日	川内建設会館	145人
くれないの塔清掃作業 (奄美支部青年部)	9月6日	奄美市 らんかん山公園	6人
道路清掃活動「みんなの港」 (曾於支部)	9月17日	志布志港臨港道路 約900㎡	16人
「道の日」の奉仕作業 ゴミ拾い (大口支部)	9月18日	国道268号 伊佐市南東部4km	32人
防潮堤の雑草等の刈払・収集・搬出 (谷山支部)	9月20日	旧鹿児島港木材港区防潮堤	60人
川内大綱引き綱ねり (川内支部)	9月22日	国道3号 薩摩川内市大小路	122人
一斉清掃活動 (鹿児島支部)	9月30日	鹿児島市内北部の国・県道	104人
「道の日」一斉清掃活動 (谷山支部)	9月30日	鹿児島市南部県道5路線、30km ²	80人
串木野建設業協会「道の日」清掃活動 (日置支部)	9月30日	串木野市道河内線	30人
東市来町建設互助会「道の日」清掃活動 (日置支部)	9月30日	国道270号旧町内海岸沿い	45人
伊集院町建設業親交会「道の日」清掃活動 (日置支部)	9月30日	日置市道麦生田上神殿線	28人
日吉町建設互助会「道の日」清掃活動 (日置支部)	9月30日	県道伊集院日吉線旧町内	8人
吹上町建設同友会「道の日」清掃活動 (日置支部)	9月30日	県道谷山伊作線旧町内	17人
献血広報活動 (奄美支部青年部)	10月1日	奄美市・龍郷町の大型小売店	19人
かごんまわっぜかフェスタ'25 (青年部会)	10月4日	鹿児島市東千石町のアーケード街	30人
集団献血運動 (曾於支部)	10月8日	曾於建設会館	55人
小学校への出前講座 (種子島支部)	10月8日	西之表市 荃南小学校	4人
小学校への出前講座 (種子島支部)	10月9日	西之表市 榕城小学校	5人
ボランティア作業(除草・清掃) (川内支部)	10月9日	薩摩川内市内9自治会の市道等	94人
小学校への出前講座 (種子島支部)	10月14日	西之表市 住吉小学校	4人
建設業協会加治木支部集団献血 (加治木支部)	10月16日	霧島市国分シビックセンター	64人
谷山ふるさと祭り終了後の清掃奉仕活動 (谷山支部)	10月26日	鹿児島市谷山地区国道225号ほか	39人
建設機械試乗体験 (加世田支部)	10月26日	南九州市 知覧平和公園	14人
トンネル防災訓練 (平良・手打・青瀬トンネル防災連絡協議会～甑島支部)	10月29日	県道351号 鹿島上甑線 平良トンネル	2人

沖縄県

活動内容	実施日	開催場所	参加人数
児童園の児童を建設フェスタへ招待 (那覇支部)	11月10日	沖縄県総合運動公園体育館	
道路清掃活動 (南部支部)	11月13日	与那原町(県道77号線沿い)	36人
河川清掃ボランティア (那覇支部)	11月20日	那覇市上間地区(国場川周辺)	約50人
北部豪雨被災地へ義援金贈呈	11月27日	沖縄タイムス社	
イリオモテヤマネコ絵画コンクール (八重山支部)	12月2日	西表島 離島ターミナル	
献血キャンペーン (青年部会)	12月2日、4日	浦添市、うるま市	159人
職業人講話 (中部支部)	12月5日	北中城小学校(北中城村)	生徒 約130人
道路清掃ボランティア (中部支部)	12月13日	中部建設会館前道路	50人
北部地区豪雨被害応急復旧作業	1月22日～	北部圏域	
防犯パトロール (那覇支部)	12月26日	那覇西高校周辺	17人
職業人講話	1月16日	古蔵中学校(那覇市)	
てだこウォーク2025協賛金贈呈 (浦添・西原支部)	1月30日	浦添市役所	
防犯パトロール (南部支部)	2月3日	サンエーつかざんシティ	6人

活動内容		実施日	開催場所	参加人数
おきなわマラソン会場設営	(中部支部)	2月15日	沖縄県総合運動公園体育館	
道路清掃活動	(南部支部)	3月19日	糸満市(県道256号線線沿い)	23人
防犯パトロール	(那覇支部)	3月21日	那覇市首里石嶺町	18人
漁港清掃ボランティア	(浦添・西原支部)	3月25日	牧港漁港	103人
石垣島トライアスロン大会会場設営	(八重山支部)	4月13日		35人
安全パトロール	(北部支部)	5月9日	名護市、本部町	
河川清掃ボランティア	(那覇支部)	5月21日	国場川周辺	50人
フォトコンテスト～島の魅力～	(青年部会)	6月2日～8月15日		応募280点
防犯パトロール	(南部支部)	6月3日	サンエーつかざんシティ	9人
道路清掃ボランティア	(中部支部)	6月24日	中部建設会館前道路	約60人
台風8号の影響による浸水・冠水被害応急復旧作業		7月29日～8月7日	大東島地方	
全国離島交流中学生野球大会へ寄付金贈呈	(宮古支部)	7月30日	宮古島市役所	
道路清掃活動	(中部支部)	9月25日	中部建設会館前道路	50人
児童園生徒現場見学会	(那覇支部)	10月17日	那覇空港、MRO JAPAN工場見学	41人
工業高校生現場見学会				
浦添工業高校 建築科		11月8日	(仮称)読谷村総合情報センター及び周辺環境整備事業、大名市営住宅第4期建替工事	68人
美里工業高校 建築科		12月4日	沖縄科学技術大学院大学インキュベータ施設新営工事、沖縄ピーシー(株)工場	71人
浦添工業高校 インテリア科		11月8日	沖縄ピーシー(株)工場、プレステージホーム沖縄(株)アワセベイ展示棟	66人
美来工科高校 土木工学科		12月6日	南城市つきしろIC南土地区画整理事業土木工事、県道20号(泡瀬工区)橋梁整備工事	52人
沖縄工業高校 建築科1, 2年生		7月12日	大名市営住宅第4期建替工事(C棟・建築)、牧港漁港製氷冷蔵庫荷捌き施設整備工事(建築)	80人
南部工業高校 建築設備科		7月17日	名護市し尿処理受入施設土木・建築工事、沖縄ピーシー(株)工場	39人
浦添工業高校 インテリア科		9月12日	オーガニックハウス ライカムモデルハウス、かりゆしタウン サンテラス高江洲	74人
美来工科高校 土木工学科		9月25日	令和5年度新川地区改良外工事、令和5年度読谷道路5工区補強土壁(その2)工事	57人
沖縄工業高校 土木科		10月18日	幸地インター線橋梁上部工工事(Aランプ上部工)、令和5年度小禄道路橋梁ONランプ擁壁工事	49人
名護商工高校 建築科		10月21日	屋部小学校校舎新築工事(32号線)、令和5年度オキちゃん劇場観覧スタンド屋根等修繕工事	39人
浦添工業高校 建築科		11月8日	(仮称)読谷村総合情報センター及び周辺環境整備事業、大名市営住宅第4期建替工事	68人
美里工業高校 建築科		12月4日	沖縄科学技術大学院大学インキュベータ施設(フェーズ1及びフェーズ2)新営工事(建築・機械設備)、沖縄ピーシー(株)工場	71人
南部工業高校 建築設備科		7月3日	沖縄ピーシー(株) 海邦工場、(仮称)北谷町PRJ	46人
美来工科高校 土木工学科		7月16日	令和5年度新川地区改良外工事、小禄道路ボックスカルバート工事	64人
沖縄工業高校 建築科		9月26日	令和7年度(仮称)読谷村屋内運動場建築工事、沖縄ピーシー(株) 海邦工場	84人
沖縄工業高校 土木科		10月7日	県道20号線(泡瀬工区)橋梁整備工事(橋面工その2)、中城湾港(泡瀬地区)B1・B4護岸整備工事(R6)	78人
名護商工高校 建築科		10月16日	沖縄振興開発金融公庫北部支店建築工事、スポーツコンベンション交流拠点施設建築工事	45人
浦添工業高校 建築科・インテリア科2年生		10月24日	金秀鉄工(株)工場、メイクマンニューマン店増改築工事	72人

令和7年度
建設業社会貢献・SDGs/ 広報活動事例集

令和8年2月
許可なく複製転載を禁ずる

発行所 一般社団法人 全国建設業協会
〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-8-5
電話 03(3551)9396 FAX 03(3555)3218
URL <https://www.zenken-net.or.jp>
印刷所 株式会社DI Palette

地域建設産業の資金調達に寄与し、公共工事の適正な施工を支えます



北海道建設業信用保証株式会社

本社	〒060-0003	札幌市中央区北3条西4丁目1番地4 (D-LIFEPLACE札幌)	☎ 011 (231) 4452
旭川支店	〒070-0035	旭川市5条通5丁目左10号 (旭川建設業会館)	☎ 0166 (26) 0395
帯広支店	〒080-0017	帯広市西7条南6丁目2番地 (帯広建設会館)	☎ 0155 (24) 5806
東京支店	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目11番8号 (平澤ビル)	☎ 03 (3553) 1618
東北支店	〒980-0802	仙台市青葉区二日町2番15号 (二日町鹿島ビル)	☎ 022 (723) 2255

建設産業と、ともに歩みつづける



東日本建設業保証株式会社

本社	〒104-8438	東京都中央区八丁堀2丁目27番10号	☎ 03 (3552) 7520
営業部	〒104-0032	東京都中央区八丁堀2丁目8番5号 (東京建設会館)	☎ 03 (3551) 9511
支店	新宿・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・ 神奈川・山梨・長野・新潟・富山・石川・福井・静岡・愛知・岐阜・三重・大阪		
建設産業図書館	〒104-0045	東京都中央区築地5丁目5番12号 (浜離宮建設プラザ)	☎ 03 (3545) 5129

公共工事の円滑施工をサポートし、
未来へのインフラ整備に貢献してまいります。
「前払金保証」「契約保証」「契約保証予約 (入札ボンド)」



西日本建設業保証株式会社

本社	〒550-0012	大阪市西区立売堀2-1-2 (建設交流館)	☎ 06 (6543) 2553
支店	大阪・滋賀・京都・奈良・和歌山・兵庫・鳥取・島根・岡山・広島・山口・香川・徳島・ 愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄・東京・名古屋		

安心を、未来への希望に。

新設 保険金区分

最高

7,000万円

に増額

(従来5,000万円)

契約者
割戻金制度により
**掛金負担
が軽減**

経営事項審査
において
**15点の加点
になります**

法定外労災補償制度 諸費用補償 (企業防衛)

建設共済保険

さらに新しくなった!
建設共済保険制度の

**10の
ポイント!**

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および身体障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用に対する助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

建設共済保険

検索



詳しくはホームページをご覧ください

正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで

公益財団法人 **建設業福祉共済団**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8(虎ノ門琴平タワー11階)



令和7年度
建設業社会貢献・SDGs/広報活動事例集
まちをつくり暮らしをささえる建設業

